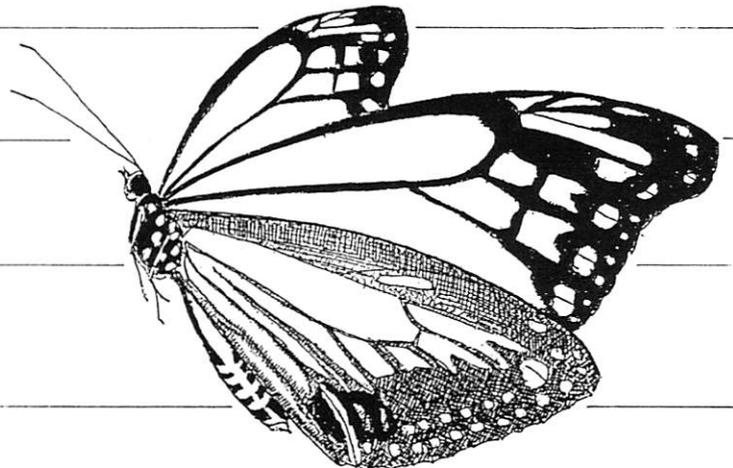
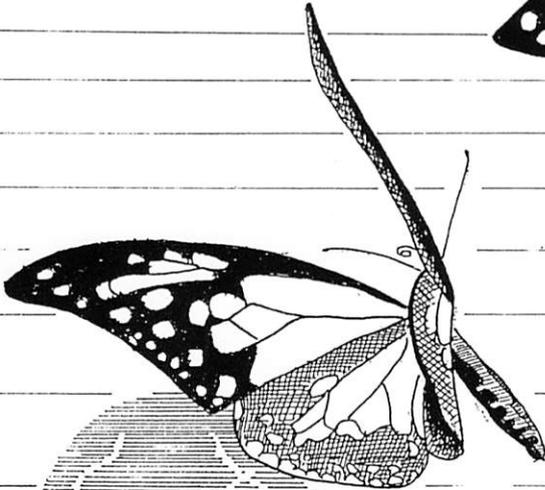
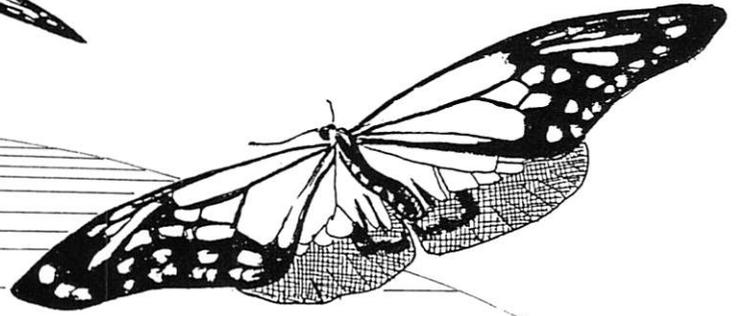


31卷第2号

きべりはむし



2004. 6. 30

兵庫昆虫同好会

表紙の説明

氷ノ山から南大東島まで飛んだアサギマダラ

2003年8月23日に氷ノ山（養父市大屋町、宍粟郡波賀町の境界付近 標高 1200m）でマークしたアサギマダラ 131 頭（SK2300～SK2430）のうちの1♀（SK2410）が、2003年10月19日に沖縄県南大東村（南大東島）万座毛で長嶺邦雄氏によって再捕獲された。このアサギマダラは57日かけて1100kmを移動したことになる。

アサギネット掲示板によると、他にSK2301が8月27日に藤井佐紀子氏によって、SK2401が9月2日金田忍氏によって、いずれも氷ノ山（放蝶した付近）で再捕獲されている。

情報をお知らせいただいた藤井恒氏、再捕獲し情報を報告していただいた長嶺邦雄氏、藤井佐紀子氏、金田忍氏に厚くお礼申し上げます。

近藤伸一

河川敷のチョウ類の1年の生活 (兵庫県のチョウ類のトランセクト調査3)

近藤 伸一

はじめに

兵庫県下の色々な環境下において、トランセクト法でチョウ類群集の調査を行っている。この調査の積み上げによって、チョウ類を指標とした手軽な環境調査が出来ないか模索しているところである。

今回は河川敷で生活するチョウ類の1年間の生態を観察した。

調査場所は兵庫県北部、円山川の中流部の右岸河川敷で、畑地、水田に利用されている。この地域内(養父市八鹿町坂本)で1,200mのコースを予め定め、2001年4月から11月にかけて月3回の割合で延べ23回の調査を行ったので、河川

敷の環境下におけるチョウ類の種類、数、発生時期、蝶指数などを報告する。

1 調査の概要

調査地(養父市八鹿町坂本=図1)は円山川河口から約30kmさかのぼった中流部(図2)の右岸と、円山川に流れ込む大江川(図3)周辺である。この付近は標高が約30mで、農地、人家、県道などが沖積層の河川敷上に広がっている。

当地域は平坦で、樹木は土手の一部を除くとほとんどなく、一帯は農地に利用されている。円山川とその支流大江川の堤防は、不定期ではあるが草刈りが行われ、河川に面した斜面部分

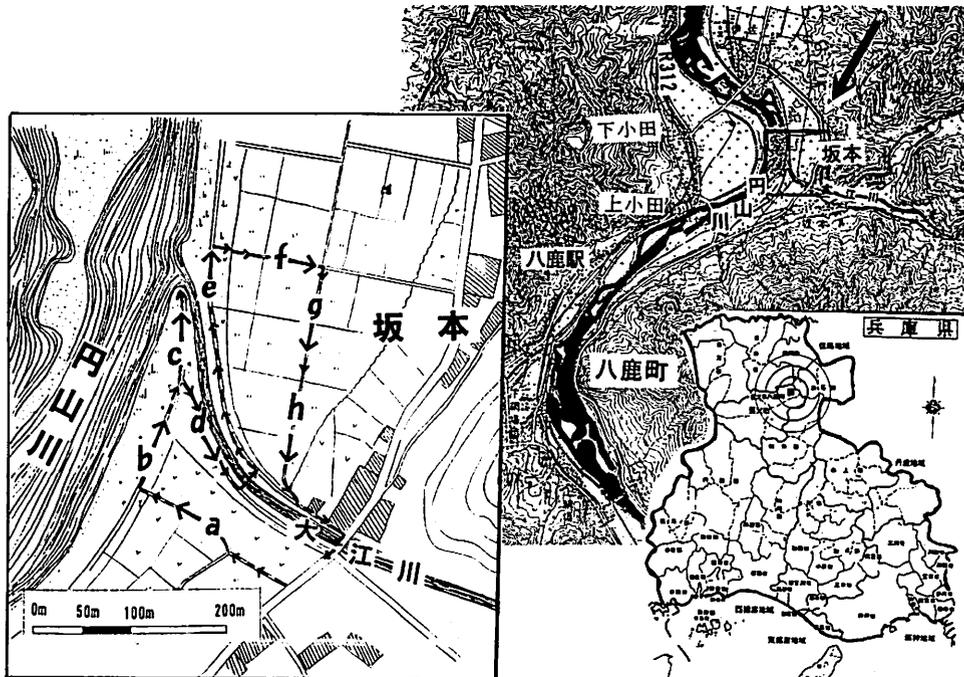


図1



図2



図3

は植生相は比較的多様であるが、堤防上の歩道周辺や農地内の歩道は草本類の種類数が少ない。

調査コースは(図1)のように農地、円山川堤防、大江川堤防など河川敷の色々な環境を通してするように設定した。

コースの状況は、農地内のあぜ道200m(写真a)、円山川堤防200m(写真b.c)、支流大江川の土手道300m(写真d.e)、水田のあぜ道400m(写真f.g.h)、人家、県道100m、合計1,200mである。

II 調査方法

(1)時期等

2001年4月6日から11月28日にかけて月に3回の割合で延べ23回の調査を行った。時間帯は晴れた日の12時10分～50分の40分間である。

(2)方法

調査方法はトランセクト法で行った。全長1,200mのコースを約40分間で歩き、左右及び上部約5mの範囲内で目撃したチョウ類を種毎に、同一個体をだぶらないように注意しながらカウントした。種の同定は主に目視で行ったが、目視で同定出来ないものは双眼鏡で確認するか又は採集した。

(3)蝶指数

チョウを環境指標とするため、服部ら(1997)の5段階で表した指数値を利用した。
蝶指数5(原生段階)・蝶指数4(二次植生段階)・蝶指数3(農耕的段階)・蝶指数2(住宅地段階)・蝶指数1(都市段階)

III 調査結果

1 チョウ類群集の特徴

調査の結果8科37種1,070個体を記録した。チョウの調査日別の個体数を表1に示した。

なおキマダラヒカゲについては、サトキマダラヒカゲかヤマキマダラヒカゲか確認出来なかったため、キマダラヒカゲとした。

- ① 調査区域が農地周辺であったため、種類数が少ない(37種)
- ② モンシロチョウ、ヤマトシジミと一番自然性の低い場所(都市段階:蝶指数1)に生息する2種が1,2番目に多かった。

調査地のコースの状況写真 (図1の a ~ h)



- ③ ヒメウラナミジャノメ(農耕地段階：蝶指数3)が3番目に多かった。
- ④ 確認した37種と少ないが、自然性の高い場所に生息する種の割合が多かった。(蝶指数4が11種、蝶指数3が11種)

2 種別個体数の割合

- ① 種別でみるとモンシロチョウ(236)が最も多く、次いでヤマトシジミ(199)、ヒメウラナミジャノメ(156)、キタテハ(98)、キチョウ(85)、ベニシジミ(78)、モンキチョウ(43)、ツマキチョウ(31)、スジグロシロチョウ(16)、ツバメシジミ(16)がベスト10であった。
- ② 上位2種が全個体数に占める割合は41%、3種では55%、5種で72%であった。
- ③ 個体数の少ないものはカラスアゲハ(1)、クロアゲハ(1)、ツマグロキチョウ(1)、ツマグロヒョウモン(1)、ルリタテハ(1)、メスグロヒョウモン(1)、ヒカゲチョウ(1)、アオスジアゲハ(2)、ムラサキシジミ(2)、ヒメジャノメ(2)であった。これらの少ない10種が全個体数に占める割合は1%にすぎない。
- ④ 調査地におけるチョウの生息状況

調査地内の田畑および水田周辺で、モンシロチョウが発生し、田畑や農道の畦畔がヤマトシジミ、ベニシジミ、モンキチョウなどの発生地、河川の土手のカナムグラ群生地がキタテハの発生地となっていた。

モンシロチョウとヤマトシジミが多いのは、当調査コースの1/2以上が農地であったためと思われる。次いでヒメウラナミジャノメが多いのは、河川の土手の草地在がヒメウラナミジャノメの生息に適したものと思われる。

カナムグラの群生地は県下各地でよく見られるが、キタテハの割合がこれほど多くなる場所は少ない。

3 蝶指数から見た河川敷の自然環境

各チョウごとの個体数と蝶指数をかけた値は表1の右欄のとおりで、その積は2,001で、この値を総個体数1,070で割った平均値は1.87である。

当地区の自然環境を蝶指数で表すと1.87という結果になった。内訳は次のとおり

蝶指数5(原生段階)：は確認出来なかった

蝶指数4(二次植生段階)は11種確認。

蝶指数3(農耕的段階)は11種確認。

蝶指数2(住宅地段階)：はキアゲハ、モンキチョウ、ヒメアカタテハ、ムラサキシジミ、ツバメシジミ、ベニシジミ、ウラナミシジミ、ルリシジミ、ウラギンシジミの9種

蝶指数1(都市段階)は6種確認

アゲハチョウ、アオスジアゲハ、モンシロチョウ、キチョウ、ヤマトシジミ、イチモンジセセリ

4 種類ごとの発生活長

① モンシロチョウ

発生個体数は236頭で一番多い。全個体数の22.1%であった。

発生場所は河川敷の田畑であるが、ここでは水田が中心で、畑地は小規模で家庭菜園的な利用であり、時期に応じて種々雑多な作物が栽培されている。

第1回目の成虫は4月上旬には発生しており、4月下旬がピークとなる。第2回目は5月下旬から出始め、6月中旬がピークで、この時期は年

間の最大の発生数となる。第3回目の発生個体数は少なく、7月下旬から8月中旬の間は見られなかった。

9月下旬頃から徐々に個体数が増加し、10月上旬にピークが現れ、11月上旬には姿を消した。

② ヤマトシジミ

発生個体数は199頭で2番目、全個体数の18.6%であった。

発生場所は農道の畦畔、草地などに分布するカタバミの群生地で、県南部では4月中旬から12月中旬にかけて見られるが、当地で最初に確認したのは6月末で、わずかに2頭であった。この時期の個体が第1化とは考えられないので、第1回目の成虫の発生個体数が極めて少ないか、または他の地区から移動してきた可能性もないとはいえない。いずれにしても冬季の気象条件が越冬幼虫に厳しいものと思われる。

次の世代は7月中旬頃から始まり7月下旬がピークである。8月下旬から9月上旬に最大のピークが見られ、その後個体数は減じるが10月下旬に最後のピークがあらわれ、11月中旬ごろから見られなくなる。

③ ヒメウラナミジャノメ

発生個体数は156頭で3番目、全個体数の14.6%であった。

発生場所は河川の土手を中心であった。5月上旬から10月上旬にかけて見られた。

第1回目の成虫は5月上旬一斉に発生し、年間のピークとなる。第2回目は7月上、中旬に少数が発生、第3回目は8月上旬頃から始まり8月下旬、9月上旬にピークがみられ、その後個体数を減じて10月には見られなくなる。

④ キタテハ

発生個体数は98頭で4番目、全個体数の9.2%であった。

発生場所は河川の土手のカナムグラの群生地で、越冬した成虫は4月から5月上旬にかけて見られた。

第1回目の発生は5月下旬ごろからポツポツと見られるものの、特にピークがないまま1~2頭見られるか又は見られない時期が夏から秋まで続き、10月中旬から突然多数が現れ、11月上旬までピークが見られた。

⑤ キチヨウ

発生個体数は85頭で5番目、全個体数の7.9%であった。

発生場所は田畑や河川の土手などあらゆる場所で見られた。

越冬した成虫が4月上中旬に少数見られたが、その後全く見られなくなり、第1回目の成虫は確認できなかった。次に成虫が現れたのは8月中旬頃で、10月下旬まで特に明確なピークが見られないものの常に10頭以上が見られ、11月下旬に見られなくなった。

⑥ ベニシジミ

発生個体数は78頭で6番目、全個体数の7.3%であった。

発生場所はギシギシなどが生育する田畑の畦畔、土手道の両側などで、4月中旬から11月中旬にかけて見られた。

第1回目の成虫は4月中旬ごろから発生を始め、5月上旬がピークがみられた。第2回目は6月中旬から発生が始まり、6月下旬がピークでその後は8月上旬までは1頭ずつ見られたが、その後は姿を消し、9月下旬から現われ、明らかな発

表1

調査月日	4.06	4.16	4.26	5.05	5.14	5.27	6.03	6.11	6.26	7.08	7.16	7.27	8.03
1 カラスアゲハ							1						
2 アゲハチョウ			1	3		1							
3 キアゲハ			1					1					
4 アオスジアゲハ						1							
5 クロアゲハ													
6 モンシロチョウ	10	10	12	6	7	29	31	43	2	4	2		
7 スジグロシロチョウ			7	5				2	1		1		
8 ツマキチョウ	2	17	5	7									
9 モンキチョウ		3	6	8	1	1	3	10			1		
10 キチョウ	2	1											
11 ツマグロキチョウ													
12 ウラナミジジミ													
13 ルリジジミ								1	3				
14 ツバメジジミ			2								3	5	
15 ヤマトジジミ									2		8	27	10
16 ベニジジミ		1	9	16	3			3	19	1	1		1
17 ムラサキシジミ													
18 ウラキンジジミ								1			1		
19 ミドリヒョウモン								1					
20 ツマグロヒョウモン													
21 キタテハ	10	9	9	2		1	1	1	2		2		
22 ヒメアカタテハ								1				1	
23 ルリタテハ		1											
24 コミスジ													1
25 ヒオシチョウ			1				3	2					
26 メスグロヒョウモン													
27 テンクチョウ							1	1					
28 ヒメウラナミシヤノメ				65	8	3				5	4		2
29 キマダラヒカゲ				1		3	1						
30 ヒメシヤノメ							1						
31 ヒカゲチョウ													
32 シヤノメチョウ													
33 イチモンジセセリ										1			
34 キマダラセセリ													
35 ダイミョウセセリ													
36 オオチャハネセセリ													
37 チャハネセセリ												1	
計	24	42	53	113	19	39	42	67	29	11	24	33	14
八鹿町坂本	4.06	4.16	4.26	5.05	5.14	5.27	6.03	6.11	6.26	7.08	7.16	7.27	8.03

8.14	8.29	9.05	9.26	10.04	10.19	10.25	11.06	11.20.	11.28	集計	順位	割合	指数	指数 合計		
												%				
										1	31	0.093	4	4	カラスアケハ	
										5	17	0.467	1	5	アケハチョウ	
			1							3	25	0.28	2	6	キアケハ	
					1					2	28	0.187	1	2	アオスジアケハ	
			1							1	31	0.093	3	3	クロアケハ	
	2	1	12	21	26	16	2			236	1	22.06	1	236	モンシロチョウ	
										16	9	1.495	3	48	スズグロシロチョウ	
										31	8	2.897	3	93	ツマキチョウ	
				4	2	4				43	7	4.019	2	86	モンキチョウ	
1	12	7	13	12	14	16	4	3		85	5	7.944	1	85	キチョウ	
				1						1	31	0.093	4	4	ツマクロキチョウ	
			4	2	1	1	2	3	1	14	11	1.308	2	28	ウラナシジミ	
	1									5	17	0.467	2	10	ルリシジミ	
	3	3								16	9	1.495	2	32	ツバメシジミ	
5	35	36	17	15	9	29	5	1		199	2	18.6	1	199	ヤマシジミ	
			3	7	3	7	3	1		78	6	7.29	2	156	ヘニシジミ	
	2									2	28	0.187	2	4	ムササキシジミ	
1		2								5	17	0.467	2	10	ウラキンシジミ	
			1	1						3	25	0.28	4	12	ストリヒョウモン	
						1				1	31	0.093	3	3	ツマクロヒョウモン	
	2	2		1	17	18	13	7	1	98	4	9.159	3	294	キタテハ	
						1	4			7	14	0.654	2	14	ヒメアカタテハ	
										1	31	0.093	3	3	ルリタテハ	
2	1	3	4							11	12	1.028	3	33	コミスジ	
										6	15	0.561	4	24	ヒोटシチョウ	
				1						1	31	0.093	4	4	メスクロヒョウモン	
						2				4	22	0.374	3	12	テングチョウ	
5	36	20	4	4						156	3	14.58	3	468	ヒメウラナシヤノメ	
										5	17	0.467	4	20	キマダラヒカゲ	
	1									2	28	0.187	3	6	ヒメジャノメ	
			1							1	31	0.093	4	4	ヒカゲチョウ	
	2	4								6	15	0.561	4	24	ジャノメチョウ	
	1	1	1	1	2	2				9	13	0.841	1	9	イチモンジセセリ	
	4									4	22	0.374	4	16	キマダラセセリ	
	2	1								3	25	0.28	4	12	ダイミョウセセリ	
		5								5	17	0.467	4	20	オオチャハネセセリ	
1		1	1							4	22	0.374	3	12	チャハネセセリ	
										0		0				
15	104	86	63	70	75	97	33	15	2	1070		100		2001	計	
															1.87	
8.14	8.29	9.05	9.26	10.04	10.19	10.25	11.06	11.20.	11.28	合計						八鹿町坂本

生ピークが見られないまま11月下旬には姿を消した。

⑦ モンキチョウ

発生個体数は43頭で7番目、全個体数の4.0%であった。発生場所はレンゲ畑や、草地などのシロツメクサ、アカツメクサなどの生育地である。

第1回目の成虫は4月中旬から発生し、5月上旬がピークである。第2回目のピークは6月中旬に見られたが、その後は7月中旬に1頭みられただけで、次に見られたのは10月に入ってからで、下旬まで見られた。

⑧ ツマキチョウ

発生個体数は31頭で8番目、全個体数の2.9%であった。

発生場所は河川の土手で、4月上旬から見られ、中旬がピークで、5月上旬まで見られた。

⑨ スジグロシロチョウ

発生個体数は16頭で9番目、全個体数の1.5%であった。

4月下旬・5月上旬に第1回目が発生、第2回目は6月中旬から7月中旬にかけて小数が見られたがそれ以降は確認できなかった。

⑩ ツバメシジミ

発生個体数は16頭で9番目、全個体数の1.5%であった。

発生場所はヤマトシジミと同じ場所で見られた。第1回目の成虫は4月下旬、第2回目と思われる成虫が7月中下旬、第3回目が8月下旬、9月上旬に見られた。

⑪ 11番目～15番目の種

確認数が12頭～6頭が11番目～15番目で次のとおり

ウラナミシジミは9月下旬から現れ、11月下旬まで継続して見られた。

コムスジは8月上旬から9月下旬にかけて、河川の土手の茂み付近で継続的に見られた。

イチモンジセセリは7月上旬に1頭確認し、次に見られたのは8月下旬からで以降10月下旬まで少数が継続して見られた。

ヒメアカタテハは6月中旬、7月下旬、10月下旬、11月上旬に見られた。

ヒオドシチョウは、4月末に越冬成虫が、6月上旬、中旬にクリの花で吸蜜する成虫が見られ、その後はまったく見られなかった。6月

ジャノメチョウは8月下旬から9月上旬が見られた。

⑫ 注目される種

アオスジアゲハは県南部では多い種であるが、当地では少なく、5月、10月に各1頭確認できた。

ツマグロキチョウを10月に1頭確認した。当地での発生は見られなかったので、秋の移動個体と思われる。

ミドリヒョウモンが6月中旬クリの花で吸蜜する成虫と9月下旬、10月上旬にも見られた。

メスグロヒョウモンが10月上旬に見られた。

オオチャバネセセリは減少著しい種であるが、9月上旬に5頭見られた。

5 観察記録

調査地の状況、目に付いた花を月ごとに記し、吸蜜していたチョウは種名を()内に記した。

チョウ類以外に目に付いた昆虫についても併せ

て記載した。

<4月>

(6日) まだ枯れ草に覆われ、モンシロチョウ、ツマキチョウが発生していた。越冬明けのキタテハがよく目に付いた。

(16日) 河川の土手、堤防などで多種の花が開花、ツマキチョウが盛りで、チョウ類の種類も増えだした。

キンボウグ、セイヨウタンポポ(モンシロチョウ)、ホトケナヅ、ヒメホトリコウ、ホトリコウ、ムラサキマン、セイヨウカラシナ、コンロンソウ

(26日) チョウ類の種類は更に増えた。スジグロシロチョウが発生し、コンロンソウの群落で多数見られた。

キンボウグ、セイヨウタンポポ(キタテハ)、カラスノエンドウ(モンキチョウ)、ホトケナヅ(ツマキチョウ)、ヒメホトリコウ(モンシロチョウ)、ホトリコウ、ムラサキマン、セイヨウカラシナ、コンロンソウ(ヘニジミ、スジグロシロチョウ、キタテハ)

<5月>

(5日) 引き続き多種の花が見られ、突然ヒメウラナミジャノメが大発生した。

セイヨウタンポポ(モンキチョウ)、カラスノエンドウ(モンキチョウ)、セイヨウカラシナ(ツマキチョウ)、コンロンソウ(ヘニジミ、ヒメウラナミジャノメ)、ダイコン(モンシロチョウ、キタテハ)

(14日) ほとんど花はなくなり、夏草が伸びる。畑は耕され、土手の草の一部が刈り取られ、ノイバラが咲き始めた。チョウ類の種類や数も一気に減じた。ヒメウラナミジャノメが激減し、ツマキチョウ、スジグロシロチョウが姿を消した。

セイヨウタンポポ、セイヨウカラシナ(ヘニジミ)、ホイトクローパー(ヘニジミ)

(27日) モンシロチョウの数が増え、ウツギノヒメハナバチが土手の歩道上に多数の穴を開け

ていた。

<6月>

(3日) ヒメウラナミジャノメが見られなくなった。モンシロチョウは依然多く、交尾(6月3日一♂+♀)を確認した。ウツギノヒメハナバチは姿を消した。

刈(キタテハ)

(11日) モンシロチョウが最盛期で、モンキチョウも多かった。

刈(ミドリヒョウモン、モンシロチョウ)、セイヨウカラシナ(モンシロチョウ)、ノアザミ(モンシロチョウ、キタテハ)

(26日) ヒメジョオンの花が増え、初めてヤマトシジミを確認。ベニシジミが急増、モンシロチョウは激減し、モンキチョウが見られなくなった。ルリシジミがイタドリに産卵、コシアキトンボ、ハグロトンボの数が多く、ラミーカミキリが見られた。

ヒメジョオン(ヘニジミ)

<7月>

(7日) 土手の草刈が全面に行われ、その影響かチョウの数は少ない。第2回目の新鮮なヒメウラナミジャノメが現れた。カタバミはよく茂り、ヤマトシジミに注意を払ったが確認できなかった。オオブタクサの葉でブタクサハムシの蛹が見られた。

(16日) 花はほとんどなくキリギリスの鳴声が目立つようになった。第2回目の新鮮なツバメシジミが発生し、チャバネセセリがススキの根元付近に次々と6卵を産み付けるのを確認した。オオブタクサの葉はブタクサハムシの食痕が目立ち、幼虫、成虫、蛹、卵と全てのステージが見られた。

ヒメジョオン(ヘニジミ)、ヤブカンゾウ

(27日) ヤマトシジミが最盛期となったが、チョウ類の種類数は少ない。

シロツメクサ(ヤマトシジミ、ツハメシジミ)

<8月>

(3日) 川の水が枯れる。土手の花はほとんどなく、オオブタクサが道の両側に茂る。ミンミンゼミとキリギリスの鳴声、ハグロトンボが多い。

セイヨウタンポポ、ムラサキツメクサ

(14日) 久しぶりにキチョウを確認。チョウ類の種類はやや増加、個体数は少ない。

(29日) 種類数、個体数が一気に増える。キチョウ、ヤマトシジミ、ヒメウラナミジャノメが最盛期。

キツネノマゴ(ヤマトシジミ)

<9月>

(5日) 種類、数ともに多い。ベニシジミとヒメウラナミジャノメが良く目に付く。オオチャバネセセリを初めて観察。

キツネノマゴ(キチョウ)、イヌウシユ(キチョウ、チャバネセセリ)

(26日) 稲が実り、ヒガンバナ。モンシロチョウが増加、ウラナミシジミが畑地のツルナシインゲンの花に集まっていた。ハグロトンボが多い。

キツネノマゴ、カタハミ、マコノシリヌグイ、ツルナシインゲン(ウラナミシジミ)

<10月>

(4日) モンシロチョウが更に増える。キチョウも依然として多い。コムスジが見られなくなった。

イヌテ、アメリカセンダングサ(キチョウ)、ヒメシヨオン(ベニシジミ)

(19日) キタテハが急増した。ヒメウラナミジ

ャノメが見られなくなった。

シヅクハ(イモシジミ)、カタハミ(ヤマトシジミ)、キツネノマゴ(アオシジミ)

(25日) セイタカアワダチソウに多くのチョウが集まっていた。ヤマトシジミとキタテハの数が多。オオブタクサの葉は少ししか残っていないがブタクサハムシが群れていた。

シヅクハ(キタテハ)、イヌテ(キタテハ)、セイタカアワダチソウ(モンシロチョウ、キチョウ、ベニシジミ、キタテハ、テングチョウ)、キツネノマゴ(ウラナミシジミ)、セイヨウタンポポ(キタテハ、イモシジミ)

<11月>

(6日) チョウ類の種類数、個体数ともに少なくなったが、セイダカアワダチソウの花に集まっていた。オオブタクサの葉はまったく枯れてしまったが、ブタクサハムシは茎に少数見られた。

セイタカアワダチソウ(モンシロチョウ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、ヒメカタテハ)

(20日) セイタカアワダチソウの花は終わる。ミゾソバの花が残っている程度。畑のニンジンにキアゲハの4令幼虫、ハクサイがモンシロチョウの幼虫の食痕で穴だらけになっていた。

(28日) チョウ類はほとんど見られなくなり、ウラナミシジミとキタテハ各1頭確認しただけ。ブタクサハムシの成虫が1頭見られた。

<参考文献>

石井実(1993)チョウ類のトランセクト調査

日本産蝶類の衰亡と保護第2集:91-101.

日本鱗翅学会(大阪)服部 保・矢倉資喜・武田義

明・石田弘明(1997) 蝶類群集による自然性

評価の一方法 人と自然NO8:41-52.

服部保・矢倉資喜・浅見佳世・武田義明・石田弘明

(1997) 三田市フラワータウンにおける蝶類群集からみた植生の自然性評価 植生学会誌 14:47-60
 近藤伸一(2002)水田地帯のチョウ類の1年の生活
 きべりはむし30(2):1-13

近藤伸一(2003)里山のチョウ類の1年の生活
 きべりはむし31(1):57-75
 (KONDO SHINICHI
 神戸市西区岩岡町岩岡619-57)

兵庫県で確認された蛾の種類数について

兵庫県産蛾類分布資料・29

高島 昭

兵庫県の蛾についてはデータベースの構築に合わせて、1998年から兵庫県産蛾類分布資料として分類群ごとに文献記録と未発表記録を列挙し、解説を試みている。しかし、このペースでいくと完結するまでかなりの年月を要すると思われる。そこで、現時点での兵庫県で記録のある蛾の種類数はどれくらいあるのかについて整理してみた。ここで問題になるのは、文献上の情報のみで実際に標本を確認できていないものもかなりあることである。その中には誤報や同定ミス、記載ミス等の誤った情報もいくつかあると思われる。さいわい、兵庫県立人と自然の博物館には県内産の蛾のコレクションがかなり集まっており、これらの収蔵標本については博物館のご協力を得ながら、個体ごとに鋭意確認作業を進めているが、すべての文献記録を追跡確認することは不可能に近い。

しかしながら、種単位でなら分布の妥当性について論じることは可能である。つまり、明らかに記録に誤りがあると思われる「疑問種」を類推し、それに絞って追跡調査をすることは可能である。このことは、兵庫県産蛾類分布資料としてまとめる際に検討を試みており、その結果、いくつかの種については記録はあるものの県産種としての扱いを保留した方がよいと判断している。しかし、未検討もしくは情報不足により検討不能のものも多いのが事実である(とくに小蠅類)。

他方、「全国的な分布状況からみて兵庫県に分布していてもおかしくない種」も数多くある。これらは、個々の標本を確認した上で記録の妥当性について論ずるべきではあるが、文献上の記録を信頼してデータベースに含めている。これには土着していないと思われる種(いわゆる「迷蛾」)も含まれる。

このような不確実要素も含んでいることをあらかじめお断りしておき、現時点における兵庫県で記録された蛾の種類数を下表に示す(筆者採集による未発表記録も含む)。ここには先に述べた「確実に産す

ることが確認されるまで保留扱いにした方がよいと判断される種(……別記)」は含まない。

また、多くの種では、新種として記載されて以来、種名や分類上の位置が変更されているものが多い。このような場合、同定に用いた図鑑等が報文中に記述されていないと現在のどの種をさすのか判然としないことも多い。とくに和名に異名を持つ種の場合、学名が示されていなければ種の特定ができない場合もある。このようなケースは、そのレコードはデータベースそのものから除外している。文献記録にはその当時種名が明らかでなかったものもあるが、これらもすべて「未同定扱い」としてデータベースから除外している。

たいへん前置きが長くなったが、現時点における兵庫県産蛾類の種類数は2,240種類である。小蠅類についてはあまり積極的な調査がされていないこと、未同定のまま保留されている種が多いことをあわせ考慮すれば、近いうちに2,300種以上は記録できるものと考ええる。

リストから除外した種

文献記録はあるものの、誤同定、データ記載ミス等の可能性が高く、確実に産する(もしくは産した)ことが確認されるまで保留扱いにした方がよいと判断される種として次のようなものがある。いずれも標本が現認できておらず、兵庫県では分布している可能性が極めて低いもので、誤認であるか当時の知見から混同して報告されたと思われるものである。記録の発表者に問合せた誤認であることを確認できたものもいくつか含まれる。

フタバニオピノメイガ、マエベントガリバ、
 スミレシロヒメシヤク、ウラナミヒメシヤク、
 コヒメシヤク、クロマツズズメ、ヒメホウジヤク、
 クロツマキシヤチホコ、クロヤガ、ウ
 スベニキョトウ、ワタリンガ

既報の兵庫県産蛾類分布資料のその後
 これまで兵庫県産蛾類分布資料として第2表に示す
 科(亜科)の報告を行ったが、その後新たに確認され

た種もあるので、ここで最新の種類数と新たに追加
 された種を示しておく。

(TAKASHIMA AKIRA 姫路市書写2542-2)

表1 これまでに兵庫県で確認された科(亜科)ごとの種類数

科(亜科)名		種類数	
		亜科	科
コバネガ			1
コウモリガ			3
ヒゲナガガ			11
ボクトウガ	ゴマフボクトウ	1	
	ボクトウガ	2	
	小計		3
ハマキガ	ハマキガ	60	
	ヒメハマキガ	99	
	ホソハマキガ	10	
	小計		169
ミノガ			6
ヒロズコガ			15
ホソガ			3
AMPHISBATIDAE			1
スガ			19
メムシガ			1
ホソハマキモドキガ			6
スカシバガ	スカシバガ	12	
	ヒメスカシバガ	3	
	小計		15
マルハキバガ	ヒラタマルハキバガ	9	
	マルハキバガ	9	
	メスコバネマルハキバガ	1	
	オビコバネマルハキバガ	1	
	Autostichinae	3	
小計		23	
カザリバガ			8
ヒゲナガキバガ			7
キバガ			23
ニジュウシトリバガ			2
シンクイガ			2
アトヒゲコガ			1
マダラガ	ミノウスバ	1	
	マダラガ	8	
	ホタルガ	6	
	小計		15
セミヤドリガ			2
イラガ			16
マドガ	アカジママドガ	9	
	マドガ	1	
小計		10	

科(亜科)名		種類数	
		亜科	科
ツトガ	オオメイガ	8	
	ヤマメイガ	2	
	ツトガ	32	
	モンメイガ	2	
	クルマメイガ	3	
	ニセノメイガ	3	
	ノメイガ	160	
	小計		210
メイガ	ミスメイガ	14	
	シダメイガ	1	
	ツツリガ	11	
	フトメイガ	19	
	シマメイガ	33	
	マダラメイガ	50	
小計		128	
トリバガ			15
カギバガ	カギバガ	21	
	フトカギバガ	4	
小計		25	
オオカギバガ			2
トガリバガ			23
ジャクガ	フユシヤク	5	
	ホシシヤク	1	
	ホソシヤク	1	
	アオシヤク	55	
	ヒメシヤク	50	
	ナミシヤク	154	
	エダシヤク	212	
	小計		478
ツバメガ+フタオガ			9
アゲハモドキガ			3
イカリモンガ			1
カレハガ			15
カイコガ			4
ヤママユガ			9
オビガ			1
イボタガ			1
スズメガ	スズメガ	24	
	ホウジャク	18	
小計		42	
シャチホコガ			89
ドクガ			37
コブガ			23
カノコガ			2

科(亜科)名		種類数	
		亜科	科
ヒトリガ	コケガ	38	
	ヒトリガ	19	
	モンシロモドキ	1	
	小計		58
トラガ			6
ヤガ	ウスベリケンモン	8	
	ケンモン	31	
	キノコヨトウ	12	
	タバコガ	7	
	モンヤガ	30	
	ヨトウガ	56	
	セダカモクメ	55	
	カラスヨトウ	118	
	フサヤガ	4	
	ホンヤガ	1	
	キノカワガ	9	

科(亜科)名		種類数	
		亜科	科
	サラサリンガ	1	
	リンガ	17	
	コヤガ	66	
	ウワバ	27	
	シタバ	46	
	クチバ	119	
	アツバ	34	
	クルマアツバ	56	
小計			697
総計			2,240

* 2004年3月1日現在で入手したデータに基づいている。本号に掲載している新知見は反映されていない。

分類はPost-MJに準じているが、ツトガ科とメイガ科を分けて表示している。

表2 これまで報告した科(亜科)における追加記録種の状況

科(亜科)	掲載誌(発表年)	報告時の種類数	現在の種類数	新たに追加された種
カギバガ科	きべりはむし27(2)[1999]	25種	25種	
オオカギバガ科	きべりはむし27(2)[1999]	2種	2種	
トガリバガ科	きべりはむし27(2)[1999]	23種	23種	
カレハガ科	きべりはむし27(1)[1999]	14種	15種	スカシカレハ
カイコガ科	きべりはむし27(1)[1999]	4種	4種	※カイコガを含む
オビガ科	きべりはむし27(1)[1999]	1種	1種	
イボタガ科	きべりはむし27(1)[1999]	1種	1種	
ヤママユガ科	きべりはむし27(1)[1999]	9種	9種	
シャチホコガ科	てんとうむし13,14[1999,2001]	88種	89種	トリゲキシヤチホコ
ウスベリケンモン亜科	きべりはむし26(2)[1998]	7種	8種	ニセキバラケンモン
ケンモン亜科	きべりはむし26(2)[1998]	29種	31種	アサケンモン, ゴマシオケンモン
キノコヨトウ亜科	きべりはむし27(1)[1999]	12種	12種	
タバコガ亜科	きべりはむし27(1)[1999]	7種	7種	
モンヤガ亜科	きべりはむし28(1)[2000]	30種	30種	
ヨトウガ亜科	きべりはむし28(2)[2000]	55種	56種	エゾチャイロヨトウ
セダカモクメ亜科	きべりはむし29(1)[2001]	55種	55種	
カラスヨトウ亜科	きべりはむし30(1),(2)[2002]	115種	118種	ハガタウスキヨトウ, ヤナギキリガ, コガタツマキリヨトウ
キノカワガ亜科	きべりはむし29(2)[2001]	10種	9種	コマバシロキノカワガがコブガ科に移管されたため
サラサリンガ亜科	きべりはむし29(2)[2001]	1種	1種	
リンガ亜科	きべりはむし29(2)[2001]	17種	17種	
コヤガ亜科	きべりはむし31(1)[2003]	65種	66種	ウスグロホソコヤガ
ウワバ亜科	きべりはむし29(2)[2001]	26種	27種	ムラサキキンウワバ

氷上郡市島町の昆虫 2

稲畑 憲昭

筆者は1994年から市島町の妙高山とそのふもとで昆虫を採集してきた。

その個体数は膨大でありすべてを標本にして同定するのは時間がかかりすぎるので不完全ながら同定できた分から順次発表することにした。

採集データは個体数、日付、場所、採集状況、同定者の順である。

採集場所は氷上郡市島町妙高山と氷上郡市島町多利(廃村)、氷上郡市島町北奥塚原、氷上郡市島町北奥神池、氷上郡市島町北奥末谷であるが省略している。

採集状況は、ローカルすぎて分かりにくいところもあるがラベルのとおり書いた。

標本は特に記していない場合は筆者採集、保管である。同定者名がないものは筆者同定である。

Anthribidae ヒゲナガソウムシ科(14種)

1. *Deropygus jocosus* SHARP

ハイマダラカギバラヒゲナガソウムシ

1ex., 22.vii.1999, 妙高山, 枯れ枝から。

Det.I.Matoba, 2000.

2. *Araecerus fusciculatus* (DEGEER)

ワタミヒゲナガソウムシ

1ex., 2.v.1996, 北奥, 塚原から末谷にかけての林縁から。Det.I.Matoba, 2000.

1ex., 3.v.1996, 塚原, 1995年に切られた林縁の各種広葉樹の枯れ枝から。Det.I.Matoba, 2000.

1ex., 29.iv.1997, 妙高山, 林縁から。

Det.I.Matoba, 2000.

3. *Choragus compactus* SHARP

キンハリノミヒゲナガソウムシ

2exs., 30.vii.1997, 塚原, 夜, 妙高山入り口付近の炭焼き小屋の針葉樹材(赤松)から。

Det.I.Matoba, 2000.

4. *Opanthribus trssellatus* (BOHEMAN)

マダラヒゲナガソウムシ

1ex., 5.v.1997, 神池, 貯水池の周りの林縁から。

Det.I.Matoba, 2000.

5. *Euparius oculatus* (SHARP)

キノコヒゲナガソウムシ

2exs., 22.viii.1999, 塚原, 夜, 妙高山入り口付近の炭

焼き小屋の広葉樹材から。Det.I.Matoba, 2000.

6. *Platystomos sellatus* (ROELOFS)

シロヒゲナガソウムシ

1ex., 24.v.1997, 塚原, 林縁に放置された伐採された枯れ枝から。Det.I.Matoba, 2000.

1ex., 30.vii.1997, 塚原, 昼, 妙高山入り口付近の炭焼き小屋の広葉樹材から。Det.I.Matoba, 2000.

3exs., 1.viii.1997, 塚原, 昼, 妙高山入り口付近の炭焼き小屋の広葉樹材から。Det.I.Matoba, 2000.

3exs., 3.vi.1999, 塚原, 夜, 妙高山入り口付近の炭焼き小屋の広葉樹材から。Det.I.Matoba, 2000.

1ex., 22.viii.1999, 妙高山, 枯れ枝から。

Det.I.Matoba, 2000.

7. *Phloeobius gibbosus* ROELOFS

セマルヒゲナガソウムシ

3exs., 2.v.1996, 塚原, 1995年に切られた林縁の各種広葉樹の枯れ枝から。Det.I.Matoba, 2000.

1ex., 3.v.1996, 塚原, 1995年に切られた林縁の各種広葉樹の枯れ枝から。Det.I.Matoba, 2000.

2exs., 22.vii.1999, 妙高山, 枯れ枝から。

Det.I.Matoba, 2000.

1ex., 15.viii.1999, 妙高山, 広葉樹枯れ枝から。

Det.I.Matoba, 2000.

8. *Litocerus latus* SHARP

カオジロヒゲナガソウムシ

6exs., 3.vi.1999, 塚原, 夜, 妙高山入り口付近の炭焼き小屋の広葉樹材から。Det.I.Matoba, 2000.

9. *Tropideres naevulus* FAUST

キマダラヒゲナガソウムシ

1ex., 3.v.1996, 塚原, 昼, 妙高山入り口付近の炭焼き小屋の広葉樹材に被せたブルーシートから。

Det.I.Matoba, 2000.

1ex., 15.viii.1998, 塚原, 妙高山入り口付近の炭焼き小屋から。Det.I.Matoba, 2000.

10. *Tropideros roelofsi* (LEWIS)

クロフヒゲナガソウムシ

1ex., 1.v.1997, 神池, 貯水池の周りの林縁から。近くにシイタケのホダ木を大量に捨てていた。

Det.I.Matoba, 2000.

11. *Nessiodocus repandus* (JORDAN)

オビモンヒゲナガソウムシ

- 1ex.,30.vi.1999,塚原,炭焼き小屋で。
Det.Sawada,2002.
- 12. *Autotropis distinguenda* (SHARP)**
スネアカヒゲナガソウムシ
8exs.,2.v.1996,塚原, 1995年に切られた林縁の各種
広葉樹の枯れ枝から。Det.I.Matoba,2000.
1ex.,2.v.1996,北奥,塚原から末谷にかけての林縁
から。Det.I.Matoba,2000.
1ex.,3.v.1996,塚原,妙高山入り口付近の林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
4exs.,3.v.1996,塚原, 1995年に切られた林縁の各種
広葉樹の枯れ枝から。Det.I.Matoba,2000.
1ex.,1.v.1997,神池,貯水池の周りの林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
1ex.,4.v.1997,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.
4exs.,24.v.1997,妙高山,広葉樹の倒木から。
Det.I.Matoba,2000.
1ex.,22.vii.1999,妙高山,枯れ枝から。
Det.I.Matoba,2000.
- 13. *Rhaphitropis guttifer* (SHARP)**
コモンヒゲナガソウムシ
1ex.,2.v.1996,塚原, 塚原と末谷の境の林縁の枯れ
づるから。Det.I.Matoba,2000.
1ex.,23.vii.1999,塚原, 妙高山入り口付近の炭焼き
小屋の広葉樹材から。Det.I.Matoba,2000.
- 14. *Phaulimia confines* (SHARP)**
シリジロメナガヒゲナガソウムシ
1ex.,19.v.2000,塚原,炭焼き小屋の材上から。
- Rhynchitidae チョッキリソウムシ科(9種)**
- 1. *Auletobius uniformis* (ROELOFS)**
クロケシツブチョッキリ
1ex.,19.ix.1996,塚原,田んぼの横の道路で肩に止ま
った。Det.I.Matoba,2000.
1ex.,29.iv.1997,塚原, 林縁の畑に植えているモミ
ジから。Det.I.Matoba,2000.
1ex.,29.vii.1997,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.
- 2. *Byctiscus fausti* SHARP**
ファウストハマキチョッキリ
1ex.,2.v.1996,神池,貯水池の入り口付近のサクラ
の木から。Det.I.Matoba,2000.
1ex.,27.iv.1997,塚原,祖父の家にあるモミジの木か
ら。Det.I.Matoba,2000.
1ex.,27.iv.1997,塚原,林縁から。Det.Sawada,2002.
- 3. *Apoderites commodus* SAWADA**
ヒメイクビチョッキリ
1ex.,2.v.1996,末谷,林縁から。Det.Sawada,2002.
- 4. *Deporaus unicolor* (ROELOFS)**
コナライクビチョッキリ
1ex.,29.iv.1996,塚原,妙高山に入る直前にある川の
支流の横の道にあるキイチゴでとった。
Det.I.Matoba,2000.
1ex.,1.v.1996,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.
1ex.,27.iv.1997,塚原,林縁から。Det.Sawada,2002.
1ex.,29.iv.1997,妙高山,林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
1ex.,1.v.1997,神池,貯水池の周りの林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
1ex.,29.vi.1997,神池, 貯水池の周りの林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
- 5. *Deporatus mannerheimi* (HUMEL)**
ルリイクビチョッキリ
1ex.,29.iv.1996,塚原,林縁から。Det.Sawada,2002.
1ex.,30.iv.1996,神池, 貯水池の周りの林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
1ex.,29.vi.1997,神池, 貯水池の周りの林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
- 6. *Chonostrophus chujoi* VOSS**
マルムネチョッキリ
1ex.,2.v.1996,神池,林縁から。Det.Sawada,2002.
1ex.,2.v.1996,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.
2exs.,27.iv.1997,塚原,林縁から。Det.Sawada,2002.
1ex.,29.iv.1997,妙高山,林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
2exs.,29.iv.1997,妙高山,神池寺のモミジから。
Det.I.Matoba,2000.
- 7. *Neocoenorrhinus assimilis* (ROELOFS)**
カシルリチョッキリ
2exs.,29.iv.1996,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.
1ex.,29.iv.1996,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.
1ex.,3.v.1996,塚原,妙高山入り口付近の林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
1ex.,29.iv.1997,妙高山,林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
2exs.,27.iv.1997,塚原,林縁から。Det.Sawada,2002.
- 8. *Involvulus pilosus* (ROELOFS)**
ヒメケブカチョッキリ
1ex.,29.iv.1996,塚原, 妙高山に入る直前にある川
の支流の横の道にあるキイチゴでとった。

Det.I.Matoba,2000.

1ex.,1.v.1996,塚原, 妙高山に登って1kmほどにある妙高山の石碑の横にある道の奥にあるキイチゴでとった。Det.I.Matoba,2000.

1ex.,29.iv.1997,妙高山,林縁から。

Det.I.Matoba,2000.

9. *Rhynchitrs heros* ROELOFS モモチヨッキリ

1ex.,29.iv.1997,妙高山,多利のナシの木から。

Det.I.Matoba,2000.

Attelabidae オトシブミ科(12種)

1. *Paroplapoderus pardalis* (VOLLENHOVEN)

ゴマダラオトシブミ

1ex.,29.vi.1997,末谷,林縁のクリの木から。

Det.I.Matoba,2000.

2. *Phymatopoderus pavens* VOSS

ヒメコブオトシブミ

1ex.,4.v.1997,妙高山,多利の入り口に入っすぐの林縁から。Det.I.Matoba,2000.

3. *Apoderus jekelii* ROELOFS オトシブミ

1ex.,27.vi.1997,末谷,林縁から。Det.I.Matoba,2000.

3exs.,29.vi.1997,旧公民館横のクリの木から(10本ほど)。Det.I.Matoba,2000.

4. *Apoderus balteatus* ROELOFS

ウスモンオトシブミ

3exs.,29.vi.1997,神池,貯水池の周りの食草から。

Det.I.Matoba,2000.

5. *Apoderus erythrogaster* VOLLENHOVEN

ヒメクロオトシブミ

1ex.,4.v.1994,塚原,旧公民館のそばで。

Det.I.Matoba,2000.

6exs.,29.iv.1996,塚原,旧公民館横の林縁から。

Det.I.Matoba,2000.

6exs.,29.iv.1996,塚原,林縁から。

Det.I.Matoba,2000.

3exs.,29.iv.1996,塚原, 妙高山に入る直前にある川の支流の横の道にあるキイチゴでとった。

Det.I.Matoba,2000.

1ex.,1.v.1996,妙高山, 妙高山に登って1kmほどにある妙高山の石碑の横にある道の奥にあるキイチゴでとった。Det.I.Matoba,2000.

2exs.,2.v.1996,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.

1ex.,3.v.1996,塚原,妙高山の入り口付近の林縁のキイチゴから。Det.I.Matoba,2000.

1ex.,29.iv.1997,妙高山,林縁から。

Det.I.Matoba,2000.

1ex.,1.v.1997,神池,貯水池の周りの林縁から。

Det.I.Matoba,2000.

1ex.,4.v.1997,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.

1ex.,2.v.1997,塚原, 妙高山の入り口付近の林縁から。Det.I.Matoba,2000.

1ex.,5.v.1997,神池,貯水池の周りの林縁から。

Det.I.Matoba,2000.

1ex.,27.vi.1997,末谷,林縁から。Det.I.Matoba,2000.

1ex.,29.vi.1997,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.

6. *Cycnotrachelus roelofsi* (HAROLD)

エゴツルクビオトシブミ

1ex.,27.iv.1996,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.

7. *Paratrachelophorus longicornis* (ROELOFS)

ヒゲナガオトシブミ

1ex.,30.iv.1996,神池, 貯水池の周りの林縁から。

Det.I.Matoba,2000.

1ex.,5.v.1997,神池,貯水池の周りの林縁から。

Det.I.Matoba,2000.

8. *Phialodes rufipennis* ROELOFS

アシナガオトシブミ

1ex.,3.v.1996,塚原, 妙高山入り口付近の林縁から。

Det.I.Matoba,2000.

1ex.,2.v.1996,神池,貯水池入り口付近のキイチゴから。Det.I.Matoba,2000.

1ex.,2.v.1996,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.

1ex.,1.v.1997,神池,貯水池の周りの林縁から。

Det.I.Matoba,2000.

1ex.,2.v.1997,塚原,妙高山入り口付近の林縁から。

Det.I.Matoba,2000.

9. *Euops lespedezae* SHARP ハギルリオトシブミ

1ex.,4.v.1994,北奥,旧公民館横の林縁から。

Det.Sawada,2002.

1ex.,1.v.1997,塚原,林縁から。林縁から。

Det.I.Matoba,2000.

10. *Euops splendidus* VOSS カシルリオトシブミ

1ex.,29.iv.1996,塚原,林縁から。林縁から。

Det.I.Matoba,2000.

3exs.,24.v.1997,妙高山, 林縁から。

Det.I.Matoba,2000.

1ex.,25.v.1997,塚原,林縁から。林縁から。

Det.I.Matoba,2000.

1ex.,29.vi.1997,塚原,林縁から。林縁から。

Det.I.Matoba,2000.

1ex.,1.viii.1997,妙高山,林縁から。
Det.I.Matoba,2000.

11. *Euops konoii* SAWADA et MORIMOTO

ナラルリオトシブミ

1ex.,29.iv.1997,塚原,林縁の畑に植えているモミジ
から。Det.I.Matoba,2000.

12. *Euops punctatostriatus* (MOTSCHULSKY)

ルリオトシブミ

1ex.,2.v.1996,末谷,林縁から。Det.Sawada,2002.

Apionidae ホソクチゾウムシ科(6種)

1. *Apion collare* SCHILSKY

マメホソクチゾウムシ

1ex.,1.v.1997,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.

2. *Apion semisericeum* WAGNER

コゲチャホソクチゾウムシ

1ex.,24.v.1997,妙高山,林縁から。
Det.I.Matoba,2000.

3. *Apion placidum* FAUST

ヒゲナガホソクチゾウムシ

1ex.,24.v.1997,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.

4. *Apion hilleri* SCHILSKY

ヒレルホソクチゾウムシ

2exs., 29.iv.1996,塚原,林縁から。Det.Sawada,2002.
3exs.,2.v.1996,神池,林縁から。Det.Sawada,2002.
2exs.,2.v.1996,北奥,塚原から末谷までの林縁から。
Det.Sawada,2002.

1ex.,27.iv.1997,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.

1ex.,4.v.1997,妙高山,林縁から。Det.I.Matoba,2000.

5. *Apion praecarium* FAUST

ヒメケブカホソクチゾウムシ

5exs.,3.v.1996,塚原,妙高山入り口付近の林縁のキ
イチゴから。Det.I.Matoba,2000.

2exs.,1.v.1997,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.

6. *Apion pallidirostre* ROELOFS

アカクチホソクチゾウムシ

1ex.,2.v.1996,北奥,塚原から末谷までの林縁から。
Det.Sawada,2002.

1ex.,29.iv.1997,妙高山,林縁から。

Det.I.Matoba,2000.

1ex.,24.v.1997,妙高山,林縁から。

Det.I.Matoba,2000.

Curculionidae ゾウムシ科(65種)

1. *Phyllobius armatus* ROELOFS

リンゴコフキゾウムシ

2exs.,5 or 6.v.1995,塚原,伐採された林縁のクヌギ
の葉上から。Det.Sawada,2002.

2exs.,1.v.1996,妙高山,林縁から。Det.Sawada,2002.

1ex.,2.v.1996,塚原,林縁から。Det.Sawada,2002.

3exs.,2.v.1996,北奥,塚原から末谷までの林縁から。
Det.Sawada,2002.

1ex.,2.v.1996,神池,林縁から。Det.Sawada,2002.

2exs.,2.v.1996,北奥,林縁から。Det.Sawada,2002.

1ex.,27.iv.1997,塚原,林縁から。Det.Sawada,2002.

1ex.,29.iv.1996,塚原,林縁から。Det.Sawada,2002.

1ex.,29.iv.1997,妙高山,林縁から。

Det.I.Matoba,2000.

1ex.,1.v.1997,神池,貯水池の周りの林縁から。

Det.I.Matoba,2000.

4exs.,4.v.1997,妙高山,林縁から。

Det.I.Matoba,2000.

2exs.,24.v.1997,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.

1ex.,25.v.1997,神池,貯水池の周りの林縁から。

Det.I.Matoba,2000.

2. *Phyllobius intrusus* KONO

ヒラズネヒゲボソゾウムシ

1ex.,29.iv.1996,塚原,旧公民館そばの林縁から。

Det.I.Matoba,2000.

1ex.,29.iv.1996,塚原,妙高山入り口付近の川の支
流に沿ってある林縁のナラ類から。

Det.I.Matoba,2000.

1ex.,4.v.1997,妙高山,林縁から。Det.I.Matoba,2000.

3. *Myllocerus griseus* ROELOFS

カシワクチブトゾウムシ

1ex.,4.v.1994,塚原,旧公民館そばの林縁から。

Det.I.Matoba,2000.

1ex.,27.iv.1996,塚原,旧公民館横のモミジの花から,
葉は緑。Det.Sawada,2002.

7exs.,29.iv.1996,塚原,林縁から。Det.Sawada,2002.

3exs.,29.iv.1996,塚原,妙高山入り口の横道の林縁
のナラ類から。Det.Sawada,2002.

1ex.,1.v.1996,妙高山,林縁から。Det.Sawada,2002.

1ex.,2.v.1996,塚原,林縁から。Det.Sawada,2002.

1ex.,17.ix.1996,塚原,旧公民館横の栗の木から。

Det.Sawada,2002.

2exs.,27.iv.1997,塚原,林縁から。Det.Sawada,2002.

1ex.,27.iv.1997,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.

1ex.,1.v.1997,神池,貯水池の周りの林縁から。

Det.I.Matoba,2000.

- lex.,2.v.1997,塚原,妙高山入り口付近の林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
- lex.,4.v.1997,妙高山,林縁から。Det.I.Matoba,2000.
- lex.,24.v.1997,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.
- lex.,25.v.1997,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.
- lex.,29.vi.1997,神池,貯水池の周りの林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
- 4. *Myloserus nigromaculatus* ROELOFS**
クロホシクチフトソウムシ
lex.,29.vi.1997,神池, 貯水池の周りのナラ類から。
Det.I.Matoba,2000.
- 5. *Mylocerus nipponensis* ZUMPT**
ツンブトクチフトソウムシ
lex.,29.iv.1997,妙高山,林縁から。
Det.Sawada,2002.
- lex.,4.v.1997,塚原,林縁から。Det.Sawada,2002.
- lex.,4.v.1997,妙高山,林縁から。Det.Sawada,2002.
- lex.,24.v.1997,塚原,林縁から。Det.Sawada,2002.
- 6. *Anosimus decoratus* ROELOFS**
トゲアシソウムシ
lex.,29.vi.1997,神池,貯水池の周りのナラ類から。
Det.I.Matoba,2000.
- 7. *Cyrtepistomus castaneus* (ROELOFS)**
クワイロクチフトソウムシ
lex.,29.iv.1997,妙高山,林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
- lex.,27.vi.1997,末谷,林縁から。Det.Sawada,2002.
- 3exs.,30.vii.1997,神池,林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
- 8. *Episomus turritus* (GYLLENHAL)**
シロコブソウムシ
lex.,1.viii.1997,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.
- 9. *Dermatoxenus caescicollis* (GYLLENHAL)**
ヒメシロコブソウムシ
lex.,2.v.1996,塚原, 1995年に切られた林縁の各種
広葉樹の枯れ枝から。又はそばの草から。
Det.I.Matoba,2000.
- 10. *Scythropus scutellaris* ROELOFS**
マツトビソウムシ
lex.,29.iv.1996,塚原,旧公民館横のクロマツの枝か
ら。Det.I.Matoba,2000.
- 11. *Eugnathus distinctus* ROELOFS**
- コフキソウムシ
2exs.,29.vi.1997,神池,貯水池の周りの林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
- 12. *Hypera basalis* (VOSS)** ハコベタコソウムシ
lex.,5.v.1997,神池,貯水池の周りの林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
- 13. *Larinus latissimus* ROELOFS** ゴボウソウムシ
lex.,25.v.1997,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.
- 14. *Mecysolobus piceus* (ROELOFS)**
カシアシナガソウムシ
lex.,18.ix.1996,塚原,旧公民館横のクリの畑から
(10本程)。実はまだ育い。葉の部分から採集。
Det.I.Matoba,2000.
- 2exs.,1.v.1997,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.
- 15. *Mesalcidodes trifidus* (PASCOE)**
オジロアシナガソウムシ
lex.,2.v.1996,北奥, 塚原から末谷までの林縁のク
ズから。Det.I.Matoba,2000.
- 16. *Echinocnemus squameus* (BILLBERG)**
イネソウムシ
5exs.,17.IX.1999,塚原,夜,街灯の明かりに来た。
- 17. *Tanysphyrus major* ROELOFS**
オオミズソウムシ
lex.,17.iv.1999,塚原,夜,街灯の明かりに来た。
Det.Sawada,2002.
- lex.,29.vi.1997,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.
- 18. *Stereonychus thoracicus* FAUST**
アカタマソウムシ
lex.,4.v.1994,塚原,旧公民館のそばの林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
- 19. *Exalma dentipes* (ROELOFS)**
コブノコギリソウムシ
2ex.,2.v.1996,末谷,林縁から。
- 20. *Orchestes mumon* KONO** ムモンノミソウムシ
lex.,30.iv.1996,神池,貯水池の周りの林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
- 21. *Orchestes amurensis* FAUST**
ムネスジノミソウムシ
lex.,1.v.1997,神池, 貯水池の周りの林縁から。
Det.I.Matoba,2000.

- 1ex.,25.v.1997,末谷,林縁から。Det.I.Matoba,2000.
- 22. *Orchestes excellens* (ROELOFS)**
フトノミゾウムシ
5exs.,16.viii.2000,妙高山,材上から。
- 23. *Orchestes variegatus* (ROELOFS)**
ウスモンノミゾウムシ
1ex.,2.v.1996,北奥,塚原から末谷までの林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
1ex.,3.v.1996,塚原,妙高山入り口付近の林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
- 24. *Elleschus bicoloripes* VOSS et CHUJO**
ハモグリゾウムシ
1ex.,1.v.1997,神池,貯水池の周りの林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
1ex.,3.v.1996,塚原,妙高山入り口付近の林縁のキ
イチゴから。Det.I.Matoba,2000.
1ex.,4.v.1997,妙高山,林縁から。Det.I.Matoba,2000.
- 25. *Demimaea fascicularis* (ROELOFS)**
タバゲササラゾウムシ
1ex.,30.vii.1997,神池,林縁から。Det.I.Matoba,2000.
- 26. *Bradybatus limbatus* ROELOFS**
ヘリアカナガハナゾウムシ
1ex.,29.iv.1996,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.
- 27. *Anthonomus bisignifer* SHENKLING**
イチゴハナゾウムシ
2exs.,29.iv.1996,塚原,妙高山に入る直前にある川
の支流の横の道にあるキイチゴでとった。
Det.I.Matoba,2000.
4exs.,1.v.1996,妙高山,妙高山に登って1kmほどに
ある妙高山の石碑の横にあるの奥にあるキイ
チゴでとった。Det.I.Matoba,2000.
1ex.,29.iv.1997,妙高山,林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
1ex.,24.v.1997,妙高山,林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
- 28. *Anthonomus mali* KOJIMA et MORIMOTO**
1ex.,27.iv.1996,塚原,旧公民館横のモミジの花から,
花が咲いていた。Det.Sawada,2002.
- 29. *Anthonomus yuasai* KONO**
ユアサハナゾウムシ
1ex.,2.v.1996,北奥,塚原から末谷までの林縁から。
Det.Sawada,2002.
- 1ex.,29.iv.1997,妙高山,林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
- 1ex.,4.v.1997,妙高山,林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
- 30. *Curucio convexus* (ROELOFS)**
セダカシギゾウムシ
1ex.,2.v.1996,塚原,林縁から。Det.Sawada,2002.
1ex.,2.v.1996,神池,塚原との境近くの林縁から。
Det.Sawada,2002.
1ex.,1.v.1997,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.
- 31. *Curucio distingnendus* (ROELOFS)**
クロシギゾウムシ
1ex.,12.v.1999,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.
- 32. *Curucio camelliae* (ROELOFS)**
ツバキシギゾウムシ
1ex.,5.vi.1999,塚原,林縁から。
1ex.,22.vii.1999,塚原,林縁から。
- 33. *Curucio sikkimensis* (HELLER)**
クリシギゾウムシ
1ex.,18.ix.1996,塚原,旧公民館横のクリの畑から
(10本程)。実はまだ青い。Det.I.Matoba,2000.
- 34. *Baris ezoana* KONO エソヒメゾウムシ**
1ex.,2.v.1996,神池,林縁の枯れツルの絡まったと
ころから。Det.Sawada,2002.
1ex.,29.iv.1997,妙高山,林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
- 35. *Meroeobaris deplanata* (ROELOFS)**
クワヒメゾウムシ
1ex.,29.iv.1997,妙高山,神池寺の境内のモミジか
ら。Det.I.Matoba,2000.
- 36. *Pellobaris melancholicus* (ROELOFS)**
ツヤケシヒメゾウムシ
1ex.,29.iv.1997,妙高山,神池寺の境内のモミジから。
Det.I.Matoba,2000.
- 37. *Rhinoneus jakovlevi* FAUST**
ギシギシクチフトサルゾウムシ
2exs.,27.iv.1997,塚原,林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
- 38. *Mecysmoderes brevicarinatus* HUSTACHE**
ネジキトゲムネサルゾウムシ
1ex.,2.v.1996,神池,林縁から。Det.Sawada,2002.

- 1ex.,29.iv.1997,妙高山,林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
1ex.,4.v.1997,妙高山,林縁から。Det.I.Matoba,2000.
- 39. *Mecynoderes fulvus* ROELOFS**
ツツジトゲムネサルソウムシ
8exs.,2.v.1996,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.
1ex.,29.iv.1997,妙高山,林縁の花の咲いたツツジから。Det.I.Matoba,2000.
1ex.,1.v.1997,神池,貯水池の周りの林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
1ex.,4.v.1997,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.
- 40. *Scleropteroides hypocritus* (HUSTACHE)**
キイチゴトゲサルソウムシ
10exs., 1.v.1996,妙高山, 妙高山に登って1kmほどにある妙高山の石碑の横にあるの奥にあるキイチゴでとった。Det.I.Matoba,2000.
8exs., 3.v.1996,塚原,妙高山入り口付近の林縁のキイチゴから。Det.I.Matoba,2000.
1ex.,27.iv.1997,塚原,林縁から。Det.Sawada,2002.
3exs.,29.iv.1997,妙高山,林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
1ex.,4.v.1997,妙高山,林縁から。Det.I.Matoba,2000.
- 41. *Ceuthorrhynchidius albosuturalis* (ROELOFS)**
ダイコンサルソウムシ
25exs.,29.iv.1996,塚原,家の畑の菜の花から。
Det.I.Matoba,2000.
- 42. *Wagnerinus harmandi* (HUSTACHE)**
アルマンサルソウムシ
3exs.,4.v.1997,妙高山,林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
- 43. *Egiona picta* (ROELOFS)**
クロホシタマクモソウムシ
1ex.,3.v.1996,塚原, 1995年に切られた林縁の各種広葉樹の枯れ枝から。Det.I.Matoba,2000.
- 44. *Metialma signifera* PASCOE**
ヒラセクモソウムシ
1ex.,29.iv.1997,妙高山,キイチゴ類から。
Det.I.Matoba,2000.
- 45. *Phylaitis maculiventris* VOSS**
ツノクモソウムシ
1ex.,3.v.1996,塚原。Det.I.Matoba,2000.
- 46. *Carcilia tenuistriata* HELLER**
- コゲチャツツソウムシ
1ex.,1.viii.1997,妙高山,多利と神池寺の間の斜面の伐採地で。Det.I.Matoba,2000.
- 47. *Trachodes subfasciatus* VOSS**
ダルマカレキシソウムシ
1ex.,29.iv.1997,塚原,夜,妙高山入り口の炭焼き小屋の広葉樹の材から。Det.Sawada,2002.
1ex.,3.v.1997,塚原, 昼,妙高山入り口の炭焼き小屋の広葉樹から。Det.I.Matoba,2000.
- 48. *Acicnemis palliata* PASCOE**
ウスモンカレキシソウムシ
1ex.,4.v.1997,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.
1ex.,5.v.1997,神池,貯水池の周りの林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
- 49. *Acicnemis suturalis* VOSS**
ナカスジカレキシソウムシ
2exs.,3.v.1996,塚原, 1995年に切られた林縁の各種広葉樹の枯れ枝から。Det.I.Matoba,2000.
- 50. *Hylobitelus haroldi* (FAUST)**
マゾアナアキシソウムシ
3exs.,29.iv.1997,妙高山,林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
1ex.,4.v.1997,妙高山,林縁から。Det.I.Matoba,2000.
- 51. *Dyscerus gigas* (ROELOFS)**
フトアナアキシソウムシ
1ex.,29.iv.1997,妙高山,林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
1ex.,2.v.1996,神池,貯水池の周りの林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
- 52. *Dyscerus shikokuensis* (KONO)**
リンゴアナアキシソウムシ
1ex.,23.vii.1999,妙高山,多利のナシの木から。
Det.I.Matoba,2000.
- 53. *Seluca chujoi* VOSS**
チュウジョウアナアキシソウムシ
1ex.,3.v.1997,塚原,昼,妙高山入り口の炭焼き小屋の広葉樹の丸太から。Det.Sawada,2002.
3exs.,23.v.1997,塚原,昼,妙高山入り口の炭焼き小屋の広葉樹の丸太から。Det.Sawada,2002.
1ex.,29.v.1997,塚原,夜,妙高山入り口の炭焼き小屋の広葉樹の材木から。Det.Sawada,2002.
1ex.,29.vi.1997,塚原, 夕方,妙高山入り口の炭焼き小屋の広葉樹の丸太から。Det.I.Matoba,2000.

- 1ex.,1.viii.1997,塚原, 昼,妙高山入り口の炭焼き小屋の広葉樹の丸太から。Det.I.Matoba,2000.
54. *Mecistocerus nipponicus* KONO
マダラメカクシゾウムシ
1ex.,30.vii.1997,塚原, 昼,妙高山入り口の炭焼き小屋の広葉樹材から。Det.I.Matoba,2000.
55. *Rhadinomerus annulipess* (ROELOFS)
アカナガクチカクシゾウムシ
2exs.,23.v.1997,塚原, 妙高山入り口の炭焼き小屋の広葉樹材から。Det.I.Matoba,2000.
1ex.,29.vi.1997,塚原, 夕方,妙高山入り口の炭焼き小屋の広葉樹の丸太から。Det.I.Matoba,2000.
4exs.,30.vii.1997,塚原, 妙高山入り口の炭焼き小屋の広葉樹材から。Det.I.Matoba,2000.
56. *Rhadinomerus subovatus* MORIMOTO
マルミナガクチカクシゾウムシ
2exs.,25.v.1997,塚原,林縁(枯れ枝から?)。
Det.I.Matoba,2000.
1ex.,19.v.2000,妙高山,枯れ木から。
Det.Sawada,2002.
57. *Deiradocranus setosus* (MORIMOTO)
チビクチカクシゾウムシ
1ex.,29.iv.1997,妙高山,林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
1ex.,24.v.1997,妙高山,林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
58. *Simulatacalles simulator* (ROELOFS)
ヒサゴクチカクシゾウムシ
1ex.,30.vi.1999,塚原,炭焼き小屋から。
Det.I.Matoba,2000.
59. *Rhadinopus suleatostriatus* (ROELOFS)
アラハダクチカクシゾウムシ
1ex.,2.v.1997,塚原,夜間,妙高山入り口付近の炭焼き小屋の広葉樹材から。Det.I.Matoba,2000.
1ex.,19.v.2000,妙高山,枯れ木から。
Det.Sawada,2002.
60. *Shirahoshizo rufescens* (ROELOFS)
ニセマツノシラホシゾウムシ
1ex.,24.v.1997,塚原,林縁から。Det.I.Matoba,2000.
61. *Shirahoshizo pini* MORIMOTO
コマツノシラホシゾウムシ
1ex.,1.viii.1997,妙高山, 多利と神池寺の間の斜面の伐採地で。Det.I.Matoba,2000.
62. *Cryptorhynchus fasciculatus* (ROELOFS)
ハスジクチカクシゾウムシ
2exs.,19.v.2000,妙高山,枯れ木から。
Det.I.Matoba,2000.
63. *Cryptorhynchus electus* (ROELOFS)
マダラクチカクシゾウムシ
1ex.,29.iv.1997,塚原, 夜間,妙高山入り口付近の炭焼き小屋の広葉樹材から。Det.I.Matoba,2000.
1ex.,2.v.1997,塚原, 夜間,妙高山入り口付近の炭焼き小屋の広葉樹材から。Det.I.Matoba,2000.
1ex.,4.v.1997,塚原, 夜間,妙高山入り口付近の炭焼き小屋の広葉樹材から。Det.I.Matoba,2000.
2exs.,23.v.1997,塚原, 昼,妙高山入り口付近の炭焼き小屋の広葉樹材から。Det.I.Matoba,2000.
64. *Stenoscelis gracilitarsis* WOLLASTON
マツクチフトクイゾウムシ
1ex.,3.v.1997,塚原, 昼,妙高山入り口付近の炭焼き小屋の広葉樹材に潜り込んでいた。
Det.I.Matoba,2000.
65. *Heterarthrus lewisii* WOLLASTON
チャバネクイゾウムシ
3exs.,2.v.1996,北奥, 塚原から末谷までの林縁のクズから。Det.I.Matoba,2000.
- Rhynchophoridae オサゾウムシ科(2種)
1. *Sipalinus gigas* (FABRICIUS) オオゾウムシ
1ex.,5.v.1997,貯水池の周りの林縁から。
Det.I.Matoba,2000.
2. *Cryptoderma fortunei* (WATERHOUSE)
オオシロオビゾウムシ
1ex.,17.IX.1996,塚原,神池との境付近で、道路脇に生えたイネ科植物に頭を下にして止まっていた。
- 以上、ゾウムシ類108種を記録した。
最後になったが、データに信頼性を持たせるためとはいえ同定容易な種まで引き受けてくださった和歌山県立博物館の的場積氏と兵庫県立人と自然の博物館の沢田佳久氏に心よりお礼申し上げる。また、筆者の作業の遅さにより公表が遅れてしまったことをお詫び申し上げます。これらの同定していただいた標本を元に勉強に励みたいと思う。
(INAHATA NORUAKI 神戸市灘区八幡町1丁目2-54)

播磨地方某所におけるウラナミジャノメと ヒメウラナミジャノメの棲み分け調査

立岩 幸雄

はじめに

ヒメヒカゲ生息地である当播磨地方の乾燥草原にはヒメヒカゲの他に、ジャノメチョウ、ヒカゲチョウ、ウラナミジャノメ、ヒメウラナミジャノメのジャノメチョウ科5種が高密度で生息している場所がある。今回このなかで近縁であるウラナミジャノメとヒメウラナミジャノメの成虫の発生に関する調査を行なった。各種出版物、文献のなかに両者は生息環境において棲み分けている、すなわち陰性な環境にはヒメウラナミジャノメが発生し、陽性な環境にはウラナミジャノメが発生するとの記述があるが、実際に野外で観察してみると、棲み分けている要因は陰性・陽性の生息環境だけではないように感じられ今回より詳しく調査してみることにした。

調査地の概要

小高い丘の斜面に広がっている乾燥草原とその周辺の湿地、低木の松、植林されたが土壌不良によりまったく成長しない杉、ハリエンジュやクロバナエンジュといった外来植物樹林で構成された植物相および地形である。簡単に表現すれば、クヌギやコナラが生える雑木林ではなく、酸性土壌で高木が生えない乾燥草原とその周辺のブッシュということになる。

調査方法

歩くルートを設定し、そのルート上で確認・目撃した両種の頭数をカウントする手法を用いた。調査の幅を持たせるためと、カウントし易いように、ルートを明るさや地形の変化によって8分割したうえで調査を行なった。調査日は極力一週間以上空けないように心掛けた。調査開始時間については毎回一定時間のスタートが望ましく、その方がより公平なデータ採取になるとは感じつつ、実現できなかった。

調査日

2002年4月21日	12:00～
2002年4月29日	13:30～
2002年5月 6日	17:00～
2002年5月11日	15:00～
2002年5月18日	12:00～
2002年5月26日	9:00～
2002年6月 1日	18:00～
2002年6月 8日	16:00～
2002年6月16日	17:00～
2002年6月22日	15:00～
2002年6月23日	16:00～
2002年6月28日	*観察データ紛失
2002年7月 6日	13:00～

基礎データ

区分 目撃場所	照度	4月21日		4月29日		5月6日		5月11日		5月18日		5月26日	
		天気：晴れ		天気：曇り		天気：曇り		天気：曇り		天気：曇り		天気：晴れ	
		時間：12:00		時間：13:30		時間：17:00		時間：15:00		時間：12:00		時間：9:00	
		ヒメウラ	ウラナミ	ヒメウラ	ウラナミ								
1 入口付近	暗	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0
2 鉄塔まわり	暗	2	0	11	0	4	0	7	0	4	0	2	0
3 コンクリート⇒杉	明	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0
4 杉⇒三叉路	明	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
5 三叉路⇒ハシキ	明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 ハシキ⇒松	明	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
7 松⇒ヤマモミ	中	2	0	3	0	4	0	4	0	0	0	3	0
8 ヤマモミ⇒コナラ	暗	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
合計		4	0	20	0	11	0	13	0	6	0	6	0

区分 目撃場所	照度	6月1日		6月8日		6月16日		6月22日		6月23日		7月6日	
		天気：晴れ		天気：晴れ		天気：晴れ		天気：晴れ		天気：曇り		天気：曇り	
		時間：18:00		時間：16:00		時間：17:00		時間：15:00		時間：16:00		時間：13:00	
		ヒメウラ	ウラナミ										
1 入口付近	暗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 鉄塔まわり	暗	0	0	0	1	0	1	0	0	2	1	11	0
3 コナリ→杉	明	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
4 杉→三叉路	明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 三叉路→ハシ	明	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
6 ハシ→松	明	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0
7 松→ヤマモ	中	0	0	0	3	0	1	0	2	0	2	2	0
8 ヤマモ→コナリ	暗	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
合計		0	1	0	8	0	5	0	2	2	3	13	0

調査結果1：目撃数の推移

当播磨地方におけるヒメウラナミジャノメ初見日は2002年シーズンが4月13日、2001年、2000年シーズンとも4月22日であった。例年は4月中頃から出現している。今回の調査開始日である4月21日は、他の場所での初見日から遅れること8日目のスタートになった。ヒメウラナミジャノメの第1化のピークは4月末から5月中頃にかけてである。第1化の発生期間はほぼ一ヶ月である。

他方、ウラナミジャノメの初見日は2002年シーズンが6月1日、2001年シーズンが6月2日であった。2002年も2001年も初見ポイントはまったく同じであった。明るい草原のなかの非常に狭い一角である。最終目撃日は2002年シーズンが6月23日、2001年シーズンが6月30日であった。ウラナミジャノメにおいても発生期間はヒメウラナミジャノメのそれに同

じくちょうど一ヶ月間であり、当生息地においては6月の間だけ発生していることになる。尚、当生息地のウラナミジャノメは第1化の発生のみである。

ヒメウラナミジャノメの第2化個体初見日は2002年シーズンが6月23日、2001年シーズンが6月30日であった。

以上から明らかなように両種が混生している当生息地においては環境の棲み分けとういよりは時期的な棲み分けを行なっていると思われる。例外として2002年シーズンでは6月23日に1例、2001年シーズンでは6月10日に1例、両種の混飛を確認した。

当生息地以外のヒメウラナミジャノメ単独の発生地においては第1化から第2化への推移はガラガラと行なわれるようであり、6月であってもヒメウラナミジャノメを多く見かけることから両種の棲み分けは混生地特有の生態であると思われる。

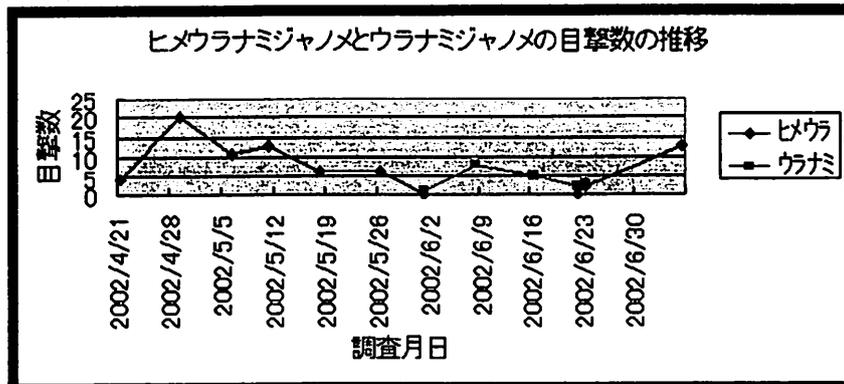


図1 ヒメウラナミジャノメとウラナミジャノメの目撃数の推移

調査結果2：累計目撃数

下表およびグラフに示す通り、4月21日から7月6日までの77日間、計12回の調査における累計目撃頭数はヒメウラナミジャノメ75頭に対し、ウラナミジャノメ19頭である。比率はヒメウラナミジャノメ：ウラナミジャノメ=4：1である。

実際に屋外で目撃する場合はヒメウラナミジャノメが圧倒的に多いように感じていたがカウントしてみるとこのような結果になった。

野外での両種の同定については、ウラナミジャノメに比べるとヒメウラナミジャノメはやや小型であり、わざわざネットに入れて確認せずとも、観察回数を重ねれば目視のみで容易に同定できるようになる。今回の調査において性差判別は行なわなかった。

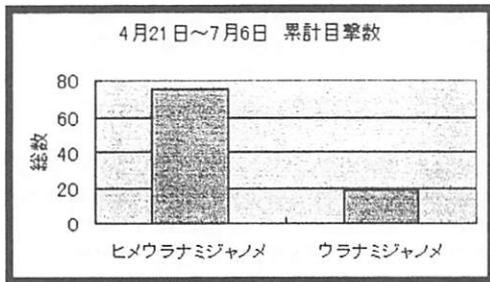


図2 両種の累計目撃数

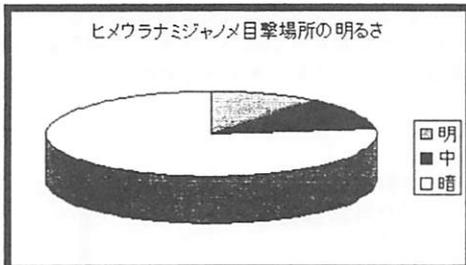


図3 ヒメウラナミジャノメの目撃場所の明るさ

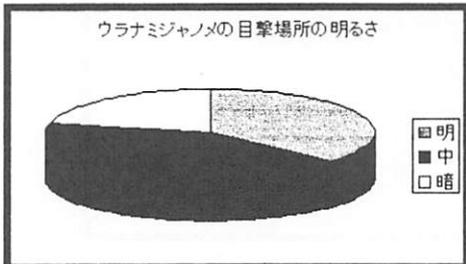


図4 ウラナミジャノメの目撃場所の明るさ

調査結果3：目撃場所の明るさ

目撃場所を相対的な明るさごとに区別して集計してみると下記のような結果となる。これから判るように、やはりヒメウラナミジャノメは陰性な環境を好むようである。他方ウラナミジャノメは明るい場所(陽性環境)を好むようであるが、陰性環境にまったくいないわけではなく、陽性環境が絶対的条件になっているとは言い難い。生息環境と食草の関係については判らない。

問題点として、調査を始めるにあたり生息地の照度を「明」「暗」その中間で「中」と自分自身の感性で区別はしてみたが、季節が進むにつれ、植物相が濃くなり草木がおい茂ってくると全般的に暗くなってしまう4月21日の時点での判断基準の継続使用が難しくなってしまった。当初「中」としていたところは6月になると「暗」に、「暗」にしていたところはさらに暗くなってしまった。

今後の課題

2001年シーズン観察においてウラナミジャノメの交尾個体を確認した。夕刻明るい場所でイヌツゲの枝で繋がっていた。訪花・吸蜜についてはヒメウラナミジャノメはノイバラで確認したが、ウラナミジャノメにおいては確認できなかった。

産卵行動については2002年、2001年シーズンとも確認できなかった。幼虫探索を行なった結果でも、見つかったのはヒメヒカゲのみであった。ウラナミジャノメ、ヒメウラナミジャノメとも食草を明らかにする手がかりさえ得られなかった。これまでの延長線での調査・観察回数および手法では両種とも、その食草を明らかにすることは極めて難しいように感じている。

今回の調査を行なうにあたり貴重なアドバイスをいただいた近藤伸一氏からも、ウラナミジャノメの兵庫県内における食草の唯一の確認例はメリケンカルカヤである旨教えていただいているが、現時点での私自身の植物への知識不足からこの食草の同定すらできない体たらくである。また近藤氏はウラナミジャノメの成虫目撃地と産卵地(幼虫生息地)が離れているのではないかと予想されており、今後の観察調査のひとつの方向を示すものであると認識している。いずれにしろ来シーズン以降も継続観察予定である。

(TATEIWA YUKIO 加古川市加古川町西河原97-7
サンロイヤル加古川リバーージュII 713)

兵庫県のシタバガ亜科

兵庫県産蛾類分布資料・30

高島 昭

今回はヤガ科のうちシタバガ亜科について述べる。ここで示したデータは2003年12月1日現在で入手した資料に基づいている。記載の要領はこれまでのものと同じである。

なお、兵庫県立人と自然の博物館における収蔵標本の調査及び記録の掲載については、人と自然の博物館の中西明徳氏、八木剛氏に格別のご配慮をいただいた。この場を借りて厚くお礼を申し上げる次第である。

シタバガ亜科 <CATOCALINAE>

ヤガ科の中心をなす亜科で、熱帯、亜熱帯を中心に繁栄しているが、キシタバ属(*Catocala*)は温帯にその分布の中心を持ち、日本の蛾相を特徴付ける一群でもあり、大型美腿種が多いことから人気が高く、蛾類の中でもよく調査されている。

幼虫は樹皮状の隠蔽色を呈するものが多く、第1ないし第2腹脚を欠くセミルーパーであるが、*Arcte*属のように長毛を生じ華麗な色彩を有するものもある。また、一方では南方系の種群には移動性の強い種もあるようで、南方から飛来したと思われる偶産種も時々採集される。

日本には80種が知られており、そのうち兵庫県からは46種が記録されている(43ページ別表参照)。

地域別に見ると、神戸31種、阪神北摂29種、中東播南部19種、中東播北部23種、西播南部26種、西播北部24種、南但24種、北但21種、丹波26種、淡路北部12種、淡路南部25種となっており、神戸市や阪神地域で記録が多いことがわかる。

オオシロシタバ、フシキキシタバ、ナマリキシタバ、コシロシタバ、ヒメシロシタバ、シラホシアシプトクチバ、タイリクアシプトクチバ、オキナワアシプトクチバ、ユミモンクチバ、クロスジユミモンクチバ、ツキワクチバの11種は注目種である。

また、エソベニシタバ、ミヤマキシタバ、キシタアシプトクチバ、ヘリグロクチバ、ツメクサキシタバ、ウスオビクチバの6種は今後県内で産地が採集される可能性がある。

また、南方から未知の偶産種が飛来して記録される可能性もある。

1. *Catocala lara* Bremer (4171)

オオシロシタバ 注目種

北海道から近畿にかけてと四国、九州の高地に分

布する。北海道では平地にもごく普通に見られ、例えば札幌市内の都市公園でもよく見かけるが、西南暖地では稀な種である。幼虫はシナノキを食べる。兵庫県では記録が少なく、これまでのところ波賀町坂の谷の記録が唯一である。また、筆者は鉢北高原で目撃しているの、西播から但馬にかけての深山に分布すると思われるが、かなり少ないものである。出現時期は8月後半と思われる。

[採集記録]

波賀町(坂の谷,17.VIII.1991,1♂,松尾陸人¹⁸⁴)

2. *Catocala fraxini* (Linnaeus) (4172)

ムラサキシタバ

日本産のカトカラでは最大種であり、後翅に紫色を喪す唯一の種である。北海道から本州にかけてと四国山地に分布する。現在のところ広島県北部山地が西限とされており、四国では徳島県西祖谷山村が唯一の産地として知られている。年1回の発生で幼虫はヤマナラシ、ドロノキを食べる。県下では西播から但馬にかけての山地帯に産する。産地では個体数は少ないものの決して局地的で稀な種ではなく、1,000m級の山には案外普遍的に産するものと思われる。ただ、出現時期はやや遅く初秋から秋にかけて見られる。兵庫県レッドデータブックのBランクに指定されている。

[採集記録]

大河内町(砥峰高原,12.X.1999,1♀,高島昭²¹⁵)

波賀町(戸倉峠,3.X.1981,1♀;4.X.1981,1♂,相坂耕作⁹⁹:同,1.X.1981,1♂,黒田収⁹⁹:引原,21.VIII.1977,1♂,木下総一郎¹⁸⁰:同,4.X.1981,1♂;20.X.1981,1♂,相坂耕作⁹⁹:同,16.X.1981,1♀,黒田収⁹⁹:同,21.X.1981,1♀,松尾陸人⁹⁹:同,7.X.1988,1♂,高島昭¹⁸⁴:同,21.X.1997,1♀,高島昭)

養父市(氷ノ山,16.VIII.1955,1♂,山本義丸*)

3. *Catocala electa* (Borkhausen) (4174)

ベニシタバ

北海道から九州にかけて分布するが、西南暖地では山地性で局地的で稀な産出になるという。幼虫はヤナギ類を食べる。県下では西播から但馬にかけての山地に産するが、産地では個体数は決して少ないものではなくむしろ普通に見られる。なお、三日月町のような低山地での記録もあるので、分布域は意外に広いかもしれない。出現時期はやや遅く、夏の終わり頃から秋にかけてみられる。大阪箕面公園でも記録されているので、六甲山系や北摂から丹波に

かけての山地帯でも見つかる可能性がある。

【採集記録】

大河内町(砥峰高原,25.VIII.2002,1ex.,中濱春樹^{243*})
 波賀町(坂の谷,26.VIII.1992,1♂,八木剛^{*}: 同,4.IX.1998,1♀,
 高島昭: 引原,16.IX.1977,1♀,木下總一郎¹⁰⁰: 同,8.VIII.
 1980,1♂;-IX.1980,1♂;8.VIII.1981,1♂,相坂耕作: 同,11.
 IX.1981,1♀;9.VIII.1988,1♂;1.IX.1988,1♂1♀;7.IX.1988,
 1♂1♀;1.X.1988,1♂,高島昭¹⁰²: 同,12.IX.1992,1♂1♀,熊
 代直生^{*}: 同,21.X.1997,1♂,高島昭
 三日月町(下本郷,6.IX.1984,1♂,川副昭人^{*})
 村岡町(鉢北高原,19.VIII.2000,1♂,高島昭)
 養父市(大屋町横行溪谷,8.X.1999,-(目撃記録),高島昭: 米
 ノ山,-,-,-,遠山ほか³⁰: 同,1.X.1999,1♀,高島昭: 大久保,
 3.VIII.1961,1ex.,岡本清²⁰⁴: 鉢伏高原,15.VIII.1989,1♂,-
 ノ本明英^{*})

4. *Catocala dula* Bremer (4175)

オニベニシタバ

北海道から四国にかけてと九州では九重山から記
 録がある。大図鑑では西南日本では稀な種になると
 記述されている。幼虫はブナ科植物を食べる。県下
 ではそれほど稀な種でなく、むしろ平地から山地ま
 で広く分布している。燈火に飛来するほか平地から
 低山地の二次林では、クヌギ、アベマキなどの樹液
 に集まるのがよく観察される。出現時期は7月下旬
 から8月にかけてが発生の中心である。

【採集記録】

神戸市(谷上,28.VII.1933,1♀,東正雄¹³⁰: 摩耶山,30.VIII.
 1984,1♀,岡村八郎^{*}: 六甲山,14.VII.1985,1♀,岡村八郎
^{*})
 猪名川町(上阿古谷,20.VIII.1982,1♂;1.IX.1982,1♂,夏秋ほ

か²³: 同,25.VII.1984,1♂,八木剛^{*}: 下阿古谷,5.VII.1984,
 1♂;2.VIII.1984,1♀,岡村八郎^{*})

姫路市(景福寺山,21.VII.1964,1♂,相坂耕作)

大河内町(砥峰高原,27.VII.2002,1ex.,稲畑憲昭^{243*}: 同,27.
 VII.2002,1ex.,中濱春樹^{243*}: 同,6.VII.2002,1ex.,八木剛²⁴³
^{*})

波賀町(引原,19.IX.1981,1♀,相坂耕作: 同,5.VIII.1988,1♂,
 高島昭¹⁰²)

上郡町(岩木,31.VII.1994,3♂,相坂耕作: 黒石,22.VII.1981,
 1♂;20.VII.1985,2♂2♀,相坂耕作: 同,22.VII.1984,1♂,高
 島昭)

温泉町(扇ノ山,25.VIII.1984,1♀,谷田昌也⁹⁷)

養父市(大段ヶ平,1.VII.2000,1♂,高島昭: 鉢伏高原,5.VIII.
 1990,1♂;10.VIII.1990,1♀,永瀬幸一^{*})

柏原町(柏原,-.VII.1948,1♂,山本義丸^{*})

5. *Catocala nivea* Butler (4176) シロシタバ

北海道から九州にかけて分布する。ムラサキシタ
 バと並んでカトカラの仲間では最も大型の種である。
 幼虫はウワミズザクラを食べる。平地から山地まで
 垂直分布は広い。県下では淡路を除く各地で記録が
 あり、普通種と思われるがそれほど採集箇所は多く
 ない。灯火への誘引度は他の種よりも弱い可能性が
 あり、糖蜜採集の効果が高いかもしれない。

【採集記録】

神戸市(藍那,9.X.1986,1♀,中川俊夫^{*}: 谷上,10.VIII.1937,
 1♂,東正雄¹³⁰: 摩耶山,29.VII.1967,1♀,岡村八郎^{104*})
 宝塚市(武田尾,15.IX.1977,1♂,東正雄¹³⁰: 西谷西部,14.IX.
 1978,1♀,東正雄¹³⁰)
 波賀町(引原,12.VIII.1974,1♀,遊磨正秀⁵⁵: 同,13.IX.1983,
 1♂;8.VIII.1984,4♂,相坂耕作: 同,26.IX.1987,5exs.,高島



昭¹⁶⁾

温泉町(願ノ山,11.VIII.1984,1♂,谷田昌也⁶⁾)
 蘇武岳(7.VIII.1973,-,柴田正一⁶⁾)
 和田山町(久世田,15.X.1998,1ex.,柴田剛)
 養父市(大段ヶ平,21.VII.2000,1♂,高島昭)
 柏原町(柏原,29.VII.1939,1♀;10.VIII.1954,1♀,山本義丸*)
 宍垣町(神楽,14.VII.1952,1♀,山本義丸*)

6. *Catocala separans* Leech (4179)

フシキキシタバ 注目種

全国的にきわめて局地的な分布をする種で、これまでに青森、岩手、新潟、富山、福井、長野、埼玉、山梨、愛知、滋賀、兵庫の各県と対馬から記録がある。幼虫はクヌギ、アベマキを食べるという。食樹が一般的であるのに本種の分布が限られている理由はわかっていない。県下では長らく氷上郡での古い記録のみであったが、最近明石公園でも確認された。このような珍種が都市公園に生息していた事実は注目に値するとともに今後の分布調査のヒントになろう。詳しい調査が必要である。出現時期は6月下旬から7月と思われる。

【採集記録】

明石市(明石公園,11.VI.2001,1♂,柴田剛¹⁸⁾)
 氷上郡(鶴庄,25.VI.1950,1♂,山本義丸*)

7. *Catocala mirifica* Butler (4180)

カバフキシタバ

全国的にかなり局地的な分布を示し、栃木県大平町、伊豆大室山、木曾谷、福井県西部、近畿内陸部、兵庫、岡山、浜田市、香川などが産地として知られている。近辺では大阪府箕面市、池田市で記録がある。幼虫はカマツカを食べる。県下では比較的多くの記録があり、淡路を除く南部の低山地に分布している。県下でのカマツカの分布は平地のマツを混じる雑木林に多く見られるようで、本種の分布もやせた松林を中心に案外広いものと思われる。本種が珍しい種とされるのはこのような環境は蛾の調査があまり行われないうちかもしれない。出現時期は7月から8月にかけてである。兵庫県レッドデータブックのBランクに指定されている。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,16.VIII.1984,1♀;18.VIII.1984,1♀,岡村八郎¹⁰⁴⁾;同,9.VIII.1985,1♀,岡村八郎¹⁰⁴⁾)
 西宮市(角石町,27.VII.1982,1ex.,佐藤学⁷⁾)
 芦屋市(山芦屋町,13.VII.1985,1ex.,西陸広¹¹⁾)
 猪名川町(上阿古谷,19.VIII.1983,1♂,夏秋ほか⁶⁾)
 加西市(菅光寺,25.VIII.1988,1♀,相坂耕作)
 姫路市(西庄,12.VII.1979,1♀,前田清隆⁶⁾)
 大河内町(砥峰高原,10.VIII.2002,1ex.,勝又千寿代³⁰⁾)
 三日月町(下本郷,24.VII.1984,1♂,川副昭人¹⁰⁵⁾)

氷上町(黒井,21.VII.1955,1♂,竜見明⁶⁾)

8. *Catocala fulminea* Butler (4181)

ワモンキシタバ

北海道から四国にかけて分布し、幼虫はマメザクラ、ズミ、ウメなどバラ科植物につく。平地から低山地を主たる分布域としている。県下では全域で得られているが、それほど多い種ではなく個体数も少ないようである。また、氷ノ山でも記録があるが、高標高地でも発生しているのか、低地からの移動個体であるのか定かではない。発生時期の幅はかなり広く、6月から8月までだらだらと発生しているようであるが、6月中・下旬が採集適期と思われる。

【採集記録】

神戸市(大池,22.VIII.1938,1ex.,高橋寿郎²⁾;兵庫区里山町,9.VII.1961,1♂,松本健嗣⁶⁾)
 川西市(黒川,13.VII.1996,1♂,高島昭¹⁷⁾)
 宝塚市(西谷西部,24.VII.1978,1♂,東正雄¹³⁰⁾)
 黒田庄町(喜多,24.VI.1960,1ex.;5.VII.1961,1ex.;26.VI.1962,1ex.,岡本清¹⁰⁶⁾)
 豊岡市(正法寺,27.VI.1998,1♂,柴田剛)
 養父市(氷ノ山,-,-,-,山本義丸*)
 柏原町(柏原,19.VI.1955,1♂;23.VI.1955,1♂,山本義丸*)
 洲本市(安乎,5.VIII.1983,1ex.,堀田久¹⁷⁹⁾;鮎屋,18.VI.1969,-,坂口操²⁾;下加茂,14.VI.1968,1ex.,登日邦明⁷⁾;前平,14.VI.1968,1ex.,登日邦明⁷⁾)
 三原町(八木養宜,29.VI.1992,-,藤富正昭¹³¹⁾)

9. *Catocala columbina* Leech (4185)

ナマリキシタバ 注目種

局地的な分布をする種で、長野、東京、埼玉、富山、福井、岐阜、滋賀、岡山、広島、小豆島、徳島、熊本、大分の各都県で記録がある。幼虫の食樹はイワシモツケ、アイズシモツケである。県下からは最近になって武田尾附近の武庫川渓谷で発見された。また、西播磨南部地域でも採集されているという噂を聞く。本種の食樹は岩場を好んで自生しているため、そのような環境で調査すれば生息地はもっと確認できるものと思われる。発生時期は7月である。

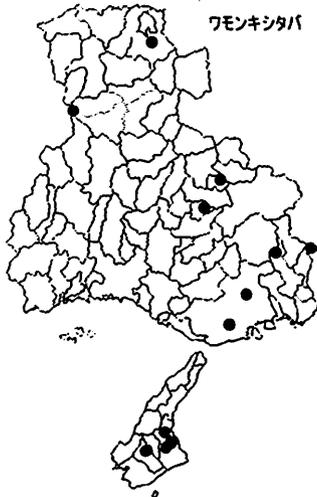
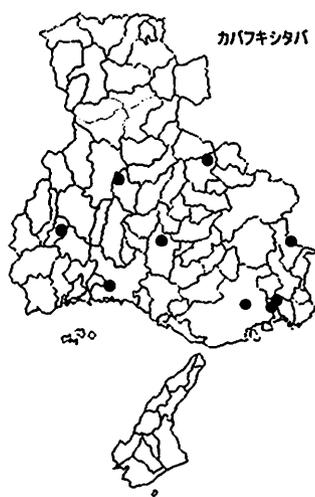
【採集記録】

宝塚市(武田尾,13.VII.1991,1♂,東正雄¹³⁰⁾)

10. *Catocala duplicata* Butler (4186)

マメキシタバ

北海道から本州にかけて分布する。四国では香川県、小豆島、九州では九重山で記録がある。幼虫はクヌギ、ミズナラ、アラカシなどブナ科食物を食べる。雑木林に広く分布し、平地の二次林では最普通種とされている。県下では記録はそれほど多くなく、南部平坦地でのみ報告されているが、クヌギ、アベ



マキを主体とした里山周辺には広く分布していると思われる。出現時期は7月から9月と幅広いが、7月下旬から8月前半が中心と思われる。灯火にも飛来するが樹液によく集まり、糖蜜採集が有効と思われる。

【採集記録】

神戸市(藍那,17.IX.1985,1♂;6.VII.1987,1♂,中川俊夫*: 摩耶山,16.VIII.1963,1♂,田中蕃¹²: 同,23.VIII.1984,1♂,岡村八郎*: 世継山,12.VIII.1992,1♂,岡村八郎*)

川西市(黒川,2.VIII.1997,1♂,高島昭¹⁷⁾)

猪名川町(上阿古谷,21.VII.1981,1♂3♀;12.VIII.1981,2♂1♀;25.VIII.1981,1♂2♀;20.VIII.1982,3♂;1.IX.1982,2♂1♀,夏秋ほか²³: 同,25.VII.1984,5♂,八木剛*: 下阿古谷,2.VIII.1984,1♂;5.VIII.1984,1♂,岡村八郎*)

上郡町(黒石,22.VII.1984,7♂,相坂耕作: 行頭,12.VII.1995,1♂,高島昭¹⁸⁾)

三日月町(下本郷,-.VII.1983,-.VIII.1983,-,川副昭人¹⁰²: 同,1.IX.1984,1♀;29.IX.1984,4♂,川副昭人*)

11. *Catocala dissimilis* Bremer (4187)

エゾシロシタバ

北海道から九州にかけて分布するが、西南日本では高地に限られる。幼虫の食樹はミズナラであるが、カシワを食べることもあるという。ブナ・ミズナラを中心とする温帯林に多く見られる。斑紋はかなり差異があるが形態的にはマメキシタバにごく近縁な種である。県下では西播北部から但馬にかけての標高800~1,000mの山地帯で優勢で、このようなところではごく普通で個体数も多い。播州高原、床尾山周辺、但馬・丹波の山地帯、能勢地方などミズナラが分布する山地帯では本種が見つかる可能性が高い。

【採集記録】

大河内町(砥峰高原,24.VIII.2002,1ex.,勝又千寿代¹⁰⁴⁾)

波賀町(坂の谷,17.IX.1998,1♂,高島昭)

温泉町(扇ノ山,11.VIII.1984,3♂,川副昭人¹⁰²: 同,18.VIII.1984,2♂1♀,川副昭人*)

村岡町(鉢北高原,19.VIII.2000,2♂,高島昭)

養父市(大屋町田淵山,5.VIII.1975,1♂,遊磨正秀⁷⁰: 大段ヶ平,4.VIII.2000,6♂,高島昭: 氷ノ山,16.VIII.1955,3♂,山本義丸*)

12. *Catocala actaea* Felder & Rogenhofer (4188)

コシロシタバ 注目種

食樹はクヌギ、アベマキが知られている。典型的な暖温帯の平地二次林の蛾で、雑木林の代表種として知られる。県下では神戸市、猪名川町、洲本市で記録があるだけで少ない種である。灯火にも飛来するが樹液によく集まるので糖蜜採集が有効と思われる。兵庫県レッドデータブックのCランクに指定されている。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,-,-,-,田中蕃¹¹: 諏訪山公園,-.IX.2002,-,山口福男¹⁰⁶⁾)

猪名川町(上阿古谷,12.VIII.1982,1♀;1.IX.1982,1♀,夏秋ほか²³⁾)

洲本市(安乎町北谷,13.VIII.1993,1♀,堀田久¹³²: 妙見山,4.VIII.1952,1ex.,堀田久¹³³⁾)

13. *Catocala nagioides* Wileman (4189)

ヒメシロシタバ 注目種

北海道、本州のほか九州では久住高原、鹿児島県栗野岳から記録がある。やや局地的な種でとくに西南日本ではまれな種となる。幼虫はカシワを食べる。兵庫県では波賀町での採集記録が唯一である。食樹の分布が局地的なので本種の分布もカシワを産する山地草原に限られる。播州高原、氷ノ山周辺、鉢伏山周辺、北但山地などで発見されるかもしれない。8月に出現する。

【採集記録】

波賀町(引原,8.VIII.1983,1♂,相坂耕作⁸⁵⁾)

14. *Catocala streckeri* Staudinger (4190)

アサマキシタバ

北海道から岡山、四国瀬戸内海側に分布する。幼虫はミズナラ、コナラ、アラカシなどを食べる。本州、四国瀬戸内海側、九州北部に分布している。中間帯の二次林に優勢な種である。県下では南部の平地から低山地に分布し、記録地は少ないが広く分布するものと思われる。発生地での個体数も多い。発生時期はカトカラのなかで最も早く、5月下旬には成虫が現れ6月後半には姿を消す。兵庫県レッドデータブックのCランクに指定されている。

【採集記録】

神戸市(藍那,28.V.1983,2♂,松本健嗣¹¹: 同,24.V.1985,1♀,中川俊夫*: 原野,30.V.1964,-,松本健嗣¹¹: 世継山,6.VI.1992,1♀;11.VI.1992,1♀,岡村八郎*: 諏訪山公園,-.V.2002,-,山口福男¹⁰⁶⁾)

猪名川町(上阿古谷,10.VI.1983,2♂2♀,夏秋ほか⁸²: 同,9.VI.1984,1♂1♀,竹中進⁸³⁾)

姫路市(松山,25.V.2001,1♂(目撃),高島昭)

相生市(瓜生,29.V.1997,5♂1♀,高島昭¹⁷⁸: 三濃山,30.V.2000,2♂1♀,高島昭)

上郡町(行頭,2.VI.1995,1♂,高島昭¹⁷⁵⁾)

三日月町(下本郷,5.VI.1984,6♂,川副昭人*)

南淡町(阿万東町,29.V.2000,-;27.V.2001,-,藤平明¹⁰⁵⁾)

15. *Catocala nubila* Butler (4191)

ゴマンオキシタバ

北海道南部から九州にかけて分布するが、西南日本では高地に限られる。食樹はブナであるため、県

下での産出は当然ブナに依存する。西播北部から但馬にかけての山地帯と氷上郡で記録されており、同じブナ食のヨシノキシタバよりも分布域は広いものと思われる。なお、神戸市で記録されているが、当地にはブナが分布しておらず、ブナが自生している六甲山頂からはかなり距離がある。本種は生息地を離れてかなりの距離を移動する性質があるのかもしれない。

【採集記録】

神戸市(六甲山,26.VII.2001,1ex.,MT,八木ほか^{238*}:山田町原野,5.VIII.1973,1♀,松本健嗣¹¹⁾)
 波賀町(坂の谷,17.IX.1998,3♂,高島昭:引原,23.VIII.1980,1♂;20.VIII.1983,1♀;24.VIII.1985,1♀;7.VII.1988,1♂,相坂耕作:同,26.IX.1987,1♀;7.X.1988,1♀,高島昭¹⁴⁾)
 温泉町(扇ノ山,11.VIII.1984,1♀;25.VIII.1984,2♂,谷田昌也⁷⁾)
 養父市(氷ノ山,16.VIII.1955,1♂1♀,山本義丸*)
 氷上郡(---,山本義丸*)

16. *Catocala connexa* Butler (4192)

ヨシノキシタバ

日本特産種で北海道南地方,本州,四国,九州に分布する。♂と♀で前翅の斑紋に違いが見られる。ゴマシオキシタバと同様ブナを食べる種であるが、一般に前種より分布域は狭い。県下では氷ノ山周辺の山地帯で得られているが個体数は少ない。8月に出現し、9月にも見られる。兵庫県レッドデータブックのCランクに指定されている。

【採集記録】

波賀町(坂の谷,26.VIII.1988,1♀,高島昭¹⁴⁾:同,10.IX.1998,1♀,高島昭:引原,8.VIII.1983,1♂,相坂耕作)
 養父市(氷ノ山,16.VIII.1955,1♂,山本義丸*)

17. *Catocala hyperconnexa* Sugi (4193)

アミメキシタバ

太平洋側では関東南部以南,日本海側では富山県以西の本州および四国,九州に分布する。常緑カシ林に生息するカトカラの一種でウスイロキシタバより上部に棲むという。幼虫はアラカシ,クヌギを食べることが知られている。やや局地的な分布傾向を示す。県下では平地から低山地にかけて各地で記録がある。7月後半から出現し8月いっぱいまで見られる。

【採集記録】

神戸市(六甲山,28.VIII.2001,1ex.,MT,八木ほか^{238*}:摩耶山,20.VII.1963,1♀,田中養¹²⁾:同,18.VIII.1984,1♂;20.VIII.1984,1♂;23.VIII.1984,1♂2♀;25.VIII.1984,1♂;30.VIII.1984,1♂,岡村八郎*)
 猪名川町(上阿古谷,12.VIII.1982,1♀,夏秋優¹¹⁾)
 宝塚市(南口2丁目,15.IX.1984,-,新家勝⁹²⁾:武庫川町,20.IX.

1984,-,新家勝⁹²⁾)

波賀町(引原,27.VII.1980,1♂;8.VIII.1981,1♂;12.VIII.1984,1♀,相坂耕作)
 上郡町(黒石,22.VII.1984,2♂,相坂耕作)
 三日月町(下本郷,-,VIII.1983,-,VII.1984,-,川副昭人¹⁰²⁾:同,29.IX.1984,4♂6♀,川副昭人*)
 豊岡市(正法寺,25.VIII.1998,1♂,柴田剛¹⁷⁾)
 南淡町(阿万上町,7.VIII.1962,-,藤平明⁴¹⁾:灘黒岩,23.VII.1997,-;18.VII.1998,-;28.VIII.1998,-,藤平明¹⁰⁷⁾)

18. *Catocala intacta* Leech (4194)

ウスイロキシタバ

福井以西の本州,四国,九州,対馬に分布し静岡県や下伊那地方からも得られている。常緑カシ帯のカトカラで幼虫はアラカシを食べる。出現時期は比較的早く、アサマキシタバが姿を消す6月中旬頃から発生し、7月前半頃まで見られる。県下では南部の平坦地に分布するが確認されている地点は少ないが、アラカシを主体とした寺社林等では小規模であっても生息している可能性がある。

【採集記録】

神戸市(藍那,28.VI.1984,1♂;12.VII.1984,1♀,松本健嗣⁹⁰⁾:布引,10.VII.1965,1♂,-,原野,1.VII.1964,1♂1♀,松本健嗣⁹⁰⁾:-,4.VI.1966,1♀(飼育),山本義丸*)
 相生市(瓜生,17.VI.1989,1♂;23.VI.1989,1♂;30.VI.1989,2♂,高島昭¹⁵⁾)
 上月町(本郷,7.VII.1984,1♂,相坂耕作)
 三日月町(下本郷,27.VI.1984,18exs.-,VII.1984,-,川副昭人¹⁰²⁾:同,28.VI.1984,8♂3♀,川副昭人*)

19. *Catocala kuangtungensis* Mell (4196)

クロシオキシタバ

後翅に黄帯のあるカトカラの中ではキシタバと並んで最も大型の種である。伊豆半島を北限として本州の太平洋側,瀬戸内海沿岸,四国,九州,屋久島に分布する。ウバメガシに固有である。県下では南部の沿岸部および淡路島に分布し、一部猪名川町のような内陸部にも記録がある。尼崎市の例は植栽されたウバメガシに発生したものと思われる。淡路島,家島,西播の沿岸部にはウバメガシが多く、このようなところではきわめて普通に見られる。

【採集記録】

神戸市(藍那,12.IX.1989,1♀,中川俊夫*:鉄拐山,31.VII.1982,1♂,河森*)
 尼崎市(塚口,5.VIII.1983,1♀,夏秋優¹¹⁾)
 猪名川町(上阿古谷,19.VIII.1983,1♂,夏秋優²⁵⁾)
 家島町(男鹿島,23.VII.1967,-,24.VII.1981,2exs.,松本健嗣⁹⁴⁾)
 赤穂市(福浦,5.VII.1995,1♂,高島昭¹⁴⁾)
 北淡町(常陸寺山,31.VII.1967,-,登日邦明¹⁹⁾:同,5.VIII.1972,2♂1♀,登日邦明³⁷⁾)



津名町(大町畑,31.VII.1972,1♂,登日邦明³⁷)
 洲本市(安乎,11.VIII.1976,1ex.;12.IX.1976,1ex.,堀田久⁴⁶:先山,12.VIII.1967,2exs.,堀田久⁴⁷:中津川,11.VIII.1972,4♂;15.VIII.1972,1♂,登日邦明³⁷)
 西淡町(五十里,10.VIII.1990,1♂,大草伸治*)
 南淡町(阿万上町,7.VIII.1962,-,藤平明¹⁹⁷:筒井,15.VII.1993,-;12.VIII.1993,-,藤平明¹⁹⁷:灘大川,18.VIII.1991,-;17.VIII.1992,-,藤平明¹⁹⁷:灘黒岩,18.VII.1998,-,藤平明¹⁹⁷:福良向谷,18.VIII.1996,-,藤平明¹⁹⁷)

20. *Catocala patala* Felder & Rogenhofer (4197)
 キシタバ

本州, 四国, 九州, 対馬に産する。日本産キシタバ類中最も大型の種である。幼虫はフジを食べる。県下では各地で記録があり, 最も普通に見られるカトカラである。7月から発生し9月まで見られる。

[採集記録]

神戸市(藍那,5.VIII.1987,1♂,中川俊夫*: 阪防山公園,-,VII.1999,-,山口福男²⁰¹: 摩耶山,-,-,-,-,田中蓉²¹: 同,2.VIII.1969,1♀;15.VIII.1985,1♂,岡村八郎*)
 川西市(黒川,2.VIII.1997,1♂,高島昭¹⁷¹: 平野,20.VII.1992,1♂,東良雄¹⁵⁰)
 猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,3♂;21.VII.1982,3♂;20.VIII.1982,4♂1♀;1.IX.1982,1♀,夏秋ほか⁷³: 下阿古谷,2.VIII.1984,1♂,岡村八郎*)
 宝塚市(光明町,25.VII.1988,-,新家勝¹³⁰: 南口2丁目,12.VII.1982,-,新家勝⁶⁴)
 黒田庄町(喜多,12.VII.1960,1ex.,岡本清¹⁶⁵)
 大河内町(砥峰高原,24.VIII.2002,1ex.,稲畑憲昭²⁴³*: 同,10.VIII.2002,3exs.,勝又千寿代²⁴³*: 同,10.VIII.2002,1ex.,八木剛²⁴³*)
 新宮町(-,-,-,-,-,相坂耕作²⁰⁰)
 波賀町(坂の谷,12.VIII.1998,1♂,高島昭: 引原,5.VIII.1978,1♀,遊磨正秀⁵⁵: 同,22.VIII.1980,1♂;8.VIII.1981,2♂;8.VIII.1983,1♀,相坂耕作: 同,25.VIII.1987,2♂;5.IX.1987,3exs.,5.VIII.1988,1♂;20.VIII.1988,1♂;7.X.1988,1♀,高島昭¹⁶³)
 相生市(瓜生,17.VI.1989,1♂;23.VI.1989,1♂;30.VI.1989,2♂,高島昭¹⁵²)
 三日月町(下本郷,-,IX.-,-,川副昭人¹⁰²)
 豊岡市(正法寺,8.IX.1997,1♂,柴田剛)
 竹野町(森本,20.VIII.1998,1♂,柴田剛)
 村岡町(鉢北高原,19.VIII.2000,1♂,高島昭)
 養父市(大壘町横行,3.VIII.1980,1♂,相坂耕作: 横行溪谷,3.IX.1999,1♂,高島昭: 鉢伏高原,15.VIII.1989,1♂,一ノ本明英*: 氷ノ山,16.VIII.1955,1♂,山本義丸*: 同,1.X.1999,1♀,高島昭)
 柏原町(柏原,12.VIII.1941,1♀;22.VII.1952,1♂,山本義丸*)
 津名町(大町畑,9.VII.1967,1ex.,登日邦明³⁷)
 洲本市(鮎屋,9.VII.1969,-,坂口操²²: 先山,23.VII.1951,1ex.;

12.VIII.1976,1ex.,堀田久⁴⁷: 同,9.VII.1961,-,藤平明⁴¹: 中津川,3.VII.1972,2♂,登日邦明³⁷)
 南淡町(阿万上町,14.VIII.1972,1♂,登日邦明³⁷: 同,2.VII.1985,-,9.VII.1992,-,藤平明¹⁹⁷: 灘,25.VII.1971,-,藤平明⁴¹: 福良乙,3.VIII.1995,-,藤平明¹⁹⁷)

21. *Catocala praegnax* Walker (4198)

コガタキシタバ

北海道から九州, 対馬にかけて分布する。幼虫はハギ, コナラ属を食べることが知られている。県下では各地に普通に見られ, 平坦地から低山地が分布の中心である。出現時期は幅広く6月後半から発生し8月まで見られる。

[採集記録]

神戸市(藍那,2.VII.1985,1♂,中川俊夫*: 大池,22.VIII.1938,1ex.,高橋寿郎²: 阪防山公園,-,VII.1986,-,山口福男²⁰¹: 摩耶山,-,-,-,-,岡村八郎¹⁰⁴: 同,-,-,-,-,田中蓉²¹: 世継山,11.VII.1992,1♀,岡村八郎*)
 西宮市(-,7.VII.1969,1♀,阪口浩平*: 甲陽園,27.VI.1970,1♀;12.VII.1970,1♀,阪口浩平*)
 川西市(平野,1.VII.1992,1♂,東良雄¹⁵⁰)
 猪名川町(上阿古谷,21.VII.1981,1♂2♀;12.VIII.1981,1♂;25.VIII.1981,1♂,夏秋ほか⁷³: 同,25.VII.1984,8♂1♀,八木剛*: 下阿古谷,5.VII.1984,1♂1♀,岡村八郎*)
 宝塚市(西谷西部,6.VIII.1988,1♂,東正雄¹³⁰)
 黒田庄町(喜多,29.VII.1959,1ex.;11.VII.1960,1ex.;12.VII.1960,2exs.,岡本清¹⁶⁵)
 姫路市(広嶺山,-,-,1982,-,木村三郎⁶⁶)
 新宮町(-,-,-,-,-,相坂耕作²⁰⁰)
 上郡町(黒石,22.VII.1984,2♂2♀,相坂耕作: 行頭,21.VII.1995,1♂,高島昭¹⁵⁰)
 三日月町(下本郷,25.VII.1984,3♂,川副昭人*)
 養父市(氷ノ山,-,-,-,-,遠山ほか³⁵)
 柏原町(柏原,22.VII.1952,1♀;28.VI.1955,1♂,山本義丸*)
 津名町(大町畑,15.VI.1967,1ex.;23.VI.1967,1ex.;24.VI.1967,1ex.,登日邦明³⁷: 同,1.VII.1972,2♂1♀,登日邦明³⁷)
 洲本市(鮎屋,20.VI.1969,-;27.VI.1969,-,坂口操²²: 中津川,3.VII.1972,1♂,登日邦明³⁷)
 南淡町(阿万上町,12.VI.1960,-;11.VI.1961,-;20.VII.1995,-,藤平明¹⁹⁷: 同,10.VII.1972,1♂,登日邦明³⁷: 同,21.VII.1961,-;18.VI.1973,-,藤平明⁴¹: 福良向谷,6.VII.1996,-;5.VII.1997,-,藤平明¹⁹⁷)

22. *Catocala jonassii* Butler (4199)

シヨナスキシタバ

本州から九州にかけて分布する。幼虫はケヤキを食べるという。県下では山地性で西播北部から但馬にかけての山地に多いが, 姫路市, 三日月町などの低山地にも少ないながら分布を広げている。出現時期は幅広く7月はじめから見られるが, 生き残りの



個体は10月になっても見ることができる。

【採集記録】

姫路市(広嶺山,6.VII.1996,1♂,高島昭¹⁰⁵)

波賀町(坂の谷,10.IX.1998,1♂;17.IX.1998,1♂,高島昭:引原,13.IX.1980,1♂;11.IX.1981,1♂ 1♀;19.IX.1981,2♂;22.IX.1981,1♀;14.IX.1982,1♂,相坂耕作)

三日月町(下本郷,27.X.1984,1♀,川副昭人¹⁰⁶)

温泉町(扇ノ山,25.VIII.1984,1♂,川副昭人⁹⁷:同,25.VIII.1984,1♂,谷田昌也⁹⁷)

養父市(大段ヶ平,1.VII.2000,1♂ 1♀;21.VII.2000,1♂,高島昭:鉢伏高原,15.VIII.1989,2♂,一ノ本明英*:水ノ山,16.VIII.1955,1♂,山本義丸*:同,--,--,遠山ほか³⁵)

23. *Ophiusa tirhaca* (Cramer) (4202)

クロモンシタバ

本州から九州にかけてと御蔵島, 南西諸島で散発的に記録されている。南方からの飛来によるものと思われる。幼虫はヌルデを食べることが知られている。県下では神戸市で1例記録があるが, 偶産と思われる。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,10.IX.1967,1♀,岡村八郎^{244*})

24. *Ophiusa olista* (Swinhoe) (4205)

コヘリグロクチバ

関東南部以西の本州, 四国, 九州, 対馬に分布する。幼生期は日本ではわかっていないが常緑カシ類を食べているのではないと思われる。年2回の発生。県下では南部の低山地で散発的に記録されている。

【採集記録】

神戸市(有馬,16.VII.1961,--,森博¹⁰⁵:摩耶山,20.VIII.1967,1♂

;2.VIII.1969,1♂,岡村八郎^{*})

黒田庄町(喜多,2.VI.1959,1ex.;20.VII.1960,1ex.,岡本清¹⁰⁵)

波賀町(引原,8.VI.1974,1♂;22.VI.1974,1♂;29.VI.1974,1♂,遊磨正秀⁵⁵)

三日月町(下本郷,--,VII.1984,--,川副昭人¹⁰²)

南淡町(阿万上町,4.V.1983,--,藤平明⁹⁹:同,8.V.1986,--,藤平明¹⁰⁷)

25. *Achaea janata* (Linnaeus) (4209)

シラホシアシプトクチバ 注目種

本州から九州にかけての本土域と屋久島, 沖縄, 石垣, 西表から記録がある。少なくとも琉球では土着しているというが本土での状況は不明である。県下では猪名川町での採集例がある。

【採集記録】

猪名川町(上阿古谷,1.IX.1982,1♀,夏秋ほか⁷³)

26. *Dysgonia stuposa* (Fabricius) (4210)

アシプトクチバ

関東以西から九州にかけての本土域と対馬, 奄美, 琉球列島に分布する。本来の食樹は不明であるが, 市街地のザクロを食べることが知られている。年2回の発生。県下では全域で見られ, 平地から低山地にかけてが分布の中心である。また, 市街地での発生もしばしば見られる。

【採集記録】

神戸市(壺那,9.VI.1981,1♂,中川俊夫*:大池,22.VIII.1938,1ex.,高橋寿郎²:摩耶山,--,--,田中馨²¹)

尼崎市(南塚口町,30.V.1983,1♂,夏秋優²⁰⁵)

西宮市(--,18.VI.1969,1♀,阪口浩平*:上霞原町,13.X.1967,1♂,東正雄¹⁰⁵)

川西市(能勢口,5.VI.1932,1♀,東正雄¹⁰⁵)

猪名川町(上阿古谷,1.IX.1982,1♀,夏秋ほか⁷³)
 宝塚市(武田尾,13.VII.1991,2♀;15.VIII.1991,1♀;29.V.1992,
 1♂,東正雄¹³⁰:野上1丁目,24.V.1992,1♂,東正雄¹³⁰)
 高砂市(-,3.IX.1975,-,岡本清¹⁵⁶)
 姫路市(井ノ口,15.VI.1984,1♂,相坂耕作:南畝町,18.VII.
 1966,1♂,相坂耕作⁹⁹)
 上月町(久崎,11.VI.1967,1♀;18.VI.1967,1♂,岡村八郎*)
 豊岡市(正法寺,6.VII.1998,1♀;25.VIII.1998,1♂,柴田剛)
 柏原町(柏原,7.VI.1950,1♀;9.VI.1950,1♀,山本義丸*)
 南淡町(阿万上町,14.V.1961,-;9.VI.1961,-,藤平明⁴¹:同,28.V.
 1983,-,藤平明¹⁹⁷)

27. *Dysgonia mandshurica* (Staudinger) (4211)

タイクアシブトクチバ 注目種

全国的にも局地的な分布をする種で、兵庫県、岡山県の両県にのみ産地が知られる。幼虫はヒトツバハギを食べる。県下で記録されている西脇市、三日月町、豊岡市、氷上町はいずれも内陸部にあり、本種の分布傾向の特徴のように思われる。6月から9月に採集されており、年2回発生している可能性がある。

【採集記録】

西脇市(-,20.VII.1960,1ex.,岡本清²⁰⁴)
 三日月町(下本郷,6.IX.1983,1♂,川副昭人¹⁰³)
 豊岡市(正法寺,16.IX.1998,1♂,柴田剛¹⁷⁷:同,16.IX.1998,
 1ex.,柴田剛)
 氷上町(篠ヶ峰,7.IX.1967,1♀(飼育);6.IX.1967,1♂,山本義丸^{158*})

28. *Dysgonia arcuata* (Moore) (4212)

オキナワアシブトクチバ 注目種

紀伊半島、四国、九州南部、屋久島以南で記録されている。また、県下からは南淡町から記録されており、定着している可能性がある。県内ではおそらく淡路南部の特産であろう。

【採集記録】

南淡町(阿万上町,29.IV.1961,-;3.VII.1961,-,藤平明⁴¹:灘大川,20.IX.1995,-,藤平明¹⁹⁷)

29. *Dysgonia maturata* (Walker) (4214)

ムラサキアシブトクチバ

宮城以南の本州、四国、九州、屋久島に分布する。暖帯性の蛾で奄美以南からは得られていない。山地性である。県下では比較的記録が少ないが、南部の低山地に広く分布しているものと思われる。

【採集記録】

神戸市(有馬,16.VIII.1960,-,森博¹⁰⁵:摩耶山,-,-,-,-,田中登²¹
 :同,27.VIII.1967,1♂,岡村八郎*)
 波賀町(引原,22.VI.1974,1♀,遊磨正秀⁵⁵:同,26.IX.1987,1ex.
 ;7.IX.1988,1♂;7.X.1988,1♀,高島昭¹⁴⁵)

養父市(大屋町横行溪谷,13.VIII.1999,1♂,高島昭:鉢伏高原,10.VIII.1989,1♂,-ノ本明英*)
 柏原町(柏原,17.VIII.1953,1♀,山本義丸*)

30. *Dysgonia arctotaenia* (Guenée) (4215)

ホソオビアシブトクチバ

関東以西から九州にかけての本土域、及び屋久島以南の南西諸島に分布する。この仲間はいずれも南方系であるが、本種は比較的北方にまで分布域を広げている。食樹はバラ、ウバメガシ、トウゴマなどが記録されている。県下では南東部の平地に分布し、黒田庄町や氷上郡のような内陸部でも採集されている。西播地区、北但地区の沿岸部でも見つかると思われる。

【採集記録】

神戸市(諏訪山公園,-,VIII.1990,-,山口福男²⁰¹:摩耶山,-,-,-,-,田中登²¹:御影,10.VIII.1967,1♀,岡村八郎*)
 尼崎市(南塚口町,10.V.1982,1♂;21.V.1982,1♂;30.V.1984,1♂,夏秋優²⁰⁵)
 西宮市(-,12.X.1967,1♂;12.VIII.1969,1♀,阪口浩平*:上殿原町,20.X.1960,1♂,東正雄¹³⁰)
 宝塚市(英座2丁目,22.VIII.1978,-,新家勝¹³⁰:南口2丁目,6.VII.1981,-,新家勝⁷⁵)
 高砂市(-,19.IX.1964,1ex.;8.VIII.1970,1ex.;3.IX.1975,1ex.,岡本清¹⁵⁶)
 黒田庄町(喜多,24.V.1960,1ex.;8.VIII.1970,1ex.,岡本清¹⁵⁶)
 柏原町(柏原,29.VII.1939,1♂,山本義丸*)
 南淡町(阿万上町,2.VII.1961,-;28.IX.1968,-,藤平明⁴¹:同,20.VII.1995,-,藤平明¹⁹⁷:灘大川,18.VII.1991,-,藤平明¹⁹⁷)

31. *Dysgonia dulcis* (Butler) (4216)

ヒメアシブトクチバ

宮城以南から九州にかけての本土域と対馬に分布する。南方系の種が多い本属のなかでは比較的分布が温帯域に近く、南西諸島には分布していない。やや局地的で少ない種である。県下では散発的ながら全域から得られている。

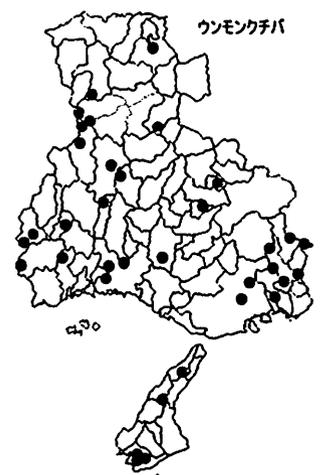
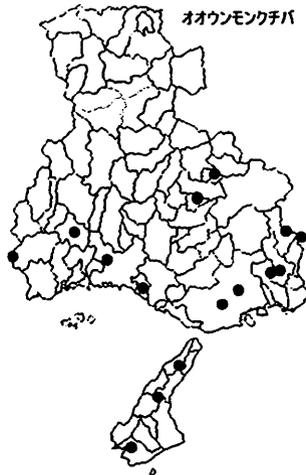
【採集記録】

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂,夏秋ほか⁷³)
 黒田庄町(喜多,1.VII.1959,1ex.;17.VI.1960,1ex.;25.VII.1960,1ex.;8.IX.1960,1ex.;25.VI.1962,1ex.,岡本清¹⁵⁶)
 三日月町(下本郷,-,VI.-,川副昭人¹⁰³)
 日高町(神鍋,19.VII.1976,1♂,山本義丸^{163*})
 柏原町(柏原,29.VII.1941,-,山本義丸^{6*})
 津名町(大町畑,9.V.1973,1♂,登日英樹²³)

32. *Mocis undata* (Fabricius) (4222)

オオウンモンクチバ

関東以西から九州にかけての本土域と伊豆諸島、南西諸島全域に分布する。クス、フジ、ヌスビトハ



ギが食草として知られている。県下では全域に分布し、平地に普通である。

〔採集記録〕

神戸市(藍那,31.V.1985,1♂;27.VII.1985,1♂;1.IX.1985,1♂;8.VI.1986,1♂;18.IX.1986,1♂;19.V.1988,1♂;15.VII.1988,1♂,中川俊夫* : 摩耶山,--,--,田中蕃²¹ : 同,27.VIII.1967,2♂;29.VIII.1967,1♂;15.IX.1967,1♂,岡村八郎*)
西宮市(-,23.VIII.1967,1♀;27.IX.1967,1♀,阪口浩平* : 生瀬,14.IX.1969,1♂,遊磨正秀³¹)
川西市(黒川,2.VIII.1997,1♂,高島昭¹⁷¹)
猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♀;1.IX.1982,1♂,夏秋ほか⁷³)
宝塚市(美座2丁目,23.VIII.1979,-,新家勝¹³⁰ : 武庫川町,9.X.1983,-,新家勝⁸⁵)
高砂市(-,21.VIII.1976,-,岡本清¹⁵⁵)
黒田庄町(喜多,15.VI.1960,1ex.;18.X.1961,1ex.,岡本清¹⁵⁵)
姫路市(太市,-,1991,-,丸谷ほか¹⁵⁵ : 同,31.V.1995,2♂,高島昭)
新宮町(-,--,相坂耕作²⁰⁰)
上郡町(行頭,7.IX.1995,1♂,高島昭¹⁵⁹)
柏原町(柏原,21.VIII.1949,1♂;19.VIII.1960,1♀(飼育),山本義丸*)
北淡町(常陸寺山,31.VII.1967,-,登日邦明¹⁵)
津名町(大町畑,28.IV.1973,1♂;29.IV.1973,1♀;18.V.1973,1♂,登日英樹²⁵)
南淡町(阿万上町,30.IV.1959,-;3.IX.1960,-,藤平明⁴¹ : 同,19.X.1984,-,藤平明¹⁹⁷)

33. *Mocis annetta* (Butler) (4223)

ウンモンクチバ

北海道から九州に至る本土域, 対馬, 屋久島に分布する。幼虫はハギ, フジ, ヌスビトハギ, ヤブマメ, ツルマメ, キツネササゲ, ダイズなどを食べる。県下では各地に普通で, 通常は前種より多産する。

〔採集記録〕

神戸市(摩耶山,--,--,田中蕃²¹ : 六甲山,6.VIII.1988,1♂,岡村八郎*)
西宮市(甲鵠園,1.VI.1969,1♀;17.V.1970,1♂,阪口浩平*)
川西市(黒川,18.V.1996,1♂;3.V.1997,1♂,高島昭¹⁷¹ : 能勢口,5.VI.1932,1♂,東正雄¹³⁰)
猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂1♀;21.VII.1982,1♂;12.VIII.1982,1♂,夏秋ほか⁷³)
宝塚市(武田尾,25.V.1992,1♂,東正雄¹³⁰ : 同,14.VII.1992,1♀,東たか¹³⁰ : 西谷西部,14.V.1977,1♂,東正雄¹³⁰ : 美座2丁目,28.VIII.1980,-,新家勝¹³⁰)
加西市(綱引町,1.VI.1996,1♀,重村太博*)
黒田庄町(喜多,21.V.1959,1ex.;1.VI.1960,1ex.,岡本清¹⁵⁵)
姫路市(太市,-,1991,-,丸谷ほか¹⁵⁵ : 京見山,17.VI.1994,1♂,吉田浩史* : 広嶺山,6.VII.1996,1♂,高島昭¹⁶⁰)
大河内町(砥峰高原,24.VIII.2002,1ex.,勝又千寿代^{243*})

安富町(大河溪谷,5.VI.1999,1♀,高島昭)
一宮町(福知溪谷,16.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁶⁹)
波賀町(坂の谷,12.VIII.1998,1♂,高島昭 : 引原,12.VIII.1987,2♀;18.VI.1988,1♀;26.VI.1988,1♀,高島昭¹⁶²)
相生市(瓜生,13.V.1989,2♂;17.VI.1989,1♂,高島昭¹⁵⁵ : 同,29.V.1997,1♀,高島昭)
上郡町(行頭,12.VII.1995,1♂,高島昭¹⁵⁹)
上月町(久崎,18.VI.1967,1♂,岡村八郎* : 西新宿,16.VIII.1997,2♂,高島昭)
三日月町(下本郷,-,VI.-,川副昭人¹⁰²)
豊岡市(正法寺,10.V.1998,1♂;12.VIII.1998,1♂,柴田剛)
村岡町(鉢北高原,19.VIII.2000,1♂,高島昭)
和田山町(久世田,7.V.1998,1♀,柴田剛)
養父市(大屋町横行溪谷,25.VI.1999,1♂,高島昭 : 氷ノ山,--,--,遠山ほか³⁵ : 同,23.VII.1954,1♂,山本義丸*)
柏原町(柏原,25.V.1954,1♂,山本義丸*)
北淡町(常陸寺山,31.VII.1967,-,登日邦明¹⁵)
津名町(大町畑,29.IV.1972,1♂,登日英樹²⁵ : 同,5.V.1972,2♂,登日邦明²⁵ : 同,4.V.1990,1♂,登日邦明*)
南淡町(阿万上町,7.VIII.1962,-;10.VI.1966,-,藤平明⁴¹ : 同,14.VIII.1972,1♂,登日邦明²⁵ : 筒井,9.VI.1993,-,藤平明¹⁹⁷ : 福良向谷,5.VI.1996,-,藤平明¹⁹⁷)

34. *Mocis ancilla* (Warren) (4224)

ニセウンモンクチバ

(東北から九州に至る本土域及び対馬, 三宅島に産する。幼虫はヌスビトハギを食べる。県下では各地から記録されている。

〔採集記録〕

神戸市(藍那,15.VI.1985,1♂;23.VI.1985,1♂,中川俊夫* : 摩耶山,--,--,田中蕃²¹)
猪名川町(上阿古谷,21.VII.1982,1♂,夏秋ほか⁷³)
黒田庄町(喜多,26.V.1959,1ex.;28.XII.1959,1ex.;17.V.1960,2ex.;20.V.1961,1ex.,岡本清¹⁵⁵)
姫路市(太市,28.VI.1995,1♂,高島昭 : 広嶺山,13.V.1982,1♂,相坂耕作)
大河内町(砥峰高原,6.VII.2002,1ex.;24.VIII.2002,1ex.,勝又千寿代^{243*})
相生市(瓜生,1.VI.1989,1♀,高島昭¹⁵²)
上郡町(行頭,2.VI.1995,1♂,高島昭¹⁵⁹)
三日月町(下本郷,-,VI.-,--,VII.1983,-,--,VIII.1983,-,--,V.1984,-,--)
和田山町(久世田,26.IV.1998,1♂,柴田剛)
柏原町(柏原,6.VIII.1957,1♂,山本義丸*)
北淡町(常陸寺山,5.VIII.1972,1♂1♀,登日邦明¹⁷)
津名町(大町畑,2.IX.1970,1♀,登日英樹²⁵ : 同,1984,-,川副昭人¹⁰²)
洲本市(三熊山,1.VII.1981,1ex.,西岡公明⁶¹)
南淡町(阿万,5.VI.1973,-,藤平明⁴¹ : 阿万上町,30.IV.1959,-,藤平明⁴¹ : 同,5.VI.1973,-,藤平明⁶⁹ : 同,5.V.1983,-,8.VIII.1985,-,藤平明¹⁹⁷)

35. *Melapia electaria* (Bremer) (4228)

ユミモンクチバ 注目種

北海道から九州にかけて分布するが局地的な種である。幼虫はイネ科を食べる。県下からは内陸部ないし山地帯で記録があるが、最近の報告はなく詳しい調査が必要と思われる。

【採集記録】

村岡町(澗川山,21.V.1967,1♂,山本義丸^{153*})
 養父市(鉢伏山,---,---,遠山ほか³⁶: 米ノ山,---,---,遠山ほか³⁶)
 柏原町(柏原,---,---,山本義丸¹⁵⁴)
 氷上町(糠ヶ峰,10.VIII.1949,1♀,山本義丸^{*})
 宍垣町(神楽,13.VIII.1953,1♀,山本義丸^{*})

36. *Melapia japonica* (Ogata) (4229)

クロスジユミモンクチバ 注目種

淡路島, 小豆島, 室戸岬, 足摺岬, 下関, 対馬, 男女諸島, 天草島, 延岡市, 佐多岬, 屋久島, 種子島, 奄美, 石垣島に記録がある。南方系の種で、兵庫県は分布の北限にあたる。県下では洲本市と南淡町で記録があり、土着しているのではないかと思われるが、近年の記録は見当たらない。詳しい調査が必要である。兵庫県レッドデータブックのCランクに指定されている。

【採集記録】

洲本市(中津川,2.VII.1972,1♂;3.VII.1972,1♂,登日邦明³⁷)
 南淡町(阿万上町,-IX.1960,-;17.VI.1961,-,藤平明⁴¹)

37. *Ercheia umbrosa* Butler (4233)

モンムラサキクチバ

モンキムラサキクチバともいう。北海道から九州にかけての本土域と対馬に産する。幼虫はフジ, ネムノキを食べる。県下では各地に普通に見られる。

【採集記録】

神戸市(笠野,2.VII.1985,1♂,中川俣夫^{*}: 摩耶山,---,---,田中誓²¹: 同,30.VIII.1967,1♂;29.IV.1968,1♀,岡村八郎^{*}: 六甲山,---.1933,-,堀江聡男²: 同,18.VIII.2001,1ex.,MT,八木ほか^{236*})
 川西市(黒川,13.VII.1996,1♂;3.V.1997,4♂1♀,高島昭¹⁷¹)
 猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,2♂1♀;21.VII.1982,1♀,夏秋ほか⁷³)
 宝塚市(南口2丁目,10.VII.1981,-,新家勝⁷⁶: 武庫川町,28.VI.1988,-,新家勝¹²⁹)
 黒田庄町(喜多,13.VII.1961,1ex.;18.VIII.1961,1ex.,岡本清¹⁶⁸)
 姫路市(広嶺山,6.VII.1996,2♂,高島昭¹⁶⁰)
 波賀町(坂の谷,24.VII.1998,1♂;12.VIII.1998,1♂,高島昭: 引原,27.VII.1973,1♂;12.VIII.1974,1♀;22.V.1976,1♂1♀;3.V.1978,1♀,遊磨正秀⁵⁵: 同,14.VIII.1979,2♂1♀;13.IX.1979,1♂,板坂耕作: 同,28.IV.1988,1♀;29.VII.1988,1♂;5.VIII.1988,1ex.,高島昭¹⁶²)

三室山(---,---,遠山ほか³⁶)

相生市(瓜生,13.V.1989,1♂,高島昭¹⁵²: 同,28.IV.1997,1♂;18.VII.1997,1♂,高島昭)

上郡町(船坂,8.IV.1998,1♂,高島昭: 行頭,27.IV.1995,1♂,高島昭¹⁵⁹)

三日月町(下本郷,-IV,-,-,-IX,-,-,-VII.1983,-,-VIII.1983,-,-V.1984,-,-VII.1984,-,-IX.1984,-,川副昭人¹⁰³)

豊岡市(三坂町,10.IX.1998,1ex.,柴田剛)

養父市(大屋町田淵山,5.VIII.1975,-(目撃記録),遊磨正秀⁷⁰: 大屋町横行溪谷,15.V.1999,2♂,高島昭: 米ノ山,---,---,遠山ほか³⁶: 大段ヶ平,4.VIII.2000,1♂,高島昭)

柏原町(柏原,20.VIII.1953,1♂;6.VI.1955,1♂,山本義丸^{*})

市島町(妙高山,27.VII.1953,2♀;28.VII.1954,1♂,山本義丸^{*})

北淡町(常陸寺山,19.VIII.1970,5♂3♀,登日邦明³⁷: 同,7.VII.1972,2♂,登日邦明³⁷)

津名町(大町畑,1.VII.1972,1♀,登日邦明³⁷)

南淡町(阿万上町,30.VI.1962,-;2.VII.1972,-,藤平明⁴¹: 同,6.IX.1994,-,藤平明¹⁹⁷: 賀集,25.IV.1994,-;19.VIII.1995,-,藤平明¹⁹⁷: 灘大川,31.VIII.1994,-,藤平明¹⁹⁷: 灘黒岩,1.IX.1997,-;29.VI.1998,-,藤平明¹⁹⁷)

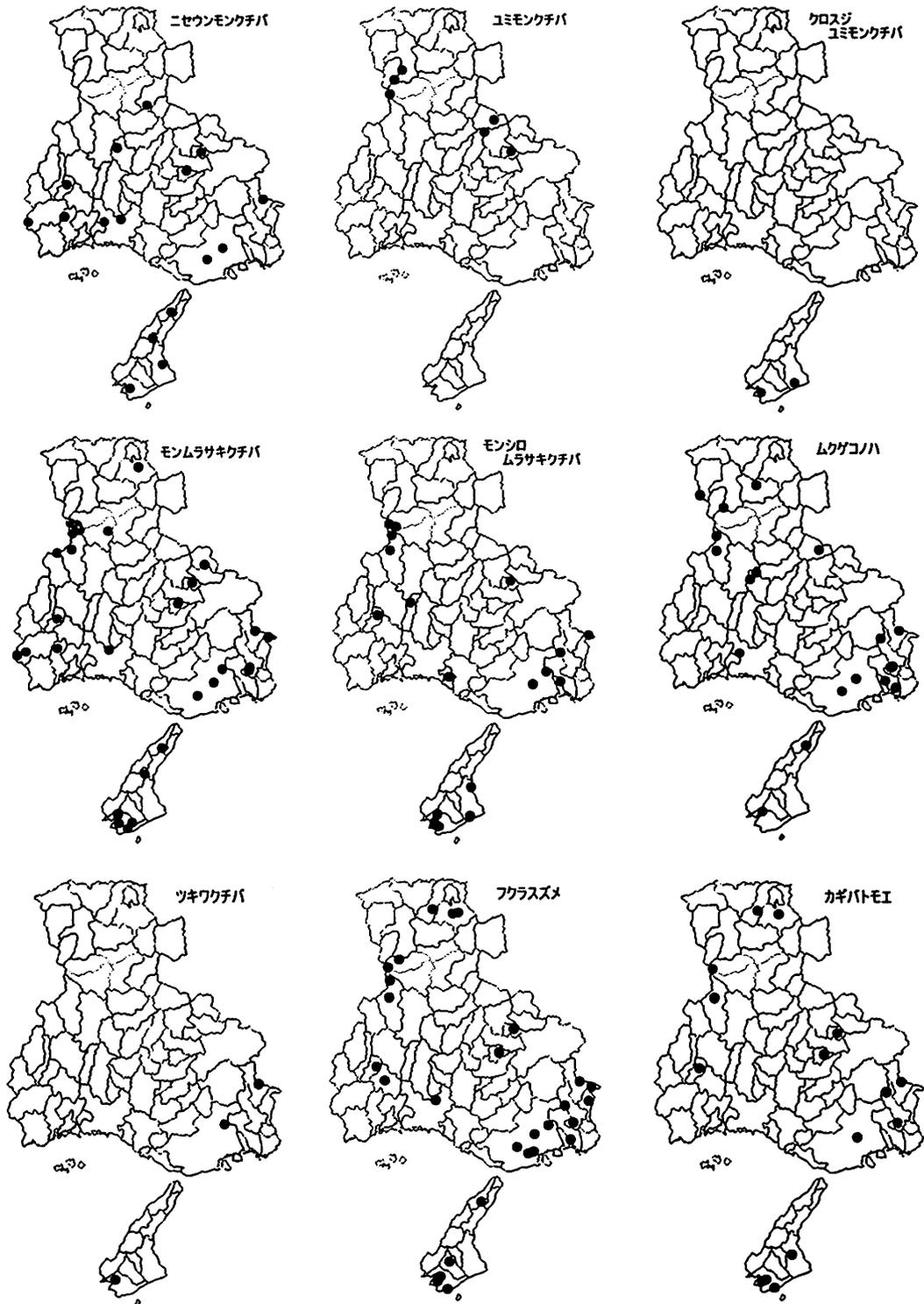
38. *Ercheia niveostrigata* Warren (4234)

モンシロムラサキクチバ

本州から九州にかけての本土域と対馬に分布する。幼虫はボタンヅルを食べる。県下では各地に普通に産する。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,---,---,田中誓²¹: 六甲山,25.IV.1985,1♂;1.VIII.1985,1♂,岡村八郎^{*})
 西宮市(甲陽園,23.VII.1970,1♂,阪口浩平^{*})
 川西市(黒川,3.V.1997,1♂,高島昭¹⁷⁰)
 宝塚市(武田尾,15.VIII.1991,1♀,東正雄¹³⁰)
 高砂市(-,-,-1970,1ex.,岡本清¹⁵⁶)
 安富町(大河溪谷,3.VII.1999,1♂,高島昭)
 波賀町(坂の谷,24.VII.1998,1♂,高島昭: 引原,13.VII.1974,1♂;22.IV.1977,1♀,遊磨正秀⁵⁵: 同,12.VIII.1987,1ex.;16.VII.1988,1♀;5.VIII.1988,2exs.,高島昭¹⁶²: 同,24.IV.1998,1♂,高島昭)
 三日月町(下本郷,-IV,-,-,-VII.1983,-,-VIII.1983,-,-VII.1984,-,川副昭人¹⁰³)
 養父市(米ノ山,---,---,遠山ほか³⁶: 大段ヶ平,4.VIII.2000,1♂,高島昭)
 柏原町(柏原,25.VIII.1949,1♂,山本義丸^{*})
 洲本市(厚浜,15.IV.1975,-,藤原正昭¹³¹: 中津川,2.VII.1972,1♂;3.VII.1972,1♀;11.VIII.1972,1♂;15.VIII.1972,1♂,登日邦明³⁷)
 南淡町(阿万上町,2.VII.1961,-;14.IV.1968,-,藤平明⁴¹: 同,22.VIII.1986,-,藤平明¹⁹⁷: 賀集,19.IX.1995,-,藤平明¹⁹⁷: 筒井,3.VII.1993,-,藤平明¹⁹⁷)



39. *Lagoptera juno* (Dalman) (4239)

ムクゲコノハ

北海道から九州に至る本土域と対馬, 屋久島, 伊豆諸島, 南西諸島に分布する。幼虫はクヌギ, コナラ, オニグルミ, シリブカガシを食樹としている。

燈火に集まるほか, 樹液にもよく飛来する。県下では各地に普通に見られる。

[採集記録]

神戸市(藍那, 2.IX.1991, 1♂, 中川俊夫^{*}: 摩耶山, -, -, -, 田中蓉²¹: 同, 30.VIII.1984, 1♀, 岡村八郎^{*})

西宮市(甲子園, 17.IX.1970, 1♀, 東正雄¹³⁰: 甲陽園, 16.IX.1977, 1♂, 阪口浩平^{*})

猪名川町(上阿古谷, 21.VII.1982, 2♀; 20.VIII.1982, 1♂; 1.IX.1982, 1♂, 夏秋ほか⁷³)

宝塚市(西谷西部, 8.VI.1991, 1♂, 東正雄¹³⁰: 南口2丁目, 14.XI.1979, -, 新家勝⁶⁵: 武庫川町, 18.X.1988, -, 新家勝¹²³)

姫路市(太市, -, -, 1991, -, 丸谷ほか¹²²: 広嶺山, -, -, 1982, -, 木村三郎⁶⁵)

大河内町(長沢, 6.VI.2000, 1♂, 高島昭: 砥峰高原, 6.VII.2002, 1ex, 勝又千寿代^{230*})

波賀町(坂の谷, 10.IX.1998, 1♂, 高島昭: 引原, 20.VIII.1973, 1♂; IX.1979, 1♂, 相坂耕作: 同, 8.VI.1974, 1♀; 22.V.1976, 1♀, 遊磨正秀⁵⁵: 同, 18.VI.1988, 1♀; 2.VII.1988, 1♂, 高島昭¹⁴³)

日高町(神鍋山, -, VII.1976, 1♂, 山本義丸^{*})

温泉町(扇ノ山, 25.VIII.1984, 1♂, 谷田昌也⁹⁷: 同, 7.VII.1991, 2♂, 熊代直生^{*})

養父市(鉢伏高原, 10.IX.1989, 1♂, 一ノ本明英^{*})

青垣町(神楽, 30.VIII.1958, 1♀(飼育), 山本義丸^{*})

北淡町(常陸寺山, 7.VII.1972, 1♂, 登日邦明³⁷)

南淡町(賀集, 21.X.1995, -, 藤平明¹⁹⁷)

40. *Artena dotata* (Fabricius) (4240)

ツキワクチバ 注目種

官城以南の本州, 四国, 九州, 対馬, 屋久島, 奄美, 沖縄で記録があるが, 少なくとも本土域での記録は南方からの飛来によるものと思われる。暖帯林を生息地とし, 幼虫はマテバシイ属を食べる。県下では神戸市, 猪名川町, 南淡町で記録がある。

[採集記録]

神戸市(有馬, 22.VIII.1960, -, 森博¹⁰⁵)

猪名川町(上阿古谷, 19.VIII.1983, 1♀, 夏秋ほか⁷³)

南淡町(福良甲, 3.VIII.1995, -, 藤平明¹⁹⁵)

41. *Arcte coerulea* (Guenée) (4241)

フクラスズメ

北海道から九州に至る本土域と対馬, 屋久島, 徳之島に分布する。幼虫はコアカソ, カラムシ, ヤブマオ, ラセイタソウを食べる。燈火に飛来するほか樹液によく集まり, 成虫で越冬する。気温が高い日

は冬季にも活動する。県下では各地に普通に見られる。

[採集記録]

神戸市(六甲山, 5.VIII.2001, 1ex, 勝又千寿代^{230*}: 藍那, 3.XII.

1984, 1♂, 中川俊夫^{*}: 諏訪山公園, -, 2.1986, -, 山口祐男²⁰¹

: 中央区下山手, 13.VII.1995, 1♂, 近藤伸一: 摩耶山, -, -, -, 田中蓉²¹: 同, 30.VIII.1984, 1♀, 岡村八郎^{*})

西宮市(中腹原町, 16.XI.1952, 1♂, 東正雄¹³⁰)

川西市(黒川, 13.IV.1996, 1♂, 高島昭¹⁷¹: 平野, 5.VII.1992, 1♂, 東正雄¹³⁰)

猪名川町(上阿古谷, 25.VIII.1981, 1♀, 夏秋ほか⁷³)

宝塚市(武田尾, 20.XI.1988, 1♀; 20.X.1991, 1♀, 東正雄¹³⁰: 南口2丁目, 21.X.1979, -, 新家勝⁶⁵)

黒田庄町(喜多, 8.I.1960, 1ex; 29.XI.1961, 1ex, 岡本清¹⁶⁵)

姫路市(そうめん滝, 5.XI.1999, 1♂, 高島昭)

新宮町(-, -, -, -, 相坂耕作²⁰³)

波賀町(坂の谷, 26.VI.1998, 1♂, 高島昭: 引原, 11.X.1975, 1♂; 6.XII.1975, 1♀, 遊磨正秀⁵⁵: 同, 26.IX.1987, 1ex; 18.IV.1988, 1♀, 高島昭¹⁴³)

三日月町(下本郷, -, X.1984, -, 川副昭人¹⁰²)

豊岡市(正法寺, 23.VIII.1998, 1♂; 23.IX.1998, 1ex, 柴田剛: 山本, 8.IV.1973, -, 山根政之⁶²)

竹野町(森本, 2.X.1998, 1ex, 柴田剛)

養父市(氷ノ山, 2.X.1999, 1ex, 柴田剛: 同, -, -, -, 遠山ほか²⁶: 鉢伏高原, 15.IX.1990, 1♂, 一ノ本明英^{*})

柏原町(柏原, 25.X.1952, 1♂, 山本義丸^{*})

北淡町(常陸寺山, 19.VIII.1970, 1♂, 登日邦明³⁷)

三原町(八木養宜, 13.IX.1990, -, 藤富正昭¹³¹)

南淡町(阿万上町, 18.XII.1958, -, 5.I.1972, 1ex, 藤平明⁴¹: 同, 5.VI.1972, -, 藤平明⁹⁹: 灘大川, 31.VIII.1994, -, 12.I.1995, -, 9.IV.1996, -, 藤平明¹⁹⁷: 福良向谷, 18.VIII.1996, -, 5.VII.1997, -, 藤平明¹⁹⁷)

42. *Hypopyra vespertilio* (Fabricius) (4243)

カギバトモ工

本州から九州にかけての本土域と対馬に産する。幼虫はネムノキを食べる。やや個体数は少ないが, 県下では各地に広く産する。

[採集記録]

神戸市(摩耶山, -, -, -, 田中蓉²¹: 同, 20.VIII.1967, 1♀, 岡村八郎^{*})

猪名川町(上阿古谷, 21.VII.1982, 1♂, 夏秋ほか⁷³)

宝塚市(西谷西部, 3.IX.1988, 1♂, 東正雄¹³⁰: 南口2丁目, 23.VIII.1984, -, 新家勝⁶⁵: 同, 17.VI.1988, -, 新家勝¹²³)

黒田庄町(喜多, 1.X.1959, 1ex, 岡本清¹⁶⁵)

波賀町(引原, 12.VIII.1987, 1♂, 高島昭¹⁴³)

三日月町(下本郷, -, VII.1983, -, VI.1984, -, 川副昭人¹⁰²)

豊岡市(正法寺, 14.VI.1998, 1♂, 柴田剛)

竹野町(森本, 15.IX.1998, 1ex, 柴田剛)

養父市(氷ノ山, -, -, -, 遠山ほか²⁶: 同, -, -, 1955, -, 遠山ほか²⁶)

柏原町(柏原,1.VIII.1953,1♂;22.VIII.1953,1♂;30.VI.1954,1♂,山本義丸*)
 洲本市(鮎屋,13.VI.1969,-,坂口操²²)
 南淡町(阿万上町,27.VI.1959,-;3.VII.1961,-,藤平明⁴¹:大日川,31.V.1970,-,坂口操²²:灘大川,31.VIII.1994,-,藤平明¹⁹⁷)

43. *Spirama retorta* (Clerck) (4244)

オスグロトモエ

アカイロトモエ, トモエガという別名がある。東北北部から九州にかけての本土域と対馬, 伊豆新島で記録がある。幼虫はネムノキを食べる。県下では各地に普通に見られ, 燈火によく飛来する。

【採集記録】

神戸市(藍那,22.VI.1985,1♂;22.V.1992,1♀,中川俊夫*:大池,22.VIII.1938,2exs.,高橋寿郎²:摩耶山,-,-,-,田中蕃²¹:同,30.VII.1967,1♀,岡村八郎*:御影,2.VIII.1967,1♂,岡村八郎*)
 川西市(黒川,10.VIII.1996,1♂,高島昭¹⁷¹)
 猪名川町(上阿古谷,12.VIII.1982,1♀;20.VIII.1982,1♀,夏秋ほか⁷³)
 宝塚市(武田尾,15.VIII.1991,1♀;22.V.1992,1♂,東正雄¹³⁰:西谷西部,13.VI.1978,1♂;18.VI.1988,1♂;6.VIII.1988,1♀,東正雄¹³⁰:宝梅1丁目,19.VI.1976,1♀,東正雄¹³⁰:武庫川町,20.VIII.1980,-,新家勝⁶⁶)
 三田市(香下,1.IX.1992,1♂,東正雄¹³⁰)
 西脇市(-,26.V.1959,1ex.,岡本清²⁰⁴)
 姫路市(西庄,13.V.1982,1♂,相坂耕作:広嶺山,-,-,1982,-,木村三郎⁶⁶)
 大河内町(延峰高原,10.VIII.2002,1ex.,八木剛^{243*}:同,24.VIII.2002,1ex.,勝又千寿代^{243*})
 安富町(大河溪谷,19.VI.1999,1♀,高島昭)
 波賀町(引原,4.VII.1973,1♀;1.VI.1974,1♂;27.IX.1974,-(目撃記録),遊磨正秀⁵⁵:同,12.VIII.1987,1♂;7.VI.1988,1♂,高島昭¹⁴²:同,12.IX.1992,2♂,熊代直生*)
 三室山(-,-,-,遠山ほか³⁰)
 佐用町(-,28.V.1967,1♀,相坂耕作:-,2.IX.1995,1♂,二井清友*)
 上月町(久崎,-,VII.1970,-,相坂耕作)
 三日月町(下本郷,-,VI.-,-,VII.1983,-,-,VIII.1983,-,-,V.1984,-,-,VII.1984,-,川副昭人¹⁰²)
 豊岡市(幸町,28.VIII.1989,1ex.,近藤伸一:正法寺,26.VII.1998,1♂,柴田剛:山本,31.V.1973,-;3.VI.1973,-,山根政之⁴³)
 養父市(氷ノ山,-,-,-,遠山ほか³⁰:同,-,-,1955,-,山本義丸⁷)
 柏原町(柏原,1.VIII.1953,1♂;25.V.1954,1♂;3.VII.1954,1♂;10.VIII.1954,1♀;9.VII.1963,1♂(飼育);9.VII.1963,2♀(飼育),山本義丸*)
 市島町(妙高山,20.VI.1955,1♂,山本義丸*)
 北淡町(常陸寺山,31.VII.1967,-,登日邦明¹⁵)
 津名町(大町畑,3.V.1972,1♂,登日邦明¹⁵)

洲本市(鮎屋,25.V.1969,-,坂口操²²:先山,12.VIII.1967,1♂1♀,堀田久⁴)
 南淡町(阿万上町,30.V.1959,-;12.VIII.1960,-,藤平明⁴¹:同,3.VI.1961,-;24.V.1995,-,藤平明¹⁹⁷:沼島,19.VIII.1969,-,坂口操²²:福良乙,1.VI.1996,-,藤平明¹⁹⁷:福良向谷,5.VI.1996,-,藤平明¹⁹⁷)

44. *Spirama helicina* (Hübner) (4245)

ハグルマトモエ

東北北部から九州にかけての本土域と対馬, 伊豆新島で記録がある。幼虫はネムノキを食べる。県下では各地に普通に産する。

【採集記録】

神戸市(藍那,20.VII.1985,1♀;15.VII.1987,1♂;18.VI.1988,1♂;9.VI.1989,1♀,中川俊夫*:東六甲,8.VIII.1931,1♀,東正雄¹³⁰:摩耶山,-,-,-,岡村八郎¹⁰⁴:同,-,-,-,田中蕃²¹:山の街,23.VII.1967,1♂,相坂耕作)
 西宮市(-,6.IX.1952,1♂,坂口浩平*)
 川西市(黒川,10.VIII.1996,1♀;2.VIII.1997,1♀,高島昭¹⁷¹:能勢口,5.VI.1932,1♂,東正雄¹³⁰)
 猪名川町(上阿古谷,12.VIII.1982,1♀,夏秋ほか⁷³)
 宝塚市(西谷西部,10.VI.1980,1♂;29.VI.1991,1♂,東正雄¹³⁰)
 小野市(桜台,12.VI.1996,1♂,重村太博*)
 西脇市(-,2.VI.1959,-,岡本清²⁰⁴)
 波賀町(引原,14.VII.1973,1♂;14.VIII.1979,1♀,相坂耕作:同,27.IX.1974,-(目撃記録),遊磨正秀⁵⁵:同,11.VIII.1987,3♀,高島昭¹⁴²)
 上月町(久崎,11.VI.1967,1♀,岡村八郎*:西新宿,16.VIII.1997,1♀,高島昭)
 豊岡市(正法寺,29.VIII.1989,1♀,近藤伸一:山本,25.VII.1973,-,山根政之⁴³)
 養父市(大屋町天滝口,16.VIII.1976,1♂,相坂耕作:氷ノ山,-,-,-,遠山ほか³⁰:鉢伏高原,15.VIII.1990,1♂,永瀬幸一*)
 柏原町(柏原,10.VII.1955,1♂;5.VIII.1959,1♀;18.V.1960,1♀,山本義丸*)
 津名町(大町畑,29.IV.1972,1♀,登日英樹¹⁵:同,5.V.1972,1♂,登日邦明¹⁵)
 南淡町(阿万上町,7.IX.1958,-;12.VIII.1960,-;23.V.1971,-,藤平明¹⁹⁷:同,31.VIII.1972,-;18.VI.1973,-,藤平明⁴¹)

45. *Erebus ephesperis* (Hübner) (4247)

オオトモエ

関東南部以西の本土域と南西諸島に分布する。幼虫はサルトリイバラを食べる。県下では各地に普通に見られる。

【採集記録】

神戸市(藍那,14.VII.1985,1♀;25.VII.1985,1♀,中川俊夫*:大池,22.VIII.1938,1ex.,高橋寿郎²:諏訪山公園,-,VI.1997,-,山口福男²⁰¹:摩耶山,-,-,-,岡村八郎¹⁰⁴:同,30.VII.1967,1♀;6.VIII.1967,1♂,岡村八郎*:雌岡山,17.V.1970,1♂,相



ハグルマトモエ



オスグロトモエ



オトモエ



シロスジトモエ

和田山町(久世田,31.VIII.1989,1ex.,近藤伸一)
 養父市(大屋町田淵山,5.VIII.1975,-,遊磨正秀⁷⁰: 鉢伏高原,
 20.VIII.1990,1♀,永瀬幸一*)
 柏原町(柏原,17.VIII.1949,1♀,山本義丸*)
 洲本市(宇山,3.IX.1980,1ex.,林俊雅⁷³: 先山,12.VIII.1976,
 1ex.,堀田久⁶⁷: 同,15.V.1990,1♀,内藤親彦*: 中津川,7.
 VII.1972,1♂,登日邦明⁷⁷)
 西淡町(五十里,11.V.1990,1♂,大草伸治*)
 南淡町(阿万上町,-,VIII.1958,-,29.IV.1983,-,藤平明⁶⁹: 同,29.
 VIII.1959,-,20.VII.1995,-,藤平明¹⁹⁷: 筒井,12.VIII.1993,-,藤
 平明¹⁹⁷: 糠大川,14.VII.1994,-,藤平明¹⁹⁷)

46. *Metopta rectifasciata* (Ménétrières) (4248)

シロスジトモエ

北海道から九州にかけての本土域と対馬，屋久島に分布する。幼虫はサルトリイバラを食べる。県下では各地に普通に産する。

【採集記録】

神戸市(豊那,8.VII.1985,1♀;19.VII.1987,1♂,中川俊夫*: 六甲山,-,1933,-,堀江聡男¹)
 西宮市(生瀬,20.V.1971,1♂;11.V.1972,1♀,遊磨正秀³¹)
 川西市(黒川,13.VII.1996,1♂,高島昭¹⁷¹: 笹部,18.VI.1970,1♂,阪口浩平*)
 猪名川町(上阿古谷,21.VII.1982,2♂;12.VIII.1982,1♂,夏秋ほか⁸³: 三草山,26.VII.1968,1♂,横山史郎*)
 宝塚市(中山桜台,7.VII.1988,-,新家勝¹³⁰: 西谷西部,18.VI.1988,1♂,東正雄¹³⁰)
 三田市(-,2.VI.1985,1♂,岡村八郎*)
 加西市(綱引町,1.VI.1996,1♂,重村太博*)
 八千代町(笠形山,26.V.1959,2exs.,岡本清²⁰⁴)
 姫路市(太市,-,1991,-,丸谷ほか¹³⁸: 同,8.IV.1995,1♂;17.V.1995,1♂,高島昭: 広嶺山,-,1982,-,木村三郎³⁶: 同,13.V.1982,1♂,相坂耕作: 山田町牧野,1.VIII.1965,2♂,相坂耕

坂耕作)

川西市(黒川,10.VIII.1996,1♂,高島昭¹⁷¹)
 猪名川町(上阿古谷,11.VII.1983,1♂,夏秋ほか⁸³)
 宝塚市(武田尾,16.VIII.1991,1♀,東正雄¹³⁰: 西谷西部,28.V.1977,1♀;17.VI.1989,1♀,東正雄¹³⁰)
 西脇市(-,20.V.1959,1ex.;19.VII.1961,1ex.,岡本清²⁰⁴)
 姫路市(太市,-,1991,-,丸谷ほか¹³⁸: 同,31.V.1995,1♀,高島昭: 香亨山,21.V.1967,1♂,相坂耕作: 広嶺山,-,1982,-,木村三郎³⁶: 山田町牧野,4.VIII.1968,1♂,相坂耕作)
 新宮町(-,---,相坂耕作²⁰⁰)
 波賀町(引原,11.VIII.1987,1♂2♀,高島昭)
 相生市(瓜生,26.VIII.1997,1ex.,高島昭¹⁷³)
 出石町(柳,20.VII.1975,-,大林誠⁶⁵)

作)

大河内町(長沢,6.VI.2000,1♂,高島昭)
 夢前町(玉田,17.VII.1994,1♀,重村太博*)
 安富町(大河溪谷,5.VI.1999,1♀,高島昭)
 波賀町(坂の谷,12.VI.1998,1♂,高島昭; 引原,12.VIII.1987,
 1♂1♀;28.IV.1988,1♂;26.V.1988,1♀,高島昭¹⁴⁾)
 相生市(瓜生,28.IV.1997,1♂,高島昭¹⁵⁾)
 上郡町(行頭,2.V.1995,1♂,高島昭¹⁶⁾)
 南光町(-,13.VIII.1995,1♂,二井清友*)
 三日月町(下本郷,-,VI.-,-,VII.1983,-,-,VIII.1983,-,-,V.1984,-,-,
 -,VII.1984,-,川副昭人¹²⁾)
 和田山町(久世田,19.VI.1989,1ex.,近藤伸一)
 養父市(大屋町田淵山,5.VIII.1975,-(目撃記録),遊磨正秀⁷⁾)
 柏原町(柏原,25.V.1954,1♂,山本鏡丸*)
 音垣町(神楽,30.V.1953,1♂,山本鏡丸*)
 洲本市(鮎屋,25.V.1969,-,坂口操²⁾: 先山,12.VIII.1967,1ex.,
 堀田久⁴⁾)
 南淡町(阿万,15.V.1969,-,坂口操²⁾: 阿万上町,14.V.1959,-,藤
 平明¹⁾: 同,6.V.1972,1♂,登日邦明³⁾: 同,25.IV.1983,-,藤
 平明⁹⁾: 同,25.IV.1995,-,藤平明¹⁷⁾: 賀集,3.V.1995,-,藤平
 明¹⁷⁾: 灘大川,15.IV.1995,-,藤平明¹⁷⁾)

<今後記録される可能性のある種>

1. *Catocala nupta* (Linnaeus) (4173)

エソベニシタバ

北海道から本州にかけて分布する。ドロノキ、ポ
 ブラを食べる。北海道では普通であるが、暖地では
 深山に限定され局地的で稀な種となる。西南限は判
 然としていない。県下からの記録は今のところない
 が、氷ノ山周辺では棲息している可能性がある。

2. *Catocala ella* Butler (4177) ミヤマキシタバ

北海道から福井以北の本州に分布する。最近、広
 島県でも記録されており、中国山地にも分布してい
 るものと思われる。局地的で少ない種とされている。
 幼虫はハンノキにつく。兵庫県下では現在のところ
 記録はないが、但馬の高原地帯では生息している可
 能性がある。

3. *Ophiusa coronata* (Fabricius) (4201)

キシタアシブトクチバ

愛知、和歌山、小豆島、福岡、小笠原、沖縄、奄
 美大島、屋久島、対馬などで記録があるが、南方か
 らの飛来もしくは一時的な発生による偶産種と思わ
 れる。幼虫はモモタマナを食べる。

4. *Ophiusa triphaenoides* (Walker) (4204)

ヘリグロクチバ

東海以西の本州から四国、九州、屋久島、奄美、
 徳之島、沖縄で記録されているが、土着北限は不明

である。県下からは今のところ記録がないが、今後
 採集される可能性はある。

5. *Euclidia dentata* Staudinger (4221)

ツメクサキシタバ

北海道、長野、群馬、伊吹山から記録があるが、
 最近箕面市からも記録されている。マメ科を食べる。
 最近シロツメクサ、クサフジが食草として利用され
 ることがわかった。

6. *Remigia frugalis* (Fabricius) (4226)

ウスオビクチバ

石川、四国南部、熊本、奄美以南で記録がある。
 幼虫はイネ科を食べる。

※ 平成16年4月1日に養父郡4町(養父町、八鹿町、
 大屋町、関宮町)が合併して「養父市」となったため、
 本文中の表記もそれにあわせて変更している。
 なお、新住居表示では、旧八鹿町域と旧大屋町域で
 それぞれ旧町名を字名に冠する。したがって、例え
 ば旧大屋町大屋市場は養父市大屋町大屋市場となる。
 旧養父町域、関宮町域は養父市の後にそのまま字名
 を統けて表記する。

分布図については、便宜を図るため旧町境を表示
 したまま掲載した。

(TAKASHIMA AKIRA 姫路市書写2542-2)

兵庫県におけるシタバガ亜科分布一覧表

2003.12.1 現在	神戸	阪神北摂	中東播南部	中東播北部	西播南部	西播北部	北但	南但	丹波	淡路北部	淡路南部	記録地数	備考
1. オオンシタバ						○						1	注目種
2. ムラサキシタバ				○		○		○				4	
3. ベニシタバ				○	○	○	○	○				9	
4. オニベニシタバ	○	○	○	○	○	○	○	○	○			14	
5. シロシタバ	○	○				○	○	○	○			12	
6. フシキキシタバ			○						○			2	注目種
7. カバフキシタバ	○	○	○	○	○				○			9	
8. ワモンキシタバ	○	○		○			○	○	○		○	13	
9. ナマリキシタバ		○										1	注目種
10. マメキシタバ	○	○			○							9	
11. エゾシロシタバ				○		○	○	○				7	
12. コシロシタバ	○	○									○	5	注目種
13. ヒメシロシタバ						○						1	注目種
14. アサマキシタバ	○	○	○		○						○	11	
15. ゴマシオキシタバ	○					○	○	○	○			7	
16. ヨシノキシタバ						○		○				3	
17. アミメキシタバ	○	○			○	○	○				○	11	
18. ウスイロキシタバ	○				○							6	
19. クロシオキシタバ	○	○			○						○	17	
20. キシタバ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	32	
21. コガタキシタバ	○	○	○	○	○			○	○	○	○	23	
22. ジョナスキシタバ			○		○	○	○	○				8	
23. クロモンシタバ	○											1	
24. コヘリグロクチバ	○			○	○	○					○	6	
25. シラホシアシブトクチバ		○										1	注目種
26. アシブトクチバ	○	○	○		○		○		○		○	16	
27. タイリクアシブトクチバ				○	○		○		○			4	注目種
28. オキナワアシブトクチバ											○	2	注目種
29. ムラサキアシブトクチバ	○					○		○	○			6	
30. ホソオビアシブトクチバ	○	○	○	○					○		○	12	
31. ヒメアシブトクチバ		○		○	○		○		○			6	
32. オオウンモンクチバ	○	○	○	○	○				○	○	○	16	
33. ウンモンクチバ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	35	
34. ニセウンモンクチバ	○	○	○	○	○			○	○	○	○	17	
35. ユミモンクチバ							○	○	○			6	注目種
36. クロスジユミモンクチバ											○	2	注目種
37. モンムラサキクチバ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		29	
38. モンシロムラサキクチバ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		18	
39. ムクゲコフハ	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	20	
40. ツキワクチバ	○	○									○	3	注目種
41. フクラスズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	28	
42. カギバトモエ	○	○		○	○	○	○	○	○		○	15	
43. オスグロトモエ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	35	
44. ハグルマトモエ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22	
45. オオトモエ	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	29	
46. シロスジトモエ	○	○	○	○	○	○		○	○		○	34	
シタバガ亜科 合計	31	29	19	23	26	24	21	24	26	12	25		

兵庫県のアツバ亜科
兵庫県産蛾類分布資料・31
高島 昭

今回はヤガ科のうちアツバ亜科について述べる。ここで示したデータは2003年12月1日現在で入手した資料に基づいている。記載の要領はこれまでのものと同じである。

なお、いつものことながら、兵庫県立人と自然の博物館における収蔵標本の調査及び記録の掲載については、人と自然の博物館の中西明德氏、八木剛氏に格別のご配慮をいただいた。この場を借りて厚くお礼を申し上げる次第である。

アツバ亜科 <HYPERINAE>

亜科の定義には昔から諸説あるようで、蛾類大図鑑では *Hypena* 属とその近縁属のみを配置し、それ以外のものはクチバ亜科に配置されている。

日本からは50種が知られており、そのうち兵庫県からは34種が記録されている(54ページ別表参照)。

地域別に見ると、神戸11種、阪神北摂16種、中東播南部5種、中東播北部18種、西播南部13種、西播北部21種、南但23種、北但5種、丹波21種、淡路北部10種、淡路南部17種となっている。山地性の種が多いため、西播北部、南但、丹波で多くなっている。北但や中東播南部地域は調査不足と思われる。マエキトガリアツバ、ヒトスジアツバ、ナミテンアツバ、ホソバアツバ、ミツボシアツバ、コテングアツバ、ソトウスナミガタアツバ、マルモンウツヅマアツバ、マガリウスツマアツバの9種は採集例が少なく注目種である。

1. *Anoratha costalis* Moore (4447)

マエキトガリアツバ 注目種

雌雄異型で近畿地方以西、四国、九州、屋久島に分布するという。兵庫県は分布の北限域に近いと思われる。今のところ県下からは養父市で筆者が記録したものが唯一の採集例である。

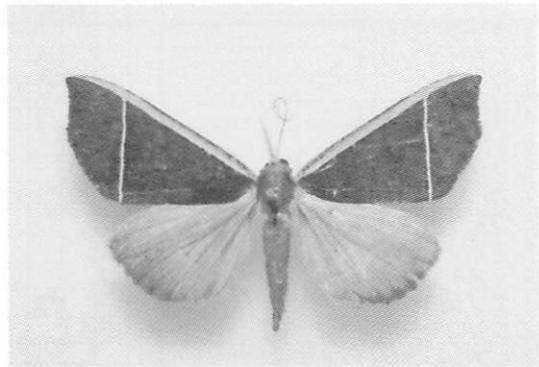
【採集記録】

養父市(大段ヶ平, 1.VII.2000, 1♀, 高島昭²⁴)

2. *Latirostrum bisacutum* Hampson (4448)

テングアツバ

宮城県付近を北限とし、本州から九州にかけて分布する。夏に出現し、成虫で越冬し翌春再び活動する。ミヤマハハソ、アワブキを食樹とする。県下では山地性のようで採集記録はあまり多くないが、越冬後の個体がよく灯火採集で見られるようである。



マエキトガリアツバ

【採集記録】

神戸市(摩耶山, 14.IV.1963, 1♀; 20.IV.1963, 1♀, 田中蕃¹³)

川西市(能勢口, 9.V.1992, 1♂, 東良雄¹³⁶)

八千代町(笠形山, 8.VIII.1965, 1ex., 岡本清²⁰⁴)

大河内町(長沢, 14.IV.2000, 1♂, 高島昭)

波賀町(坂の谷, 11.V.1991, 1♀, 八木剛*: 引原, 7.VI.1975, 1♂,

遊磨正秀⁵⁵: 同, 21.X.1997, 1♂, 高島昭)

養父市(大屋町横河谷, 15.V.1999, 1♂; 13.VIII.1999, 1♂, 高

島昭: 氷ノ山, 11.VIII.1956, 1♀, 山本義丸*)

青垣町(栗鹿山, 4.VIII.1948, 1♀, 山本義丸*)

3. *Rhynchina cramboidea* (Butler) (4449)

トガリアツバ

東北地方を北限として本州、四国、九州に産する。おそらく年1回の発生で、成虫で越冬するという。マルバハギを食樹としている。県下での採集例は少なく、丹波地域と淡路地域で得られているにすぎない。十分な調査を行えばさらに産地はみつかると思われる。なお、以前は♀の1型を *R.morosa* Butler シロスジトガリアツバとして扱っており、この名で記録されているものもあったが、現在では本種の♀の正常な形態であることが判っている。

【採集記録】

柏原町(柏原, 28.IV.1955, 1♀, 山本義丸*)

市島町(妙高山, 28.IV.1957, 1♀, 山本義丸*)

津名町(大町畑, 12.IV.1972, 1♂, 登日邦明²⁵)

南淡町(阿万上町, 26.IV.1960, -; 8.VI.1968, -; 9.V.1972, -, 藤平明

⁴¹: 同, 6.V.1972, 1♂, 登日邦明²⁵: 同, 10.VII.1972, 1♀, 登日

邦明³⁷: 同, 10.V.1974, -, 藤平明⁵⁹: 同, 16.VI.1995, -, 藤平明

¹⁹⁷: 賀集, 28.VI.1995, -, 藤平明¹⁹⁷)

4. *Harita belinda* (Butler) (4450)

ナカジロアツバ

東北地方から九州、対馬、屋久島に分布する。春に見られるのは越冬個体で、夏に羽化した個体は成虫で越冬する。コマツナギが食草として知られる。県内では各地に普通に見られる。

【採集記録】

神戸市(摩耶山, -, -, -, 田中蕃¹³)
川西市(黒川, 18.V.1996, 2♂, 1♀; 3.V.1997, 1♂, 高島昭¹⁷¹; 平野, 18.IV.1992, 1♂, 東良雄¹³⁰)
能勢妙見山(5.VIII.1984, 1♂, 夏秋ほか⁵⁷)
黒田庄町(喜多, 3.IV.1959, 3exs.; 15.IV.1959, 1ex.; 26.VI.1959, 1ex.; 13.IV.1960, 1ex.; 14.VII.1960, 1ex., 岡本清¹⁶⁵)
安富町(皆河, 21.X.1988, 1♂, 高島昭)
波賀町(鹿伏, 18.VIII.1995, 1♀, 高島昭; 引原, 11.X.1975, 1♀, 遊磨正秀⁵⁵; 同, 19.X.1988, 1♂, 高島昭¹⁴⁹)
相生市(瓜生, 28.IV.1995, 1♂, 高島昭¹⁵²; 同, 2.V.1996, 1♀; 30.IV.1997, 1♂, 高島昭)
上郡町(行頭, 2.V.1995, 2♂, 高島昭¹⁵⁰)
三日月町(下本郷, -.IV.-, -.V.1984, -, 川副昭人¹⁰³)
和田山町(久世田, 26.IV.1998, 1♂, 柴田剛)
養父市(氷ノ山, -, -, -, 遠山ほか²⁶)
柏原町(柏原, 18.VI.1952, 1♀; 20.VI.1952, 1♀; 12.VI.1954, 1♀; 14.IV.1955, 1♀; 16.IV.1955, 1♀, 山本義丸*)
市島町(妙高山, 9.VIII.1954, 1♀, 山本義丸*)
津名町(大町畑, 3.IV.1972, 1♂, 登日邦明²⁵)
南淡町(阿万上町, 14.IV.1961, -.; 18.III.1968, -, 藤平明⁴¹; 同, 17.VI.1986, -.; 27.IV.1987, -, 藤平明¹⁹⁷)

5. *Hypena claripennis* (Butler) (4452)

キシタアツバ

宮城県付近を北限とし、四国、九州、対馬まで分布している。幼虫はヤブマオの仲間を食べる。局地的な産出をするらしいが、県下では比較的普遍的に記録されており、平地から里山にその主な生息域がある。しかし、氷ノ山でも採集されており移動力があるのか、環境適応性が広いのか興味深い。春から9月頃まで採れており、おそらく年2~3回発生すると思われる。

【採集記録】

神戸市(名谷, 2.VII.1977, 1♀, 松本健嗣⁵⁰)
西宮市(上叡原町, 10.IX.1968, 1♀, 東正雄¹³⁰; 生瀬, 29.IV.1971, 1♂, 遊磨正秀³¹)
川西市(黒川, 10.VIII.1996, 1♂, 高島昭¹⁷¹)
猪名川町(上阿古谷, 12.VIII.1982, 1♂, 夏秋ほか⁷³)
宝塚市(南口2丁目, 21.IX.1981, -, 新家勝⁶⁵; 安倉北4丁目, 28.VII.1988, -, 新家勝¹³⁰)
加西市(中山町, 27.IV.1996, 1♂, 重村太博*)
西脇市(-, 15.IV.1959, 1ex.; 20.IV.1960, 1ex., 岡本清¹⁶⁴)
黒田庄町(喜多, 13.V.1960, 1ex., 岡本清¹⁶⁵)
三日月町(下本郷, -.IX.-, -.VII.1983, -.; VIII.1983, -, 川副昭人

102)

養父市(氷ノ山, -, -, -, 遠山ほか²⁶)

柏原町(柏原, 8.VI.1955, 1♀ (飼育), 山本義丸*)

市島町(妙高山, 28.VIII.1954, 1♀, 山本義丸*)

南淡町(阿万上町, 5.V.1960, -, 藤平明⁹⁹; 同, 20.IV.1968, -, 藤平明⁴¹; 賀集, 3.V.1995, -, 藤平明¹⁹⁷)

6. *Hypena amica* (Butler) (4453)

クロキシタアツバ

次種タイワンキシタアツバとたいへんよく似ているが、内横線が黄褐色影で縁取られず、翅表中央に明瞭な三角形を形成しないことで区別できる。北海道から九州にかけてと対馬、屋久島、奄美、伊豆諸島に産する。幼虫はヤブマオ類を食べる。県内では里山から山地まで幅広く分布し、前種や次種よりも生息範囲が広そうである。

【採集記録】

神戸市(摩耶山, -, -, -, 岡村八郎¹⁰⁴; 同, -, -, -, 田中蕃¹³; 六甲山, 26.VII.2001, 1ex., MT, 八木ほか^{230*})
西宮市(-, 4.IX.1967, 1♀, 阪口浩平*)
川西市(黒川, 13.VII.1996, 1♂, 1♀, 高島昭¹⁷¹)
宝塚市(南口2丁目, 7.VI.1981, -, 新家勝⁷⁵)
黒田庄町(喜多, 29.IX.1960, 1ex., 岡本清¹⁶⁵)
八千代町(笠形山, 30.V.1960, 1ex., 岡本清¹⁶⁵)
加美町(三国岳, 30.V.1959, 1ex., 岡本清¹⁶⁴)
新宮町(-, -, -, -, 相坂耕作²⁰⁵)
安富町(大河溪谷, 5.VI.1999, 1♂, 高島昭)
波賀町(坂の谷, 19.VIII.1998, 1♀, 高島昭; 引原, 27.VII.1973, 1♀; VIII.VI.1974, 1♀, 遊磨正秀⁵⁵; 同, 25.VII.1988, 1♂; 9.VIII.1988, 2♂; 1.IX.1988, 1♀; 22.IX.1988, 1♀, 高島昭¹⁴⁹)
三室山(-, -, -, -, 遠山ほか²⁶)
相生市(瓜生, 1.VI.1988, 1♀, 高島昭¹⁵²)
上月町(西新宿, 16.VIII.1997, 1ex., 高島昭)
三日月町(下本郷, -.IX.-, -.VIII.1983, -, 川副昭人¹⁰²)
登岡市(正法寺, 29.IV.1998, 1♂; 10.IX.1998, 1ex.; 20.IX.1998, 1ex., 柴田剛; 山本, 27.V.1973, -, 山根政之⁶²)
養父市(大屋町田瀬山, 5.VIII.1975, 1♂, 遊磨正秀⁷⁰; 氷ノ山, -, -, -, 遠山ほか²⁶)
柏原町(柏原, 5.VI.1954, 1♀, 山本義丸*)
北淡町(常陸寺山, 31.VII.1967, -, 登日邦明¹⁹)
南淡町(阿万上町, 10.V.1959, -.; 10.VI.1966, -, 藤平明⁴¹; 同, 14.IX.1995, -, 藤平明¹⁹⁷; 瀬大川, 7.V.1994, -, 藤平明¹⁹⁷; 瀬黒岩, 1.IX.1997, -, 藤平明¹⁹⁷)

7. *Hypena trigonalis* (Guenée) (4454)

タイワンキシタアツバ

本州から九州にかけての本土域と対馬、屋久島に分布する。東北地方が北限となる。近縁種の中では分布域が広くインドから中国、台湾、日本にかけて生息するが、南西諸島にはいない。ヤブマオ類を食べ、年2回の発生と思われる。県下では各地に見ら



れるが、キシタアツバと同じく平地から低山地が主な分布域である。

【採集記録】

川西市(黒川,7.IX.1996,2♂,近藤伸一¹⁷¹:同,3.V.1997,1♂,高島昭¹⁷¹)

猪名川町(上阿古谷,1.IX.1982,1♂,夏秋ほか⁷³)

宝塚市(武庫川町,21.IX.1984,-,新家勝⁹³)

西脇市(-,30.IV.1959,1ex.;1.VII.1960,1ex.,岡本清⁹⁴)

波賀町(引原,27.VII.1973,1♂,遊磨正秀⁹⁵:同,5.VIII.1988,1♂,高島昭¹⁶³)

三室山(-,-,-,-,遼山ほか⁹⁵)

上郡町(船坂,4.X.1997,1♂,高島昭)

三日月町(下本郷,-.VI.-,-.IX.-,-.VII.1983,-.V.1984,-.VII.1984,-,川副昭人¹⁰²)

養父市(氷ノ山,-,-,-,-,遼山ほか⁹⁵)

柏原町(柏原,9.VI.1955,1♀,16.V.1956,1♀,山本義丸⁹⁶)

北淡町(常陸寺山,5.VIII.1972,2♂,登日邦明⁹⁷)

洲本市(物部,2.V.1981,1ex.,林俊雅⁹⁷)

南淡町(阿万上町,10.V.1959,-,藤平明⁴¹:同,8.V.1986,-,藤平明⁹⁹:同,25.IV.1995,-,14.IX.1995,-,藤平明¹⁰⁷:賀集,25.IV.1994,-,3.V.1995,-,藤平明¹⁰⁷:灘黒岩,4.V.1997,-,藤平明¹⁰⁷)

8. *Hypena ella* Butler (4455)

ソトムラサキアツバ

前3種と極めて近縁だが、後翅が黒褐色である。宮城県付近を北限とし、四国、九州まで分布する。現在のところ、日本特産種とされている。幼生期は不明である。県下での記録はやや少なく、局地的な発生となっている。里山に分布の中心があるのは前種と同様で、いずれの記録地でも前種と混生している。同時期に採集されているケースも多く、すみわけはしていないようである。

【採集記録】

川西市(黒川,3.V.1997,1♂;5.VII.1997,1♂,高島昭¹⁷¹)

猪名川町(上阿古谷,21.VII.1982,1♀,夏秋ほか⁷³)

三日月町(下本郷,-.IX.-,-.VII.1984,-,川副昭人¹⁰²)

柏原町(柏原,-,-,-,-,山本義丸¹⁵⁵)

南淡町(阿万上町,10.V.1959,-,藤平明⁴¹)

9. *Hypena tatorhina* Butler (4457)

ヒトスジアツバ 注目種

北海道から九州にかけて分布するが、幼生期は不明である。6~8月に見られ、おそらく年1回の発生である。産出は局地的であるという。

県下ではこれまで上月町、波賀町、養父市と宍戸町で1例ずつ得られているだけである。地味な蛾なので飛来しても採集されていない場合も多いのではないと思われる。

【採集記録】

波賀町(坂の谷,17.IX.1998,1♂,高島昭)

上月町(西新宿,1.VI.1996,1♂,高島昭)

養父市(鉢伏高原,24.VII.1974,1♀,山本義丸⁹⁶)

宍戸町(神楽,1.VIII.1954,1♂,山本義丸⁹⁶)

10. *Hypena strigatus* (Fabricius) (4461)

ナミテンアツバ 注目種

暖地性の種で、関東地方以西、四国、九州、屋久島、西表島から記録されている。夏から秋に発生し成虫で越冬する。幼虫はヌスビトハギから記録されている。県内では、黒田庄町、柏原町の内陸部で古い記録があるだけで、他に報告はない。

【採集記録】

黒田庄町(喜多,1.X.1962,1ex.,岡本清¹⁰⁶)

柏原町(柏原,15.IX.1949,1♀,山本義丸^{155*})

11. *Hypena occata* Moore (4465)

オオトビモンアツバ

福井県と関東地方を結ぶ線以西、奄美大島まで分布する。八丈島からも記録がある。カラムシを食草とし、夏に出現した蛾は越冬し、翌春再び活動する。普通種と思われるが県内の記録は少なく、これまで宝塚市、波賀町、氷上郡、南淡町で報告されているだけであるが、南淡町では普通に見られるようであり、南部平坦地には広く分布しているかもしれない。

【採集記録】

西宮市(-,9.X.1967,1♀;16.X.1967,1♀,阪口浩平⁹⁸)

宝塚市(宝梅1丁目,12.III.1992,1♂,東正雄¹⁰⁶)

波賀町(引原,22.X.1975,1♀,遊磨正秀⁹⁵)

氷上郡(-,-,-,-,-,山本義丸¹⁵⁵)

南淡町(阿万上町,2.X.1967,-,藤平明⁴¹:同,29.IV.1986,-,藤平明⁹⁹:賀集,3.V.1995,-,藤平明¹⁰⁷:灘大川,15.IV.1995,-,藤平明¹⁰⁷:灘黒岩,29.VI.1997,-,藤平明¹⁰⁷)

12. *Hypena innocuoides* Poole (4466)

ウスチャモンアツバ

暖帯性の日本特産種で、伊豆半島付近から本州南岸沿いに南西諸島まで分布する。他の同属種と同じく夏に出現した成虫は越冬して翌春まで生き延びる。Wileman が *H. triangularis* Moore として記録されたもの(1911)は本種を指しているとの考察がある。兵庫県は北限付近と見られるが、南淡町のほか内陸の西脇市、波賀町、養父市からの各1例が記録されている。淡路や瀬戸内海沿岸地域からの発見が期待できる。かつて三日月町や朝来町で同名で報告されたものは次種である可能性が強いと思われる。

【採集記録】

西脇市(-,26.IV.1960,-,岡本清¹⁰⁶)

波賀町(引原,21.X.1997,1♀,高島昭)

養父市(大段ヶ平,1.VII.2000,1♂,高島昭)

南淡町(賀集,25.IV.1994,-,藤平明¹⁰⁷:灘大川,9.IV.1996,-,藤平明¹⁰⁷)

13. *Hypena indicatalis* Walker (4467)

トビモンアツバ

季節変異が大きい種で、暖地性。関東地方を北限として西南日本から南西諸島に分布する。温暖地では普通種。年2回の発生で、モンクロアツバと呼ばれたものは本種の秋型の♀で、*H. triangularis* Mooreは誤用であるという。幼虫はカラムシにつくことが知られている。県内では各地に普通で、平地から山地までまんべんなく得られている。モンクロアツバの和名で記録がある三日月町産、朝来町産のものは本種と思われるので、あわせて掲示しておく。

【採集記録】

神戸市(摩耶山, ---, 田中番¹⁵)
西宮市(-, 9.X.1967, 1♂, 阪口浩平*)
川西市(黒川, 10.VIII.1996, 1♂; 7.IX.1996, 2♂; 9.XI.1996, 1♂ 1♀; 3.V.1997, 1♂ 1♀; 7.VI.1997, 1♂, 高島昭¹⁷¹: 平野, 26.VI.1992, 1♀, 東正雄¹²⁰)
宝塚市(武田尾, 12.VIII.1991, 1♀, 東正雄¹³⁰: 南口2丁目, 4.XI.1988, 新家勝¹²⁹)
黒田庄町(喜多, 12.IX.1960, 2exs.; 17.X.1960, 1ex.; 29.XI.1961, 2exs.; 28.IV.1962, 1ex., 岡本清¹⁶⁶)
八千代町(笠形山, 5.VIII.1960, 1ex., 岡本清²⁰⁴)
加美町(千ヶ峰, 13.VIII.1961, 2exs., 岡本清²⁰⁴)
姫路市(太市, ---, 1991, -, 丸谷ほか¹²⁸)
波賀町(引原, 11.X.1975, 1♂, 遊磨正秀⁵⁵)
相生市(瓜生, 18.IV.1995, 1♀; 28.IV.1995, 1♀, 高島昭¹⁵³)
上郡町(船坂, 8.IV.1998, 2♂, 高島昭: 行頭, 7.IX.1995, 1♂, 高島昭¹⁵³)
上月町(西新宿, 1.VI.1996, 1♂, 高島昭)
三日月町(下本郷, -.V.1984, -, 川副昭人¹⁰²)
朝来町(須留ヶ峰, 9.VI.1975, 1♀, 遊磨正秀⁵⁵)
養父市(大屋町横行溪谷, 9.VI.1999, 1♂; 13.VIII.1999, 1♂, 高島昭: 氷ノ山, ---, 遼山ほか³⁵)
柏原町(柏原, 29.X.1953, 1♂; 24.VI.1955, 1♀, 山本義丸*)
津名町(大町畑, 5.IV.1972, 1♀, 登日邦明²⁵)
南淡町(阿方上町, 21.VIII.1962, -, 藤平明⁴¹: 賀集, 25.IV.1994, -; 13.XI.1995, -, 藤平明¹⁹⁷: 瀬黒岩, 1.IX.1997, -, 藤平明¹⁹⁷)

14. *Hypena subcyanea* Butler (****)

アオアツバ

暖地性の種でおそらく本州南岸沿いから南西諸島にかけて分布するものと思われる。夏に出現した蛾はそのまま越冬し、翌春再び活動する。幼生期はよくわかっていないが、ハリブトシリアゲアリの巢の近くで蛹が発見された。関連性は不明であるが、マツとの関係があるとされている。現状では記録が少なく、県下では筆者が上郡町で採集した1例のみであるが、近県では大阪府箕面や池田市で採集されているので、北摂から六甲山系、淡路などマツが多い地域では広く分布すると思われる。

【採集記録】

上郡町(行頭, 12.VII.1995, 1♂, 高島昭¹⁵⁰)

15. *Hypena lignealis* Walker (4472)

オスグロホソバアツバ

おそらく本州西南部から四国、九州にかけて分布すると思われるが、採集例が少ないので定かでない。今のところ福井県武生市及び長野県武石峠の採集例が最北のものと思われる。近県では三重県湯ノ山、大阪府箕面市、岡山県新郷町、備中町からも記録されている。成虫で越冬する。県下の記録は局地的ながら各地から報告されている。基本的に暖帯林が本来の生息地と思われるが、氷ノ山周辺での採集記録が多い。かなり移動性があるのかもしれない。

【採集記録】

猪名川町(上阿古谷, 12.VIII.1982, 1♂, 夏秋ほか⁷³)
波賀町(坂の谷, 28.IV.1998, 1♂ 1♀; 12.VI.1998, 1♀, 高島昭: 引原, 5.VIII.1988, 1♀, 高島昭¹⁶⁵)
養父市(大屋町横行溪谷, 13.VIII.1999, 1♂, 高島昭: 氷ノ山, 23.VII.1957, 1♂, 山本義丸¹²²: 大段ヶ平, 21.VII.2000, 1♀, 高島昭)
宍塚町(神楽, 1.VIII.1954, 1♂, 山本義丸^{156*})
南淡町(灘, 15.IV.1995, -, 藤平明¹⁹⁷)

16. *Hypena whiteyi* Butler (4473)

ホソバアツバ 注目種

冷温帯性の種で日本特産。北海道から本州にかけて生息する。夏から秋に出現し、成虫で越冬する。幼生期はよくわかっていない。県内では波賀町と津名町で記録されているだけで、分布状況はよくわかっていない。

【採集記録】

波賀町(引原, 2.VI.1975, 1♂, 遊磨正秀⁵⁵)
津名町(大町畑, 1.VII.1972, 1♀, 登日邦明²⁷)

17. *Hypena tristalis* Lederer (4474)

ミツボシアツバ 注目種

雌雄異型で北海道から九州にかけて本土域に分布する。夏から出現し、成虫で越冬する。ヤブマオ類、ハルニレ、マメ科の草本につくことが知られている。クズからも幼虫が確認された(富樫, 1984)。県内での記録は少なく、波賀町から養父市にかけての氷ノ山周辺で得られているだけで局地的な分布である。

【採集記録】

波賀町(坂の谷, 26.VIII.1992, 1♂, 大西秀岳*: 同, 17.VII.1998, 1♂, 高島昭: 引原, 7.VI.1975, 1♀; 11.X.1975, 3♂ 1♀; 22.X.1975, 2♂; 22.V.1976, 1♀; 5.VIII.1978, 1♀, 遊磨正秀⁵⁵: 同, 16.V.1988, 1♀; 29.VII.1988, 1♂; 1.X.1988, 1♂; 7.X.1988, 1♀, 高島昭¹⁶⁵)
養父市(大屋町横行溪谷, 15.V.1999, 1♂; 11.VI.1999, 1♀; 8.VIII.1999, 1♀, 高島昭: 大段ヶ平, 2.VI.2000, 1♀, 高島昭: 氷ノ山, 22.VIII.1954, 1♀; 16.VIII.1955, 1♂ 1♀; 11.VIII.1956,

1♂1♀,山本義丸*)

18. *Hypena narratalis* Walker (4475)

ムラサキミツボシアツバ

前種によく似るが、前翅の幅がやや狭く、色調は濃く、前翅の台形状の暗色部の形状が異なる点で区別できる。北海道から四国にかけて分布するが、前種より山地性でやや局地的な分布をする。県内ではこれまで波賀町から氷ノ山山系にかけて得られているだけであるが、発生地では比較的普通に見られる。

[採集記録]

波賀町(音水,10.VII.1964,1ex.,岡本清²⁰⁴:坂の谷,17.IV.1998,1♂;5.VI.1998,1♀,高島昭:引原,20.VIII.1988,1♂;7.X.1988,1♀,高島昭¹²:同,21.X.1997,1♂,高島昭)
 養父市(大屋町横行溪谷,17.IV.1999,1♂2♀;2.V.1999,1♀,高島昭:大段ヶ平,2.VI.2000,1♂;21.VII.2000,1♂,高島昭)

19. *Hypena pulverulenta* Wileman (****)

コテングアツバ 注目種

日本特産種で、高尾山を北限として東海地方以西、紀伊半島、四国、九州などで得られている。近隣府県では大阪府箕面市で得られている。夏以降の出現で成虫で越冬する。幼生期は不明である。暖帯系の種で県内では川西市、高砂市、姫路市と南部低山地で得られているが局地的である。

[採集記録]

川西市(黒川,10.VIII.1996,1♂,高島昭¹⁷¹)
 高砂市(-,23.XI.1963,2exs.;22.XI.1964,1ex.;1.XI.1967,1ex.,岡本清¹⁵⁸)
 姫路市(太市,6.V.1995,1♂,高島昭¹⁶⁹)

20. *Hypena kengkalis* Bremer (4476)

ソトウスナミガタアツバ 注目種

ナミガタアツバに似るが、前翅前縁部の外縁線の出発点の位置が異なることで区別できる。ソトウスアツバとも呼ばれ、幼虫はハギ類につく。県内では宍垣町と南淡町から報告されているが、近年の記録はない。

[採集記録]

宍垣町(神楽,---,山本義丸¹⁵⁵)
 南淡町(阿万上町,15.IV.1974,-;10.V.1974,-,藤平明⁹⁹)

21. *Hypena abducalis* Walker (4477)

サザナミアツバ

東北地方から四国、九州にかけて分布し、夏に出現して成虫で越冬、翌春にも得られる。アトムラサキアツバとも呼ばれる。幼生期は日本では不詳であるが、インドではマメ科植物につくという。

県内では、低山地を中心にぼつぼつと古い記録が点在するが最近の記録はない。

[採集記録]

西宮市(生瀬,5.IV.1972,1♀,遊磨正秀³¹:-,31.VIII.1967,1♀,阪口浩平*)

黒田庄町(喜多,19.IV.1960,1ex.;14.IX.1960,1ex.;17.XI.1960,1ex.;26.VII.1961,2exs.,岡本清¹⁶⁸)

佐用町(佐用,28.VI.1965,1ex.,岡本清²⁰⁴)

養父市(氷ノ山,---,遠山ほか³⁸:同,6.VII.1956,1♀,山本義丸*)

柏原町(柏原,27.VIII.1949,1♀,山本義丸*)

宍垣町(神楽,12.VIII.1953,1♂,山本義丸*)

22. *Hypena similalis* Leech (4478)

ナミガタアツバ

外横線は赤褐色で翅頂から発する。夏以降出現し、成虫で越冬する。幼虫はハギ類につく。県内からは南部の市街地から低山地にかけて数カ所得られている。個体数は少ないようである。但馬地域にも広く分布すると思われる。

[採集記録]

宝塚市(植物園,26.III.1932,1♂,東正雄¹³⁶)

黒田庄町(喜多,1.V.1960,1ex.,岡本清¹⁶⁸)

安富町(大河溪谷,26.IV.1999,1♀,高島昭)

波賀町(引原,24.IV.1998,1♀,高島昭)

柏原町(柏原,12.IV.1956,1♂,山本義丸*)

市島町(妙高山,---,山本義丸¹⁵⁵)

北淡町(常陸寺山,31.VII.1967,-,登日邦明¹⁵)

南淡町(阿万上町,14.IV.1968,-,藤平明⁴¹)

23. *Bomolocha stygiana* (Butler) (4481)

ヤマガタアツバ

本州北部から九州、対馬にかけて分布し、各地に普通に産する。ウツギヤマルバウツギにつく。年2~3回の発生と思われる。県内でも低山地から山地まで広く記録があり、*Bomolocha* 属の中では最も普通種である。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,---,田中馨¹²:同,2.VI.1965,1♂,岡村八郎*
 :六甲山,17.VI.2001,1ex.,MT;18.VIII.2001,3exs.,MT,八木ほか^{236*}:同,5.VII.2001,1ex.,八木剛^{236*})

宝塚市(武田尾,16.VIII.1991,1♀,東正雄¹³⁶)

八千代町(笠形山,3.X.1966,1ex.,岡本清²⁰⁴)

加美町(三国岳,10.VIII.1961,1ex.,岡本清²⁰⁴)

姫路市(太市,28.VI.1995,1♂,高島昭:広嶺山,13.V.1982,1♂,相板耕作)

大河内町(砥峰高原,27.VII.2002,1ex.,八木剛^{243*}:同,24.VIII.2002,3exs.,勝又千寿代^{243*})

安富町(大河溪谷,14.V.1999,1♀,高島昭)

波賀町(坂の谷,6.VI.1992,1♂,熊代直生*:同,26.VI.1998,1♂,高島昭:鹿伏,18.VIII.1995,1♂,高島昭:原,28.VII.1995,1♀,高島昭:引原,1.VI.1974,1♂2♀;8.VI.1974,1♂;2.VI.1975,2♀;22.V.1976,2♂;3.V.1978,1♂,遊磨正秀⁵³:同,16.V.1988,1♀;26.V.1988,2♀;7.VI.1988,1♂;2.VII.1988,1♂,

高島昭¹⁴³)
 相生市(瓜生,24.V.1989,1♂,高島昭¹⁵²:同,29.V.1997,1♂;24.VII.1997,1♂,高島昭)
 上月町(西新宿,16.VIII.1997,1♂,高島昭)
 三日月町(下本郷,-,VI.-,-,IX.-,-,VII.1983,-,VIII.1983,-,V.1984,-,川副昭人¹⁵³)
 温泉町(扇ノ山,-,-,-,-,遠山ほか³⁶:湯村温泉,19.VIII.1953,1♂,山本義丸*)
 村岡町(鉢北高原,19.VIII.2000,1♂,高島昭)
 朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,2♂2♀,遊磨正秀³⁶)
 養父市(大屋町横行,23.VII.1957,1♀,山本義丸*:大屋町横行溪谷,6.VII.1999,1♂,高島昭:氷ノ山,-,-,-,-,遠山ほか³⁶)
 柏原町(柏原,3.VI.1953,1♀,山本義丸*)
 宍垣町(神楽,13.VIII.1953,2♂1♀,山本義丸*)
 北淡町(常陸寺山,31.VII.1967,-,登日邦明¹⁹:同,7.VII.1972,3♂;5.VIII.1972,2♂,登日邦明³⁷)
 南淡町(阿万上町,9.V.1972,-,藤平明⁴¹:同,14.VIII.1972,3♂,登日邦明³⁷:同,13.IX.1986,-,藤平明⁶⁹:賀集,25.IV.1994,-;3.V.1995,-,藤平明¹⁹⁷:灘大川,31.VIII.1994,-,藤平明¹⁹⁷:灘黒岩,29.VI.1997,-;1.IX.1997,-,藤平明¹⁹⁷:福良向谷,11.V.1996,-;22.IV.1997,-,藤平明¹⁹⁷)

24. *Bomolocha squalida* (Butler) (4483)

ハンゴロアツバ

北海道から九州に分布し、5~8月の発生である。幼虫はツツジ科、バラ科につくことが知られている。県内ではやや局地的な分布となる。古い文献では、*B.zilla* とされたが誤りで、表記の名が正しい。*zilla* はシラクモアツバで古い記録ではどちらを指すのかわからない場合があり、確認が必要である。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,22.VIII.1962,1♂,田中蕃¹³:同,14.VIII.1968,1♀,岡村八郎*)
 黒田庄町(喜多,12.VI.1961,1ex.;12.IX.1961,1ex.,岡本清¹⁶⁵)
 養父市(氷ノ山,-,-,1954,-,山本義丸⁵)
 柏原町(柏原,29.V.1952,1♀,山本義丸*)
 北淡町(常陸寺山,19.VIII.1970,2♂,登日邦明²⁹)
 南淡町(阿万上町,22.VIII.1960,-;15.V.1972,-,藤平明⁴¹:賀集,25.IV.1994,-;3.V.1995,-,藤平明¹⁹⁷:福良向谷,11.V.1996,-,藤平明¹⁹⁷)

25. *Bomolocha semialbata* Sugi (4484)

ミヤマソトシロアツバ

1970年に群馬県で採集された個体に基づいて記載された種で、日本特産種。北海道から四国にかけてと対馬に産する。出現時期は5~9月。幼生期は不詳である。県内では次の5カ所で記録されているだけであるが、県内に広く分布しているのではないかと思われる。

【採集記録】

宝塚市(西谷西部,14.V.1977,1♂,東正雄¹³⁰)

波賀町(引原,1.IX.1988,1♀,高島昭¹⁴²)
 上郡町(行頭,2.V.1995,1♂,高島昭¹⁵⁰)
 養父市(氷ノ山,-,-,-,-,遠山ほか³⁶)
 柏原町(柏原,14.V.1953,1♂,山本義丸*)

26. *Bomolocha rivuligera* (Butler) (4486)

アイモンアツバ

北海道から九州に至る本土域に分布し、5~9月に出現する。幼虫はイラクサ科のアカソから発見されている。現在のところ県内での既知産地は山地に限られている。

【採集記録】

神戸市(六甲山,17.VI.2001,1ex.,MT;24.VI.2001,1ex.,MT;18.VIII.2001,2exs.,MT,八木ほか^{230*})
 加美町(三国岳,10.VIII.1961,1ex.,岡本清²⁰⁴)
 波賀町(引原,27.VIII.1973,1♀;8.VI.1974,1♂;2.VI.1975,1♂;22.V.1976,1♂,遊磨正秀⁵⁵)
 三室山(-,-,-,-,遠山ほか³⁶)
 温泉町(扇ノ山,2.VI.1984,1♂,谷田昌也⁹⁷)
 朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂2♀;31.VII.1975,1♂,遊磨正秀³⁶)
 養父市(氷ノ山,6.VII.1956,1♀,山本義丸^{122*})

27. *Bomolocha zilla* (Butler) (4487)

シラクモアツバ

季節、雌雄によって斑紋に変異が大きい。北海道から四国にかけて分布し、本州では年2化とされている。幼虫はミヤマザクラを食べることが発見された(小木,1984)。県内では主に低山地から採集されているが普遍的ではない。

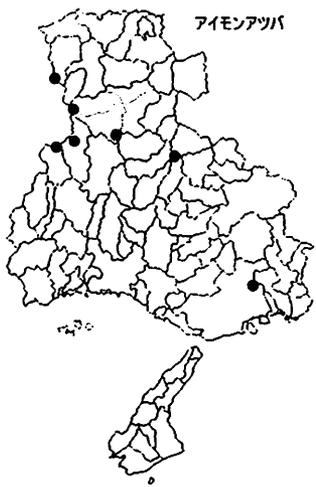
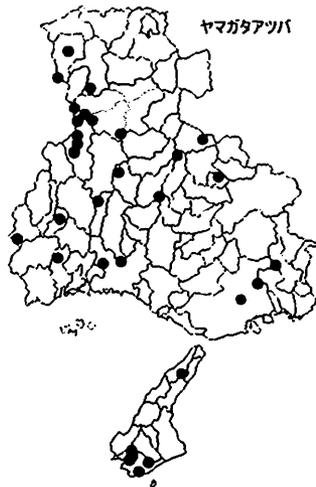
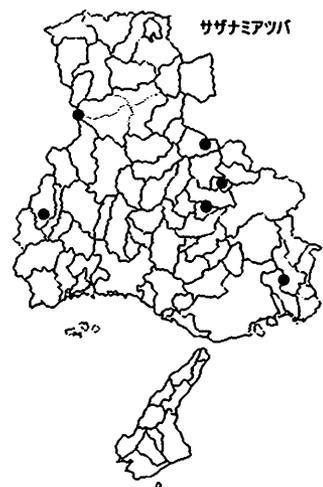
【採集記録】

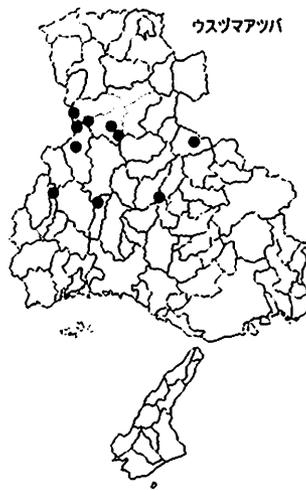
神戸市(有馬,3.VIII.1992,1♂,東正雄¹³⁰)
 川西市(黒川,7.IX.1996,1♂,高島昭¹⁷⁷)
 姫路市(太市,17.V.1995,1♂,高島昭)
 相生市(瓜生,24.V.1989,1♀;7.VI.1989,1♂,高島昭¹⁵²:同,28.IV.1997,1♀,高島昭)
 養父市(大久保,3.VIII.1961,1ex.,岡本清²⁰⁴)
 柏原町(柏原,7.V.1953,1♀;24.V.1955,1♀,山本義丸*)
 宍垣町(神楽,13.VIII.1952,1♂;12.VIII.1953,2♂,山本義丸*)
 南淡町(阿万上町,22.VIII.1960,-;15.V.1972,-,藤平明¹⁹⁷:賀集,3.V.1995,-,藤平明¹⁹⁷)

28. *Bomolocha benepartita* Sugi (4488)

シモフリヤマガタアツバ

ヤマガタアツバによく似ているが、外横線、垂外縁線の形状が異なる。6~9月にかけて発生し、幼生期は不詳である。大図鑑では群馬県、長野県、四国山地と限られた産地しかあがっていなかったが、県内でも八千代町、波賀町、養父市大屋町の山間部で記録がある。おそらく少ないものの山地帯には広く分布するものと思われる。





【採集記録】

八千代町(笠形山,8.VIII.1965,1ex.,岡本清²⁰⁴)
 波賀町(音水,24.V.1964,1ex.,岡本清²⁰⁴:坂の谷,27.V.1998,
 1♀,高島昭¹⁸⁵)
 養父市(大屋町横行溪谷,3.IX.1999,1♀,高島昭)

29. *Bomolocha perspicua* (Leech) (4489)

ウスツマアツバ

官城県付近を北限とし、四国、九州、対馬に分布する。5~9月に出現し、幼虫はイラクサ科の植物を食べる。県内の分布はこれまでのところ山地帯から記録されており、やや局限される傾向にある。季節変異が大きい種で、本種の夏型はホシムラサキアツバの♀とよく似ており、同定には注意が必要である。

【採集記録】

八千代町(笠形山,27.IV.1968,1ex.,岡本清²⁰⁴)
 安富町(大河溪谷,5.VI.1999,1♂,高島昭)
 波賀町(坂の谷,20.VI.1998,1♂,高島昭:引原,4.VII.1973,1♂;
 12.VIII.1974,2♂;27.IX.1974,1♂1♀;2.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁵⁵:同,26.V.1988,1♂;5.VIII.1988,2♂;20.VIII.1988,1♂,
 高島昭¹⁸⁵)
 南光町(船越,23.VIII.1963,2exs.;31.VII.1964,1ex.,岡本清²⁰⁴)
 朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,2♂,遊磨正秀⁵⁵)
 養父市(大屋町田淵山,5.VIII.1975,1♂,遊磨正秀⁷⁰:大屋町
 横行溪谷,23.VII.1999,1♂;13.VIII.1999,1♂,高島昭:米ノ
 山,---,遺山ほか²⁰⁵)
 奇壇町(神楽,13.VIII.1953,3♂,山本義丸*)

30. *Bomolocha bicoloralis* Graeser (4490)

マルモンウスツマアツバ 注目種

冷温帯に分布の中心があり、北海道では普通であるが本州、四国では局地的になるという。対馬から

も得られている。国外では沿海州に分布する。年2回出現し、ハルニレ、ケヤキなどから幼虫が見つかる。前種とよく似ているが外横線はより滑らかに湾曲していること、翅頂部の半月状紋が小さいことなどで区別できる。県内では米ノ山南麓にあたる波賀町坂の谷と南淡町から記録されているだけで局地的である。本来冷温帯性の種であり、淡路での記録は確認が必要と思われる。岡山県では北部、中部に少ないながら分布しているようなので、西播から但馬、丹波にかけての山地帯には分布していると思われる。

【採集記録】

波賀町(坂の谷,27.V.1998,1♂;3.VII.1998,1♂;17.IX.1998,1♂,
 高島昭¹⁸⁵)
 南淡町(阿万上町,17.IX.1984,-9.IX.1986,-藤平明⁵⁹:同,20.
 VII.1995,-藤平明¹⁸⁷)

31. *Bomolocha nigrobasalis* Herz (4491)

ホシムラサキアツバ

♂は全体的に暗褐色鱗粉で覆われ、斑紋は不鮮明である。♀では斑紋は鮮明でウスツマアツバに似るが、外横線は前縁部でほぼ垂直に近い角度で出発すること、外横線外側の暗色点列が鮮明であることから区別できる。北海道から九州にかけて分布し、内陸山地や日本海側で多産するという。年2回の出現でツツジ類を食樹としている。

県内での分布はやや局地的であるが、引原ダムでは普通に見ることができる。おそらく内陸部には広く分布しているものと思われる。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,---,岡村八郎¹⁰⁴)
 波賀町(坂の谷,27.V.1998,1♂,高島昭:引原,1.VI.1974,1♂,

兵庫県におけるアツバ亜科分布一覽表

2004.1.1 現在	神戸	阪神北摂	中東播磨	中東播磨北部	西播磨	西播磨北部	北但	南但	丹波	淡路北部	淡路南部	記録地数	備考
1. マエキトガリアツバ												1	注目種
2. テングアツバ	○	○		○		○		○				9	
3. トガリアツバ										○	○	5	
4. ナカジロアツバ	○	○		○	○	○		○	○	○	○	17	
5. キシダアツバ	○	○		○	○	○		○	○	○	○	16	
6. クロキシダアツバ	○	○		○	○	○		○	○	○	○	25	
7. タイウンキシダアツバ				○	○	○		○	○	○	○	15	
8. ソトムラサキアツバ		○			○	○						5	
9. ヒトスジアツバ					○	○		○				4	注目種
10. ナミデンアツバ				○						○		2	注目種
11. オオトビモンアツバ		○				○					○	8	
12. ウスチャモンアツバ				○		○		○			○	5	
13. トビモンアツバ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	24	
14. アオアツバ					○							1	
15. オスグロホソバアツバ		○				○		○			○	8	
16. ホソバアツバ						○				○		2	注目種
17. ミツボシアツバ						○						5	注目種
18. ムラサキミツボシアツバ						○		○				5	
19. コテングアツバ		○	○									3	注目種
20. ソトウスナミガタアツバ									○		○	2	注目種
21. サザナミアツバ		○		○	○			○				6	
22. ナミガタアツバ						○		○	○	○	○	8	
23. ヤマガタアツバ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	31	
24. ハングロアツバ	○			○				○	○	○	○	8	
25. ミヤマソトジロアツバ		○				○						5	
26. アイモンアツバ	○			○	○	○	○					7	
27. シラクモアツバ	○	○	○		○							9	
28. シモフリヤマガタアツバ					○							4	
29. ウスツマアツバ				○				○				10	
30. マルモンウスツマアツバ						○				○		2	注目種
31. ホシムラサキアツバ	○				○	○	○					7	
32. ムラクモアツバ	○	○			○	○						9	
33. マガリウスツマアツバ				○			○	○				3	注目種
34. アヤナミアツバ			○	○					○	○	○	6	
アツバ亜科 合計	11	16	5	18	13	21	5	23	21	10	17		

遊磨正秀⁵⁵ : 同,7.VI.1988,1♀;18.VI.1988,1♀;29.VII.1988,1♂;5.VIII.1988,1♂,高島昭¹⁴² : 同,21.X.1997,1♂;10.VII.1998,1♀,高島昭)

相生市(瓜生,30.IV.1997,1♂,高島昭¹⁷⁸)
 三日月町(下本郷,-.VII.1983,-,川副昭人¹⁶²)
 竹野町(森本,27.IX.1998,1ex.,柴田剛)
 朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁵⁶)

32. *Bomolocha melanica* Sugi (4492)
 ムラクモアツバ

前種に近縁で♂はよく似ているが、外横線の起点と末端部に弱い灰白色条が前種より目立つ。日本特産種で、東北地方から九州にかけて分布するが前種よりもはるかに少ないという。幼生期は不詳である。県内で記録があるのは次のとおりでやや局地的な

産出状況である。大図鑑では発生時期は前種と異なり、年1回6~7月の出現であるというが、県下の採集例を見ると5月から9月に及んでおり、周年経過の実態と正確な同定の両面から検討を要する。

【採集記録】
 神戸市(摩耶山,22.VIII.1962,1♂;20.VII.1963,1♀,田中蒼¹⁵)
 宝塚市(西谷西部,1.IX.1991,1♀,東正雄¹³⁰ : 宝梅1丁目,1.IX.1991,1♂,東正雄¹³⁰)
 八千代町(笠形山,4.VIII.1960,1ex.,岡本清²⁰⁴)
 波賀町(坂の谷,17.VII.1998,1♀,高島昭 : 引原,12.VIII.1974,1♂,遊磨正秀⁵⁵ : 同,26.V.1988,1♀;20.VIII.1988,1♀,高島昭¹⁴²)
 朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂1♀,遊磨正秀⁵⁶)
 養父市(大屋町横行溪谷,4.VI.1999,1♂,高島昭 : 氷ノ山,11.VIII.1956,1♂,山本鏡丸⁸)

33. *Bomolocha mandarina* Leech (4493)

マガリウスツマアツバ 注目種

本属としては大型で、斑紋は鮮明。宮城県を北限として関東、中部、四国、九州山地に産するが産出は局地的で個体数も少ないという。7~8月に得られているが発生回数、幼生期ともに不詳。県内からは中部から北部の山地帯で得られている。

[採集記録]

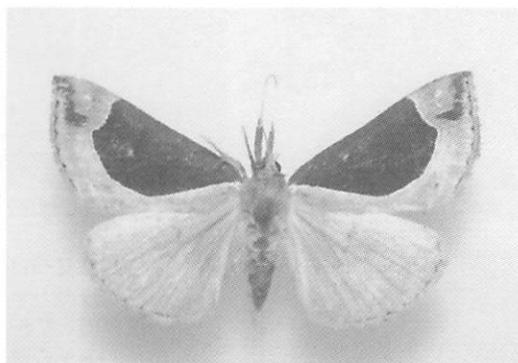
大河内町(砥峰高原, 10.VIII.2002, 1ex., 八木剛^{243*})村岡町(鉢北高原, 19.VIII.2000, 1♀, 高島昭²⁴⁴)養父市(大段ヶ平, 1.VII.2000, 2♀; 4.VIII.2000, 1♂, 高島昭²⁴⁴)

Rhynchodontodes 属から *Zekelita* 属に変更された(Lödi, M & B. Mayer, 1997)。県下では加古川流域と淡路島で得られているだけであるが、各地に広く分布すると思われる。

[採集記録]

高砂市(-, 6.IX.1970, -, 岡本清¹⁵⁶)黒田庄町(喜多, 21.VI.1959, 1ex.; 1.VI.1960, 1ex.; 9.VI.1960, 1ex.; 24.VI.1960, 1ex.; 14.VII.1960, 1ex.; 8.V.1961, 1ex., 岡本清¹⁵⁶)柏原町(柏原, 4.VI.1954, 1♀; 2.VI.1955, 1♀, 山本義丸^{*})北淡町(常陸寺山, 5.VIII.1972, 1♂, 登日邦明²⁹)津名町(大町畑, 8.VII.1972, 1♀; 27.VII.1972, 1♂, 登日邦明²⁹)南淡町(阿万上町, 9.IX.1961, -; 25.V.1968, -, 藤平明⁴¹: 同, 6.V.1972, 1♀, 登日邦明²⁶: 同, 20.V.1961, -; 18.V.1973, -; 5.VI.1985, -; 16.VIII.1985, -; 16.VI.1987, -, 藤平明¹⁹⁷)34. *Zekelita plusioides* (Butler) (4429)

アヤナミアツバ



マガリウスツマアツバ

(TAKASHIMA AKIRA 姫路市書写2542-2)

ギフチョウ蛹の発見 竹内 隆

私達「加古川の里山・ギフチョウ・ネット」では、「生きものを救うこころみと里山の保全」をテーマに、環境庁が絶滅危惧種Ⅱ類に指定しているギフチョウの保護をめざしています。

過去7年間の活動のなかで蛹を発見した例が5回あり、そのうち2回羽化の瞬間を観察することができたので、状況を報告します。

冬場林内を歩きやすい1~3月、カンアオイの新たな自生地を回ります。その時期に蛹を発見することが多く、手で動かすことのできる20~30センチまでの石が多いようです。

その他、立ち枯れのコナラの木の中1回、地面の穴の中(直径10センチ)1回、落ち葉の下1回です。発見場所から1メートル以内にすべてにカンアオイの株がありました。いずれも、簡単には発見できません(写真1~6)。

蛹 発見場所

表1

年月日	蛹発見場所	羽化(時刻)	撮影・観察	周囲の状況	地区
1998年4月5日	石の下	○10:03	○	コナラ中心の雑木林	A
2001年4月	立ち枯れ木の中	×	×	〃	B
2002年4月	石の下	×	×	〃	C
2003年4月9日	石の下	○不明	×	〃	C
2004年4月3日	石の下	11:00	○	〃	C



写真1 (A地区) 1998/4/5

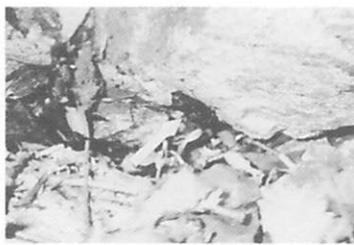


写真2 (A地区) 1998/4/5



写真3 (B地区) 2001/4/1



写真4 (B地区) 2001/4/1



写真5 (C地区) 2003/4/9



写真6 (C地区) 2004/4/3



写真7

蛹は見つけても穴があいていることが多いです。地表の穴で見つけたときは、蛹の中からダンゴムシと思われる小さな虫が這い出てきました(写真7)。

2004年の調査のときは、蛹がクモの糸で覆われていて中からクモが出てきました(写真8, 9)。



写真8 (C地区) 2004/4/3

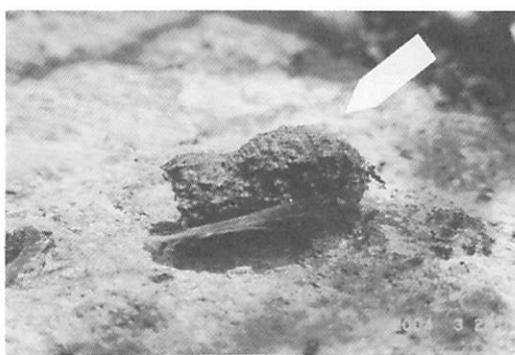


写真9 (C地区) 2004/4/3

生存率

2004年の調査の時、3名で蛹を探したC地区では、5個の蛹をみつけ内1個だけ生存していました(生存率20%)。

過去の蛹発見で羽化したのは5例中3例でした(羽化率60%)。

自然界では(20%×60%=12%)となりギフチョウは蛹になっても1~2割しか羽化しないのでは、と考えられます。ギフチョウの生存率が卵から成虫になるのに、3~7%といわれるのがよく分かります。

蛹の羽化観察のポイント

- 1, 蛹は突然羽化を始めるので、蛹から目をそらさずじーと見ていることが大切です。トイレは駄目です。時間は午前8時~12時を目安におくと良いと思います(例外で午後になることもあるそうです)。
- 2, 過去5回の蛹発見で2回羽化しなかったのは、自然状態で死んだと考えるのが正しいと思われますが、1つ気になるのは、2回とも撮影しやすいように、木の皮を剥がした状態にしたり、石を持ち上げたりしたため直接太陽の光が蛹に当たる時間が何度かありました。そのため蛹が乾燥したか、温度が上がりすぎたことが考えられます。2003年と2004年はそのあたりを注意して太陽が直接当たらないようにシート使ったりして工夫しました。太陽の光は直接あたらないようにしたほうが良いと思われます。
- 3, 蛹は一般には羽化の直前まで他の蝶と違って変化が分かりにくいといわれていますが、2004年の観察では、1週間前と比べて明らかに変化がありました。

羽化の1時間前、蛹の腹部の割目部分が伸びており隙間が黒光りしていました(写真11)。

今回の腹部の変化は羽化の日時が分かる1つの目安になるのでは、と考えています(写真10, 11)。

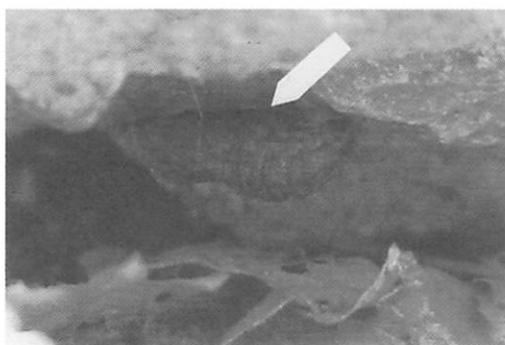


写真10(C地区) (羽化1週間前) 2004/4/3

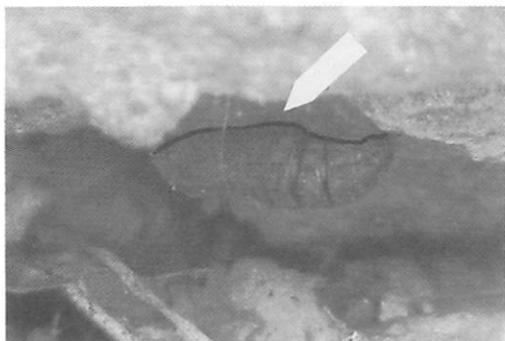


写真11(C地区) (羽化直前) 2004/4/3

(TAKEUCHI TAKASHI)

加古川市志方町志方842-2)

猪名川町大野山にてキベリハムシを採集
谷川 忠久

少し古い記録ではあるが、筆者は猪名川町大野山にてキベリハムシを採集している。当地では初めての記録と思われるので報告する。

採集場所 兵庫県猪名川町大野山(オオヤサン：754m)山頂にて

採集頭数 2exs.

採集日時 2001年8月11日

採集時天候 快晴でとても暑い日であった。

当日は、大野山への採取の目的はなくキャンプ地確認で訪問したところ、山頂の芝の生えた地面より、1分置き程度に飛び立つ昆虫があり、確認のため2頭ネットインしたところ、キベリハムシであった。

あまり高い山ではないが、猪名川町自体は結構冷え込むところであること、且つ山頂での発生らしい(採取並びに目撃個体がすべてが、地面から飛び立つ瞬間であった)ため、報告する。なお、その後追跡調査をしていないため、継続発生に関しては不明である。

(TANIGAWA TADAHUSA)

神戸市東灘区深江南町1-1-58-332)

神戸市西区でナカグロクチバを採集
柴田 剛

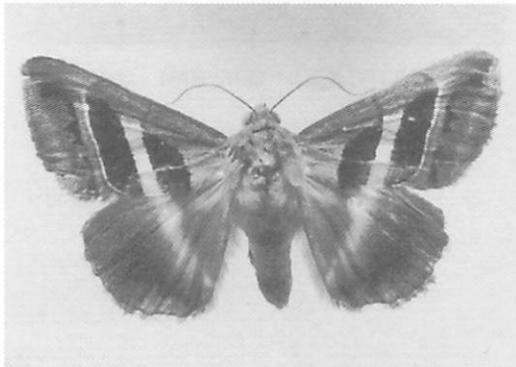
神戸市西区の明石川の河原で、ナカグロクチバ *Grammodes geometrica* (Fabricius)を採集しているので報告する。本種は南方系の蛾で、兵庫県では初めての記録と思われる。

なお、写真による同定と、兵庫県内の記録についてのご教示をいただいた高島昭氏にお礼を申し上げます。

神戸市西区押部谷町和田(明石川の河原)

7.IX.2003 1ex. 柴田 剛 採集

(SHIBATA TAKESHI 明石市太寺天王町2970-7)



淡路島における
ミナミトゲヘリカメムシの記録
植田 義輔

ミナミトゲヘリカメムシ *Paradasynus spinosus*

Hsiao は南方系のカメムシであり、近年分布域を北上させていることが知られている。

筆者は、兵庫県については淡路島において兵庫県初記録となる採集記録があるものと予想し、文献調査を行ったが文献上の記録を見いだすことができなかった。そして、1996年9月24日に宝塚市において採集された1個体(新家, 1996年)が公表された初めての記録であると思われた。

ところが、このたび淡路島において、宝塚市の記録以前に未公表の採集個体が存在することが確認されたので、近年の採集記録とあわせて報告する。

1♂, 8.X.1994 洲本市柏原山(alt.450m)

1♂, 28.IX.2000 洲本市由良町内田(alt.100m)

いずれも大草伸治採集、ネイチャー・アソシエーション自然環境研究所(NSI)保管

1♀, 12.X.2000 洲本市由良町内田(134°55'N, 34°18'E, alt.100m)

1♂1♀, 8.X.2002 洲本市由良町内田(134°55'N, 34°18'E, alt.100m)

1♀, 10.I.2004 洲本市前平 鮎屋の滝(134°51'N, 34°18'E, alt.80m)

いずれも植田義輔採集・保管

これらの記録のうち、最初にあげた1994年10月8日の記録が、兵庫県における最初の確認記録になるものと思われる。そして、近年は継続的に採集されていることから、淡路島に確実に定着しているものと考えられる。

末筆ながら、淡路島における未公表の採集個体についてご教示いただき、記録を公表することを許可していただいた、津名町の登日邦明氏に厚く御礼申し上げます。

<参考文献>

新家 勝(1996) きべりはむし24(2):13

(UEDA YOSHISUKE)

大阪府枚方市枚方上之町10-1)

編 集 後 記

- ◆きべりはむし第31巻第2号をお届けします。発行が大幅に遅れてしまい、申し訳ありませんでした。とくに早くから原稿をいただいていた方々にはご迷惑をおかけしました。
- ◆本誌はこれまで1巻2号を基本として年2回発行の形を堅持してまいりましたが、今後その方針は変わっておりません。ここ2回ほどは発行時期が遅れ、若干変則的になっていますが、引き続き第32巻の編集に取りかかりたいと思いますので、原稿をどしどしお寄せくださいますよう、よろしくお願いいたします。
なお、次号の発行時期につきましては、12月半ばを予定しております。現行の締め切りは10月末日とさせていただきます。
- ◆今年は、近畿中部あたりでは完全な空梅雨、しかし、北陸方面では記録的な豪雨になりました。昆虫の世界にも地球温暖化の影響は確実に忍び寄っているようです。昔は珍しい存在だったクマゼミ、クロコノマチョウ、ナガサキアゲハ、ツマグロヒョウモンなども、今では普通種になってしまいました。ここ10年、20年を振り返ってみると、南方系の昆虫の定着が急ピッチで進んでいるようです。
- ◆近藤伸一さんからは、八鹿町(現養父市)におけるチョウ類のトランセクト調査の結果の報告がありました。この方法はルートセンサスとも呼ばれ、種の多様性や自然度の評価に応用できる手法として、最近注目されつつありますが、同じコースで10年、20年とデータを積み重ねることで、時系列的に自然の変化を評価することもでき、温暖化の影響を評価するにはいい方法だと思います。
皆さんも身近なフィールドで実践してみたいかと思いますが。
- ◆今回は、立岩幸雄さんからウラナミジャノメとヒメウラナミジャノメの観察記録、竹内隆さんからはギフチョウの蛹の発見と、地道なフィールドワークの成果をお寄せいただきありがとうございます。今後のご活躍を期待しています。

◆次回の「きべりはむし」の発行は2004年12月です。原稿は常時受け付けています。e-mailでも原稿を受付けていますので、気軽に御一報ください。短報はメモ程度でも結構です。

(編集担当 高島 昭)

きべりはむし 第31巻 第2号

2004年6月30日発行

発行：兵庫昆虫同好会

編集：近藤伸一・高島昭

事務局、原稿送付先：

〒671-2201 姫路市書写2542-2 高島 昭 方

e-mail akira-takashima@mti.biglobe.ne.jp

郵便振替口座：01170-3-26646

印刷：岩峰社・東京

目 次

【報 文】

- 河川敷のチョウ類の1年の生活
兵庫県産チョウ類のトランセクト調査3 ……………近藤伸一 1-11
- 兵庫県で確認された蛾の種類数について
兵庫県産蛾類分布資料・29 ……………高島 昭 11-13
- 氷上郡市島町の昆虫 2 ……………稲畑憲昭 14-21
- 播磨地方某所におけるウラナミジャノメと
ヒメウラナミジャノメの棲み分け調査 ……………立岩幸雄 22-24
- 兵庫県のシタバガ亜科
兵庫県産蛾類分布資料・30 ……………高島 昭 25-43
- 兵庫県のアツバ亜科
兵庫県産蛾類分布資料・31 ……………高島 昭 44-55
- ギフチョウ蛹の発見 ……………竹内 隆 56-57

【短 報】

- 猪名川町大野山にてキベリハムシを採集 ……………谷川忠久 58
- 神戸市西区でナカグロクチバを採集 ……………柴田 剛 58
- 淡路島におけるミナミトグヘリカメムシの記録 ……………植田麟輔 58